滿洲日報
九月十八日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

想ひ起す二年前 全滿の感慨轉た無量
慰靈祭等で捧ぐる市民の謝恩 十八日事變記念日

一昨年のけふ柳條溝に突發した鐵道爆破こそは滿洲國獨立、日本の國際聯盟脫退など幾多大事件の導火線となり、史家をしてエポック・メイキングせしむる日である、三十五萬大連市民は當時を追憶して轉た感慨深く、滿倶グラウンドでは時局後援會主催のもとに慰靈祭を莊嚴盛大に執行して護國の英靈を慰め、中等學校以上及び青訓所聯合、並に大連自衛警備團ではそれぞれ朝まだき壯烈なる記念演習を展開して、事變犧牲者に謝恩の意を捧ぐると共に日滿兩國の非常時に邁進すべき意氣を作興し、かくて滿洲事變記念日の意義深き諸行事はいづれも多大の效果をおさめた

大連市民の慰靈祭
しめやかに執行さる

時局後援會主催のもとに護國の神を慰むる慰靈祭を執行する滿倶グラウンドでは音樂堂に祭壇を設へて菱刈全權、安藤要塞司令官、大連民政署長、小川市長、林滿鐵總裁などの眞榊を供へ、あちこちに日滿兩國の大國旗を秋晴れの空高く飜かせて會場は節目も清くすがすがしい、時刻移れば各小學校、公學堂、中等學校、工專、青訓所在鄕軍人、各區、一般市民などの生徒團員らが校旗、團旗を押立てゝ續々と入場し 小川會長、安藤要塞司令官、日下內務局長、御影池民政署長、石井大連警察署長、八田滿鐵副總裁、十河、山西、河本、竹中同各理事、高田商議會頭、張大連市商會々長、高柳中將、岩井少將、福本稅關長等を首め官民有力者參列し滿場を埋めて無慮二萬、祭式は午前九時齋主河野沙河口神社神職以下の神職により、修祓、降神、警蹕一同敬禮、祝詞と進められ滿場寂として聲なく、祭典委員長（小川會長）祭文を奏し、齋主玉串を捧奠拜禮したるのち 小川祭典委員長、關東廳長官（日下內務局長代理）關東軍司令官（飯野中佐代理）安藤要塞司令官、御影池民政署長、小川大連市長、滿鐵總裁（八田副總裁代理）岩井在鄕軍人聯合分會長石井警察官代表、福本在大連滿洲國官衙代表、大內市會代表、高田商議會頭、張大連市商會代表、細萱工專、中學校及青訓所代表、鐵道隊代表、柿野小學校公學堂代表、實性新聞通信社代表、婦人團體代表、松田一般參列者代表區長の順に玉串を捧奠拜禮、齋主昇神を奏し警蹕一同敬禮裡に祭典を終つた、次で安藤要塞司令官、小川市長および河本滿鐵理事擴聲器の前に立つてそれぞれ記念激勵演說あり、多大の感銘を與へ、更に綠山中腹における在鄕軍人分會の地雷火爆破を會場より大觀して十時散會した

築かれた樂土上に 新京市民の諸催し
午後十時默禱を捧ぐ

【新京電話】承認慶祝大會十五日の喜びの日も未だ過ぎやらざるかと思ふ新京市民に早くも世界史をひつくり返した事變突發の日が訪れ記念日に次ぐ記念日の連續に市民は全く樂日ない忙しさである、この日、十八日の空は限なくすみ渡り、秋風ソヨソヨと頰をなで、さわやかで和やかな氣分が全市に充ち、各戸に飜へる日の丸の旗も一日を壽ぐが如く滿蒙の天地に大異變を起した、あの當日の凄慘なるを想ひ起すべくもない、日に日に確固たる基礎を加へつゝ王道の光に浴せる三千萬民衆の平和なる今日を見る時、昭和六年九月十八日は日滿兩國民にとつて永久に記念さるべき意義深い日であらう

▲午前八時 新京神社ではまづ奉告祭がいと嚴肅に擧行され、一方新京警備司令官、田代少將が閱兵官となり、南嶺步兵部隊、新京警備隊、獨立守備隊、電信隊、飛行隊、在鄕軍人、青訓生學生隊參加の下に中央通に於て盛大なる閱兵分列式が行はれた

▲午前十時よりは西公園グラウンドに於て新京時局後援會主催の下に莊嚴なる慰靈祭が擧行され菱刈軍司令官を始め幕僚以下日本側要人殆んど出席、滿洲國側よりも鄭國務總理、宇佐美顧問以下各部總長等參會者無慮一千名、まづ荒木後援會長の挨拶に式は開始せられ軍司令官、鄭國務總理等弔辭をのべ十時五十分閉會、直ちに大旗行列にうつり全新京學生、生徒、一般市民參加の下に行列は長蛇の如く新市街を練り歩き驛頭廣場に於て日本帝國萬歲を三唱して解散した

▲新京總領事 時局後援會長主催の記念祝賀會は正午より西廣場小學校講堂に於て開催され、主賓として菱刈軍司令官、小磯參謀長、小林海軍部司令官、田代憲兵隊司令官を始め軍部並に日滿官民五百名出席、盛大に擧行され、午後二時よりは南嶺寬城子間の戰跡訪問マラソンあり、夜になり西廣場小學校に於いて午後七時より映畫會を開催される筈 なほ當日は市民代表は新京衛戍病院に入院中の傷病兵を慰問し、南嶺並に寬城子の戰死者を弔ひ各々花輪を捧げ深甚なる弔意を表し、午後十時約三十秒間電燈を明滅し同時に新京驛にて汽笛を鳴らし過ぎし九月十八日をしのぶ筈

滿洲事變二周年慰靈祭 滿鐵グラウンドにて（上）滿鐵殉職社員追悼會（下）

事變發生の奉天で 當時を偲ぶ模擬戰
終つて英靈を慰む

【奉天電話】滿洲事變突發してから早くも二周年の記念日を迎へた九月十八日、この事變に最も緣故のある奉天では當時の殊勳者である奉天獨立守備隊が主體となり事件の重大性を深刻に回想し陣歿の諸勇士の英靈を慰めるため十八日午前十時北大營を中心に野戰重砲隊、野砲隊、飛行隊、戰車隊、機關銃隊、自動車隊等の新兵器の粹を集めた外在鄕軍人團、醫大、中、青訓、青少年團等二千名が參加し水原獨立守備隊長の指揮で總攻擊の模擬戰が盛大に擧行された この日ドンヨリ曇つた空も晴れて王道樂土に相應しい演習日和で午前八時といふに一般觀衆は所定の場所に詰めかけ參加部隊は八時半指定の位置につき 午前十時、假想敵軍斥候六名が北大營西南方煉瓦燒場附近鐵道線路爆破と共に戰端は開始され忽ち起る銃聲忽ち轟く砲聲、九月十八日の當日を追憶させる、友軍飛行機は壯烈なる爆擊を始める地上の戰車隊と呼應して敵陣地に突入、機を見ては來襲する敵飛機に對し高射砲はこゝぞとばかり射擊を始める、煙幕は中空に張られ、戰機愈々熟す觀衆は果してどう勝負が決まるかと手に汗を握り息を呑んで夢中となつて見入る、午前十一時となるや、頑強に抵抗せる敵軍に對して最後の猛烈なる空擊、砲兵の猛射、戰車の活躍、第一線部隊の勇猛果敢な肉彈戰に敵軍も支へきれず遂に東方に向ひ敗走、假想敵は十一時二十分六一九團兵營東南地區及び小二臺子無電所方面に移り最後の攻擊を開始したが友軍の息もつかざる進擊に一たまりもなく潰走す 十一時半演習中止の喇叭たる喇叭が高粱實る滿洲の秋空にひゞき亘ると共に新興滿洲國の王道樂土となる、その間救護班、撮影班の活躍も亦目ざましいものがあり放送班はこの實況を手に取るが如くラヂオ放送をなした、かくて意義ある模擬戰も盛大に終りを告げ觀衆に多大な感銘を與へた、演習終了後參加部隊は司令部に參集し井上守備隊司令官から訓示を受け供養塔前で滿洲建國に際し護國の人柱となつた幾多の英靈を慰め參觀者は夫々北大營攻擊最初の護國の鬼となつた新國、增子兩勇士の墓に詣でた

二千の社員參列 殉職社員を追悼
滿鐵の第七回追悼會

第七回滿鐵殉職者追悼會は事變記念日の九月十八日午前十時より協和會館北側庭內において行はれた、靈位を祭つた祭壇には滿鐵總裁以下各方面の生花、造花の花輪美しく並べられ、これに面して黑白の幔幕を張りめぐらした祭場の芝生には滿鐵社員二千餘名着席、さらに左右の幄舍には遺族五百餘名居流れて幔幕にはためく初秋の風も物悲しきなかに定刻大連神社祭官の笙の音鳴り澄んで式が開かれた大連市內日滿各宗僧侶三十餘名入場し、導師讀經の後、林總裁（八田副總裁代讀）追悼辭を讀み「幽明一如、社運の興隆に當らん」と述べて遺族の涙を新にさせ、更に伊藤社員會幹事長の追悼辭あり、日滿僧侶讀經の裡に施主（副總裁）遺族、各理事在連社員代表、沿線社員代表、社員會代表、傍系會社代表、一般社員の順序にて燒香し十一時式を閉ぢたが、いたいけな遺兒の手をひいた未亡人や半白の老人など次ぎ次ぎに燒香する遺族の姿は參列者の涙を誘つた なほ當日祭られた過去一箇年間の殉職者の數は

	日本人	滿洲人
鐵道部	二七	一一九
地方部	一	—
鐵道建設局	二	—
撫順炭礦	八	二三
經濟調查會	一	—
鞍山製鐵所	一	五
計	四〇	一四七

で總計百八十七名に達し昨年度より三十一名の增加であつた

廣田外相の外交方針 十九日閣議で第一聲

【東京特電十八日發】廣田新外相は十九日の閣議においてそのモットーとする綱領、日本の潮に乘つた所謂建設的躍進外交を如何に展開せしむるかその抱懷する具體的綱綸は如何なるものかにつきその第一聲を披瀝し各閣僚の諒承を求める筈である、廣田外相は今後の外交政策につき相當自說を有するためこれが遂行には出來る限り國策として完全を期し全閣僚の確定的承認を求め內閣一致の方針たらしめる意向で取敢ず第二次華府會議に對し如何なる外交準備方策を提案するか注目されてゐる

對支積極方針
豫想されるその輪廓

【東京十八日發國通】廣田新外相の就任に依り今後の帝國外交が如何なる動向を辿るべきかに就いては內外各方面から多大なる關心を以て迎へられて居るが新外相は現在全面的に行詰れる帝國の國際關係建直しに向つて努力することは勿論だが特に日支關係の打開發展のため主力を注ぐべき意向なることが就任以來の公式非公式に洩らされたる意見に依りて略判明するに至つた、卽ち廣田新外相としては一九三五年の來るべき第二次ワシントン會議を控へ、日米關係の調整並びに印度市場を挾んで日英對立關係の轉換のため何等かの政治的方策を試むべく東鄕歐米局長を督勵して對策立案を命ずるところあつたが對支外交は日支の特殊關係に鑑みこれが改善打開は瞬刻も猶豫し得ざるところなりとし新外相は大臣就任前に於てすら支那國民黨某要人の勸說に依り單獨渡支せんとした經緯だが愈々外相に就任したので先づ取りあへず對支外交更生策をアジア局へ命じたがその基調は大體次の如き線に添うてなされるものと見られて居る

一、對支外交は滿洲事變以來今日まで靜觀主義を取り來り今日も尙既定方針を堅持して居るものゝ昨今に至り國際聯盟の對支技術委員派遣や英米の對支活動が熾烈化せんとするに至つた爲我國としてもこれが自衛策として積極的態度をとるべし（有吉公使を召還の上前外務次官有田八郎氏を起用する說も有力である）

一、而して帝國政府は從來の對支政策の如く自ら妥協策を講ずるとか又は英米列國の如く何等かの代償を提供して所謂取引的外交を行はんとするものでなく支那が自身の利益と幸福のため必然的に現在の對日態度を變更せざるを得ざる餘儀なくせしめんとするものだから斯る意味に於て新外相の對支外交は我國歷代外相のそれとは異る更生外交なりと目され居る

滿蒙素描（21）

安西冬衞 文並に畫

「何處行く？」
車夫は轅を上げた。
「ホテルへ」
「歸るか、ちよつ」
彼は舌鼓打つた。知つた奴のところへ私を曳きこみ、いくらか口錢にありつくつもりが外れた口惜さの舌鼓であつた。それでも此奴は心得たもので、歸り途に大連の何とかホールの前に車をとめた。ダンスホールだつた。
私はこのさきふと思ひ出したのは、私の知つた女が、大連へ行つてダンサーになるといつて、今年の三月、私が南洋へ旅行中、東京を飛び出したことを、友人から聞いたことである。
「待つてろ」
私はホールへ飛び込んだ。
北滿では、兵士が暑熱と匪賊と戰うてゐるのに、こゝでは白粉と若い女の肌の香の中で、內地人が踊り狂ふてゐる。私はダンサーを物色した。しかし、その中に女を見出すことができなかつた。
「もう、歸るか」

二十分ばかりして、私が出て行くと、車夫は云つた。そして
「こゝの女と、內地の男、よく、支那のホテルへ行くあるぞ」
と云つた。
ダンサーと客とがつれ立つて、支那宿で媾曳きするといふのだつた。これは內地人の人目に立たず、また、安上りで媾曳きできる便法らしかつた。私はその媾曳連の頭のよさに感心した。この車夫めも度々、さうした連中の御供して、車賃を値切り倒されたにちがひなからう。支那宿にシケ込む連中のことだから。
ダンサーと支那宿——考へて見ると、何か知ら、はかないもの、ある氣がしてならなかつた。
ホテルへ歸つたのは、それでも十一時——滿洲時間にすると二十三時何十分かになつてゐた。
このうへ、大連に滯在する氣はどうしてもなかつた。
「明日は新京へ行つて見やう」
私は二三日の滯在豫定を一夜にして變更してしまつた。
翌る朝の八時に、もう、私は新京行きの急行列車上の人となつてゐた。
奉天驛に電報を打つてあつたので、奉天××新聞Kの君が驛へ姿を見せて、私が大部分、滿洲へ失望を持つたといつたら
「そりや、本當ですな。しかし、新京だけはゆつくり見物して、歸りにまた奉天へいらつしやい——」
といつてくれた。
この日、食堂列車の寒暖計の水銀は百十三度に飛び上つてゐた。乘客はウンウンと呻いて汗を拭いてゐる——この炎熱の曠野を進む皇軍のことを思ふと贅澤はいへない氣がする。

人事

▲高橋顯太郎氏（關東陸軍倉庫三等獸醫正）十八日午前七時着列車にて來連
▲足立達雄氏（線區司令部步兵中佐）同八時着列車にて來連
▲市田一貫氏（同大尉）同上
▲テレル夫人 同上
▲橘利雄氏（日本タイプライター支配人）同遼東ホテル投宿
▲樋口勝次氏（大分日報記者）同上
▲中村錄一郎氏（中村鐵工所長）同上
▲土屋大連水上警察署長 同午前九時發はとにて新京へ
▲鈴木清秀氏（鐵道省旅客課長）同ハルビンへ
▲井上芳雄氏（旅館事務所營業主任）同上
▲はるびん丸にて來連の淺野セメント視察團一行 同上
▲國分青厓氏（漢詩人）十八日入港はるびん丸にて來連
▲長尾槇太郎氏（同）同上
▲仁賀保成人氏（大倉組重役）同上
▲土屋久泰氏（藝文社理事）同上
▲本多六一氏（日清製油重役）同上
▲河野喜作氏（淺野セメント北海道工場支配人）同上
▲キリンビール大阪支店長江連廣吉氏以下同社招待員一行十名 同上
▲故味岡義一少佐家族 十八日出帆うらる丸にて離連
▲奧村喜和男氏（遞信事務官兼關東軍囑託）同上

蛇角

◇再び廻り來ぬ九・一八記念日、想ひ起す去秋の今月今夜。
◇柳條溝にあがりし一發の凶煙、桑海の變、回天の事業。
◇驚異的日滿兩國の努力、東洋平和の礎石旣に成る。
◇それにつけても肉彈、碧血、尊き犧牲の如何に多かりし事よ。
◇吾等この日を迎へて感慨無量、深き默禱を捧ぐ。
◇朝日に映ゆる五色旗のいよいよ鮮かな秋だ。

東天紅（203）

田中純 作
林一三 畫

女の金策（五）

しかし、晶子が、かうして氣輕さうに金の融通を引き受けて見せたのは、文子が想像したやうに、何も深い友情に驅られてやつたわけではなかつた。無論、そこには多少の友情が動かないわけではなかつた。だが、その主要な動機は、彼女の現在の優越な地位を、文子に誇示したいためであつた。十萬圓やそこらの金は、彼女の一言によつて、わけなく融通出來るのだと言ふことを、文子に見せつけてやりたいと言ふ、一片のヴァニテイのために過ぎなかつた。
しかし、今、文子が、こんなにも有難がり、こんなにも喜んで、自分の提案を容れたのを見ると、晶子の心は、がらりと變つた。彼女は、文子が、こんなに悄げ返り、こんなにも打ちのめされて居る姿を、生れて始めて見たのだ。と同時に、これ迄の十年間、絶えず文子のために打ち負かされて來た自分の姿を、思ひ出したのだ。何時かこの女に復讐してやらう——さう思つて、心ひそかに爪を磨いで來た十年間を、思ひ出したのだ
（よしッ！こゝで、この女を、徹底的にやつつけてやらう。十年間の仇を、この一擧に返してやらう）
一瞬のうちに、さう思ひついた文子は
「だけど、この話し、神田さんはどうお思ひになるか知ら？不愉快にお思ひになりはしないか知ら」
と、何氣なささうに切り出した。
「どうしてさうお思ひになるの？」
と、文子は訊き返した。
「だつて、神田さんは、わたしを嫌つてゐらつしやるんだもの」
「あら。そんなことはなくつてよ」
言つたが、文子の頰は、一瞬のうちに赧くなつた。事實、神田が晶子を嫌つて居ることには間違ひがなかつた。だから、この話を、正面から厭道に切り出せば、彼は屹度、一應は、謝絶するに違ひなかつた。人事に就いて「人」一倍潔癖な彼は、晶子のやうな女から、恩惠をほどこされることを、厭がるに違ひなかつた。しかし、その潔癖も、時と場合に依る。少くとも今の場合は、そんな潔癖を振り廻してはゐられないのだ。彼等は今、一錢でも攫みたい場合なのだ。どんな不淨な金でも、金とあれば一文でも餘計に欲しい場合なのだ。だから、この際、文子が積極的に働いて、その金さへ作つて來れば、厭遣だつて、決して、厭だとは言はないことは解つてゐた。
「いゝえ、さうよ。それは私、ちやんと知つてるの。だけど、そんなことは、私にはどうでも好いのだつて、わたし神田さんを助けるよりも、むしろあなたが氣の毒だと思ふから、出來るだけのことをしたいと思つてるんだから」
「だけど、神田があなたを厭がつてるなんて、それはあなたの誤解よ。神田は、あなたのことを、むしろ始終褒めてゐるくらゐだわ」
金を欲しい一心の文子は、心にもない嘘を言つてることを悲しみながら、さう言ひ張らないで居られなかつた。
「ふッ、ふッ、ふッ。文子さんもなかなかお世辭がよくなつたわね」
と、晶子は笑つて
「でも、本當にそんなことはどうでも好いのだけど、たゞ神田さんが、そんな金を借りるのは厭だと、おつしやつては、折角の私たちの好意が何にもならなくなりさうだから、私はむしろ、このことは、神田さんには內密にしてた方が好いと思ふの」
「ぢやア、神田に話すなとおつしやるの？」
「ええ、さうなの。だつて、折角わたしが頭をさげて、あのお爺さんからお金を借りて來たつて、神田さんに斷つたりされては、私の立場がなくなつてしまふぢやありませんか」

農安、洮南、通遼とも眞性ペストと判明す
肺、腺兩ペストが發生猖獗
既に約五百名死亡

既報された洮南、通遼、農安三地方のペスト様患者のうち洮南方面の患者に就いては調査班の齎せる病理標本を十七日夜滿鐵千種衛生課長が大連衛生研究所に携帯徹夜検査の結果十八日午前六時ペスト敗血症（血液ペスト）と決定、つひに眞性ペストと確定した、血液ペストは腺ペストとなる前兆である、なほ農安調査班より十八日午前十一時滿鐵衛生課に達した無電によれば農安西方部落に於ける二百名の死亡者中の死體を検鏡の結果肺ペストと判明、通遼方面調査班よりも眞性ペストらしいと打電あり愈よ三地方に於いて肺、腺ペストの發生確實と判明した、發生判明の十三日以來同日まで死亡者の判明せる者三地方にて約五百名である

農安地方は廿三ケ村
多くは腺ペスト患者

【新京特電】農安方面を中心としたペスト様患者の續發に滿洲國民政部ではこれが防疫に關して對策を考究すると共に調査班を現地に派してその眞相を調査中であつたが十八日午前八時右調査班より電話を以て大要次の如き報告があつた

農安北方花園子を中心としてペスト様患者の續發せる部落は現在まで既に二十三ケ村に及びこれが死亡者は合計二百名に達してゐるがこれらに付ては調査班の手に依つて検鏡並びに動物試驗の結果眞性と決定したが今後なほ蔓延の兆あるので防疫に關して鋭意努力中である

【滿鐵衛生課入電】民政部衛生司あて農安關東軍調査班より電話報告によれば韓屯、二站屯において初發以來約二百名死亡、検鏡及び動物試驗の結果、一名肺ペストと決定す目下のところ多數の患者は腺ペストにて尚蔓延の兆あり

洮南地方の發生狀態

十八日午前十時滿鐵衛生課では洮南地方に於ける眞性ペスト發生に就いて左の如く發表した

四洮本線鴻興驛の北十五支里線路を去る東五支里學堂窩堡なる部落において九月十三日午後死亡埋葬せる五十四歳女曲氏の死體を十五日午後一時發掘解剖に附し塗抹標本検査、病理標本採取及び培養を行ひ同材料を四平街に送り動物試驗を行ひ、病理標本は大連衛生研究所に送りて検査したる結果十八日ペストと決定す、臨床症狀は發熱、頭痛、嗜眠、呼吸困難ありたるもの丶如く發表後三日にて死亡、腺腫脹を認めず、病理標本に於いては定型的急性出血性肺炎の像を認めず、よつて病氣はペスト敗血症（血液ペスト）と認む、同部落には二十日前初發患者あり九月十四日までに三家十三名の死亡者を出せりと云ふ

洮南開通間列車の旅客昇降禁止
四ケ所で望診を開始

ペスト發生の爲め防疫方法として鐵路總局では取敢ず洮南、開通間旅客昇降禁止、洮興、通遼間乘車券發賣禁止及び洮南、鄭家屯、開通、四平街において望診開始することゝした

ここに決定した、貨物輸送に就いては目下のところ未だ何等制限を設けてゐないがたゞ四洮鄭通線において生毛皮の積込を禁止することゝした

死力を盡し蔓延を防止
日滿露で防疫班組織

眞性ペスト發生決定により、既に十六日新京において關東軍、大使館、滿洲國、關東廳、滿鐵側の各代表者集まつて開催せる防疫會議にて協議せる防疫案により愈々防疫に大活動を開始することゝなつたが防疫班は前記代表機關のほか北滿鐵路のロシア側も參加し日滿露の共同防疫班を組織、滿洲國民政部總長を委員長に日滿ペスト豫防委員會を設け新京に最高本部を設置、洮南、通遼方面の現地防疫指揮は鐵路地方科に本部を置いて四平街、鄭家屯兩檢査所及び鄭家屯に中心防疫班を置き活動を開始した、滿鐵衛生課よりは十八日防疫衣五十着を四平街に送つたが小川現業衛生主任、村川保健防疫主任が四平街及び新京、奉天に赴いて防疫に指揮を行つてゐる、而して從來と異り交通頻繁なる今日新京、奉天及び人口稠密なる南滿地方に蔓延することを最も怖れ全防疫網を活躍せしめ死力を盡して之が蔓延を喰止める方針である

猛威を振ふ
ペスト流行史

ペストは滿洲における最も恐るべき傳染病で過去においても屢々猖獗を極めその流行史は左のごとくである

▲明治四十三、四年——明治四十三年十月下旬滿洲里に發生以來南北滿洲、直隸、山東に蔓延、患者數萬に達した、附屬地および關東州内においては二百二十八名發生、一名を除くほかは全部肺ペストで殆んど全部死亡した

▲大正六、七年——六年十二月蒙古で發生した肺ペストは山西、直隸、山東に入り七年五月に及び患者數百名を出した

▲大正九、十年——九年八月滿洲里に發生南北滿洲に七千七百名の患者を出した

▲大正十三年——五月中旬通遼附近に發生、流行しなかつた

▲大正十四年——同じく通遼に發生したが流行せず

▲大正十五年——腰伯什吐に三十二名發生

▲昭和二年——通遼に發生、十一月まで同地方に流行した

▲昭和三年——七月中旬通遼附近に發生、錢家店、鄭家屯に蔓延し約千二百名の患者を出した

遺骨六體故山へ
死の凱旋

關東軍司令部附故味岡義一少佐以下六體の遺骨は十八日午前八時常安寺において慰靈祭を受け同十時出帆のうらる丸にて騎兵軍曹今泉庫藏氏等に護られ悲しき凱旋をなした、事變二周年記念日のけふ、思ひも新たに遺骨は上甲板に安置され多數見送りの中に香煙に包まれたが、味岡少佐の未亡人は喪服に身を包み令息、令孃と共に見送人に挨拶をなして一しほ悲愁に閉された、なほ味岡少佐未亡人は夫の遺骨を護つて郷里大阪に落着く筈

新舊列車の移替
九月三十日と十月一日の滿鐵線各列車に御注意

十月一日より滿鐵の列車時刻の大改正が行はれることは既報の如くであるが九月三十日より十月一日にかけての新舊列車の移替は左の如く決定した

一、九月卅日大連發第十七列車は大連發より新時刻に依り運轉す

一、十月一日石河新京間新第十九列車は九月三十日大連發より新第十九列車として運轉す

一、九月三十日大連發第十五及び第十三列車は同日奉天發より新時刻に依り運轉す

一、九月三十日新京發第十八列車は十月一日大連着迄舊時刻に依り運轉す

一、九月三十日新京發第十四列車は同日奉天發より新時刻に依り運轉す

一、九月卅日新京發第十六列車は新京發より新時刻に依り運轉す

一、十月一日蔡家大連間新第十八列車は九月三十日新京發より新第十八列車として運轉す

一、十月一日太平山大連間新第二十列車、同日他山大連間新第二十四列車及同日四平街奉天間新第二十六列車は運轉を休止す

一、九月三十日チチハル發第二十列車は十月一日奉天着迄舊第二十列車として舊時刻に依り運轉（奉天大連間は運轉休止）す依つて十月一日四平街發第三百三十八列車は同列車の開通待合せ發とす

一、九月三十日安東發第三列車は安東發より及同日奉天發第四列車は奉天發より新時刻に依り運轉す

一、九月三十日奉天發第百七十五列車は十月一日撫順着迄又九月三十日撫順發第百七十六列車は十月一日奉天着迄舊時刻に依る運轉とす

一、九月三十日營口發第三百八十六列車は同日營口發より新第三百八十二列車として運轉す

肺ペストは罹病したら死ぬ
腺ペストは約九〇%

洮南方面に發生した腺ペストは症狀としては淋巴腺に腫脹を生じ發熱、嗜眠、頭痛を起すもので蚤によつて菌を媒介するので蚤及びこれを運ぶ鼠を撲滅して蔓延を防ぐ、腺ペストの死亡率は約九十パーセントである、また農安方面に發生せる肺ペストは俗に云ふ空氣傳染をなすもので患者の咯啖の飛沫が空氣中に飛んで傳染する、而も死亡率百パーセントと云つてよい程怖ろしい病氣で是が首都新京の近くに發生したのだから匪賊よりも强敵だ

漢詩家一行けさ來連
藝文社主催

漢詩家國分青崖、長尾槇太郎の兩氏は藝文社主催の下に同好の士たる同社理事土屋久泰、大倉粗重役仁賀保成人の兩氏等と共に滿洲文化協會並びに滿鐵の後援を受け十八日入港のはるびん丸にて來連したが船中國分氏は見事な白髯をしごきつゝ

滿洲には日清戰爭時代だから、一度來たことがあるきりである、今度は内地の漢詩家を代表して來たのでなく全く遊びに來たのです、豫定は一月で新京まで行くが、ハルビンに行くかどうかはまだ決つてゐない、新京では溥儀執政や菱刈軍司令官に會ひたいと思ふが、それより國務總理の鄭孝胥氏に先づ會ふ、鄭氏とは年來の知人で般先東京に來た時も我々と一緒に日光に遊びに行つた、今度は鄭氏と會ふのが何より樂しみだ、旅順の戰蹟に行くが、大連にも可なり漢詩をやる人も居るし滿洲人にも二人程ゐるからひよつとすると何か會があるかも知れない

と元氣に語り上陸後遼東ホテルに投宿したが、滿洲を視察の上再び來連、天津、北平を見て歸京する筈（寫眞は一行）

けさ大孤山で邦人を射殺
現場監督砂川氏遭難

【鞍山電話】十八日午前八時鞍山製鋼所大孤山採鑛所南方鞍山採鑛所に四、五名の匪賊來襲し作業中の現場苦力監督砂川惣一（五三）を射殺した、急報により同所警備員、派出所員が追跡した、本署から酒井司法主任、田中警部補の率ゐる〇〇名が午前九時運鑛線電車に便乘して現場に急行した

持久戰的に捜査する
遭難水上機

航空母艦能登呂搭載機捜査は十七日も引續き行なはれたが何分にも潮流の劇しい所で午後二時より三時までの滿潮時を利用して此處と思ふ所に潛水夫をして調べた所、其處は岩石であつたり油の浮いてゐる箇所なも掃海或ひは二名の潛水夫を督勵し水產會より應援のトロール船六隻が献身的に作業に從事したが飛行機の翼の破片が柏嵐子海岸に漂着したのみで十七日も空しく午後七時引揚げ十八日よりは第二次の捜査方法を講究し持久戰的に捜査方針を立てることになつた、十七日午後八時現場を引揚げ黃金臺沖に假泊した能登呂の副長城島中佐は代つて語る

今日迄の捜索は飛行機の破片が柏嵐子海岸に上つただけで機體も行方不明、兩君もまだ發見されない、兩君は色々の方面から推察して死んだものと想像される

船客投身自殺

十八日大連入港のはるびん丸が十六日門司を出帆して木浦沖航行中夜から十七日朝にかけて三等船客神戸市權田區五丁目二十五番地三浦重藏が投身自殺を行つたので船員が海中を捜査したが遂に死體を發見するに至らなかつた、船長と大連市三河町三浦さだ子宛の遺書があつたが、船長には申譯ないと詫び、前記の娘宛には拙い筆で

中風にかゝつて後一、二月の命で何時ポツクリ死ぬか判らないから今死ぬ

といふ遺書があつた、全く覺悟の自殺で身投に當り着てゐるもの全部を綺麗に揃へ裸になつて飛込んでゐる、はるびん丸大連着と共に三浦さだ子が水上署に出頭し遺留品を受取つた

大連豫選決勝

來る二十三、四兩日大連に於いて擧行する滿洲體育協會主催の昭和八年度硬球庭球選手權大會大連豫選の決勝戰は十七日中央公園滿鐵テニスコートに於いて擧行の結果シングルスは伊藤、ダブルスは落合伊藤組が優勝した

シングルス
伊藤（滿鐵）6—4 7—5 小林（プラナーモンド）

ダブルス
落合 小寺（滿鐵）6—3 5—7 6—0 伊藤 吉田（滿鐵）

三千二百名參加し壯烈な記念演習
決死の拂曉戰を展開

九・一八事件並に滿洲國建國の重要性を深刻に認識して士氣を振ひ事變戰歿者に謝恩の意を高潮する在大連中學校以上及び青訓所聯合の記念演習は參加者三千二百名、安藤要塞司令官が統監し十八日未明、綠山、大顧山の線において壯烈に行はれた

演習方略に從へば今や大連市は某國便衣隊の擾亂するところとなり優勢なる兵匪は市中の官公署並に建物を襲ひ伏見臺、小崗子一帶は炎々たる火焰に包まれてゐる、茲において義勇隊司令官より命令一下した大連生徒隊は切齒扼腕して午前五時綠山—大顧山の線を攻略すべく決死の陣勢をとつたのである

戰端は遂に開かれた、我軍は夜陰を衝いて後方警備に任じつゝ大連市を奪回すべく漸々前進する、その間小癪にも敵機飛來して通信筒を落して行く、然し我が飛行機の活躍物凄くあつと思ふ間に山腹谷間をかすめ爆彈を落下して生徒隊の前進を援け、現役鐵道隊の操縱による裝甲自動車隊も驚歎すべき偉力を發揮する、かくて決死の陣を進むる生徒隊の意氣天に沖し作戰もまたよろしきを得て、敵は漸次崩れ立ち、煙幕を引いて巧に逃ぐるものもあれど追擊益々急にして銃劍閃くに及んで休戰の命令下る、時に午前七時である、次いで八時實業グラウンドに集結して閱兵式行はれ、安藤統監は飯野參謀、日下內務局長らを隨へて受禮し、分列式行はれたるのち

本日の演習は地形と延長において諸子の體力を超ゆるものあつたが良好の成績をおさめたのを欣懷とする

旨の講評あり、終つて直に慰靈祭に參列した【寫眞は記念演習】

治安維持
自衛警備團
市中嚴重警戒

大連の夜の護りをなす大連自衛警備團演習は十八日午前三時に早くも兵器授與をなし各分團とも五時迄に市中各方面における受持の配備につき六時に至る迄嚴重警戒して別項聯合演習の一般方略による敵匪や便衣隊を狩立て、跳梁跋扈する餘地なからしめ、かくて市中の治安全く恢復して六時半警備を撤した、次いで七時半忠靈塔境内に集結し壯烈なる分列式を行ひたるのち慰靈祭に參列し、終了後兵器を返納して解散したが學生隊の聯合演習と併行して記念日に適はしき意義ある行事を遂行し多大の効果をおさめた

キリン視察團

キリンビール大阪支店招待の滿鮮視察團は十八日入港のはるびん丸で來連ヤマトホテルに投宿したが一行は支店長江連廣吉氏外二名の社員及大阪市内特約店八で計十一名である

天氣予報

十九日　南東の風（晴）後曇り
滿潮（午前一〇時〇五分　午後一〇時二〇分）
干潮（午前三時四五分　午後四時一〇分）

各地溫度（十八日午前十一時）

大連	二六	奉天	二六
旅順	二六	新京	二八
營口	二七	新義州	二七

善鬼惡鬼（202）

平山蘆江作
刈谷深隍繪

美人夜叉（二）

五郎兵衞が側にゐれば五郎兵衞を、鐵五郎がゐれば鐵五郎を、さういふ風に、誰でもよい。手近の男を、相手きらはずに自分のものにして、男から男にうつつてゆくお濱である。

かういふ女のくせさして、儘にならぬ相手ほど戀しくなるらしい。而も、一旦、我儘が通れば、すぐに次の男にうつつてゆく。

計略の爲めに小梅へ連れ込んだ鐵五郎は、座敷牢へおし込んであるし、樂齋は、久しぶりに戻つた事によつて、すつかり丸めてゐるし、まづ、この二人は、今のさころ完全に自分のものさしてゐる。さうなるさ、急に傳右衛門への可愛さが增して來たさいふわけだ。

「傳さん、お前、私のいふ事を只の嬉しがらせさ聞いておいでかえ。こんなに心底からお前を思つてゐるものを、嬉しがらせだなんて、そんなひどい事をいふさ、承知しないよ」

「はい／＼、どうもありがたうございます」

「これ、又あんな憎らしい」

どこに憚る人もない。おはまはいふ儘になつてゐる傳右衛門を、つれつたりこづき廻したり、傳右衛門は只呆然さなつてゐた。

「御新造さま」

「何だえ」

「もう今夜からは、いつまでもこゝのうちにゐて下さいますか」

「それが出來るくらゐなら、私に苦勞はないのだけれど」

「そんな事はいはなくても判つて居ります」

「私が始終、こゝにゐれば好いさおいひのだらうれ」

「はい」

「鐵五郎が歸つて來たら、お前にしても、私にしても我儘は云つてゐるものゝ、本當の事をいへば、こゝの家の居候だが、お前それでもよいさおいひかえ」

「ですが、御新造樣のやうに我儘なすつていらつしやれば――」

「お前、鐵五郎がその儘でゐられる身の上だと思つておいでかえ」

「はい」

「お前だつて知つてゐる通り、鐵は女房殺しといふ罪狀を持つてゐます。今のところ世間を誤魔化してゐるから好いやうなものゝ、一朝、あれがお上に知れたら、鐵の身體はどうなりますえ」

「はい」

「五郎兵衞さんや、樂齋さんのやうに、妙なうしろ盾のある男ぢやないんだから、いや應なしに、踏んづかまつて、三尺高い木の空に上る身の上だよ」

「さうかも知れません」

「おい／＼、さうかも知れませんなんて、濟ましてゐられるさ思つておいでだから困るのさ。あしたの日にでも鐵五郎が處刑になつたら、此の女鹿屋の身上はそつくりお上へ沒收になるんだが、お前、そこに氣がつかないのかえ」

「なるほど」

「お前さいふものは、その時、どこへござう納まれば好いさ思ふのさ。おい、しつかりおしよ」

傳右衛門は青くなつた。

面くらつたのは傳法傳右衛門、いつもは、小僧つ子か、使奴のやうに自分を扱つてゐたお濱が、手のうらかへすやうに變つたので、一も二もなく、女の強い力に引きよせられながら、まご／＼してゐる。

「御新造は、口前がうまいから、御新造さんの仰しやる事を、おいら、つい本氣に聞いては、後悔するんです」

傳右衛門は、そんな風に言つて而もおはまのいふまゝになつてゐた。

「何の口前なものか、いつそ私こそ、お前の本心が知れないので、今まではよい加減の事ばつかり云つてゐたのだが、お前に眞實が見えさへすれば、私には深い考へがあるんだけれど」

「あなたの深い考へさは」

「誰れもかれも捨てゝ了つて、お前さ二人きりで、氣樂な世帯を持ちたいさいふ事さ」

「ははは、尤もらしい顏をして、あんな嬉しがらせを仰しやるんだもの」

「では、あしたになつたら、又小梅においでなさるのですか」

「どうすればお前の氣に入りますえ」

ひろじ會淨瑠璃會

ひろじ會では來る十九日午後六時から連鎖街事務所ホールで淨瑠璃大會を左の番組で開催する

「寺子屋之段」新玉、「太功記十段目」嶋松、「朝顏日記宿屋之段」都月、「忠臣藏六段目」長門「合邦内之段」喜鶴、「壷坂寺之段」勇、「太功記十段目」寛、「義經千本櫻すしや之段」都松、三味線竹本廣治、鶴彌

一樹會演能會

一樹會の秋季演能會は九月二十三日（秋季皇靈祭）午前九時より大連伏見臺羽衣高等女學校講堂に於て左の番組により開催、入場隨意

▲能　八島、野宮、蟬丸、鵜
▲囃子　枕慈童、七騎落、柏崎、女郎花、綾輪、鞍馬天狗
▲狂言　入間川、箕被、腰祈

好評湧く常盤座

『翼破れて』と『暴風の處女』
本紙讀者優待割引

本社後援の常盤座に於ける讀者優待映畫觀賞會第二日は折柄の日曜日でファン殺到し階上階下とも滿員で初日に劣らぬ大盛況を呈し「翼破れて」は大衆映畫として益々好評を博し「暴風の處女」は各場面に漲る映畫感覺がファンを魅了し愈々絶讃を博してゐる（寫眞は「暴風の處女」のホプキンスのテムプル）

吾等の死活と世話料問題で陳情
市場仲買人結束して

中央卸賣市場の場外取引に對し、市場當局ではその禍因を爲した生産組合の立賣所閉鎖を命じ、地場物の市場集荷を圖ると共に內地輸入品に對し嚴重な監視の眼を放ち市場の機能發揮に努めんとしつゝあるが、仲買人側では市場改組の際補償金の延長として市長が內地輸入品に對し二分の世話料を五ケ年間交附すとの覺書を交換せるに拘らず、市會の議決なりとして八年度より打切りたるに對し、仲買人は世話料を目して補償金の延長なりとの見解でその改組に應じたることゝて憤激、過般臨時總會を開催、對策を協議の結果改めて市長にその實行を迫ることゝし、福島、吉田正副組合長は十八日午前十一時市役所を訪問、小川市長並に長濱市場長に面接、別項の決議及陳情文を提出仲買人側の窮狀を陳述し、

一、內地品荷引方法に關し市は如何なる對策を採擇せらるゝや

二、仲買人世話料二分五ケ年間交附問題は八年度市豫算に計上なく如何にしてこれを解決さるゝや

更に今後の對策を考究することゝなつた、決議及陳情書左の如し

決議

日本人仲買人は覺書第三項に依り市に對し世話料要求の權利を保有す、然るに當該覺書は今や空文に歸せんとす、由來世話料は吾等に取り實に死活を制せらるゝ重大問題なるを以て速かにこれが先決を市に迫り然る後自衞對策を確立すべし

右決議す

陳情書

仲買業務の圓滑運行盡力方に關しては既に八月二十日附を以て嘆願致し置き候處今日に於ても何等變革なく困惑致し居り候然るに一方當業者に取りては最も重大なる大連市場の大宗たる柑橘類の出廻季節目前に迫り之れが對策に着手せざるべからざる時期に際會致し候就ては

一、內地品荷引方法に關し市は如何なる對策を採擇せらるゝや

二、仲買人世話料二分五年間交付問題は八年度市豫算に計上なく如何にして之を解決せらるゝや

以上の二問題を急速（遲くも九月中）御指示相成度候

申す迄もなく荷引業務が完全に行はれざれば當業者の營業は休止の止むなきに立ち至るべく又當業者自ら荷引するに對し何等の報酬なしとせば當業者は徒らに費用倒れを來してこれ又營業立ち行かざることは何人もよくこれを解し得る所にしてこの二件は孰れも當業者に取りては眞に死活を制する重大問題に有之候

仄聞する處によれば市は地場生産者團體の立賣所の縮小改革に次いで日本人當業者扱品の市場上場に對し嚴重御取締有之やに承知致し候素より上場取締は市場機能發揮上本來ならば當然過ぎる適切の措置と言はざるべからず然れども獨り大連市場においては之れは全く本末顚倒の事柄に屬す何となれば市當局交付の覺書第三項において「日本人組合に對し日本より出荷せらるゝ上場品一切の斡旋、荷捌の援助を求め之れに對し市は當該金額の二分を世話料として支給す」と明示し置きながら昭和八年度市豫算に之れが計上なきのみならず第七十六回市會に於て市長は「世話料を打切つたから」とて彼等の救濟等考へて居らぬと聲明し居り、且つ年半ばを過ぎたる今日、尙且支給の方策さへ確立せざる實情にあり、抑も甲乙兩者の契約なるものは必ず甲乙兩者がこれを履行することを要するは法の精神なるを以て從つて契約は契約不履行を先にせる者が事契約破毀に關する限り全責任を負はざるべからざること明かに有之候

然るが故に吾々當業者に對し市場上場を嚴密に取締らるゝならば須らく先づその前に自ら契約を履行せられその上徹底的にこれが取締に從事せらるゝを至當と思料致候

世話料問題は巷間種々取沙汰せらるゝも單に何等かの名目にて世話料に該當するものを出したいといふ程度に過ぎずして的確に捕捉し得ざるのみならず肝腎の市長が前述の如く本市會に於て公然これを非認せる事情もあり況や本問題は市會の協贊を經るにあらざれば實行不可能なるに於てをや當業者の死活を制する重大問題を斯くの如く漠然たる闇中模索にては到底滿足し得られざるところに有之候（以下省略）

市會否決後　復活出來ぬ
小川市長語る

仲買人組合代表者との會見後小川市長は語る

世話料復活を強硬に迫られたが世話料は既に委員會及び市會で否決されてゐることゝて、私としては何とも致しかたがない、その代り現在衰微してゐる市場を繁榮させるためには諸君の協力を得てやらねば到底成果は期し得ない、よつて市場繁榮に對する諸君の努力に對して何とか別の方法で御滿足を得るやう考慮しやうと話したところ、仲買人側では世話料と繁榮策とは全然別個の問題で私等は飽くまで覺書通り世話料の復活を要求しこれが容れられなければ私等としても考へがあるとの話であつたが、市會が否決したものを私が勝手に復活するといふことは到底不可能だ、從つて仲買人が何といはれても應ずる譯には行かぬ、市としては市場繁榮のため徹底的に場外取引を取締るだけだ

外國爲替管理法の目的と運用に就て
（四）　靑木一男氏講演要領

爲替管理の目的は見方によつてはいろ〳〵考へ得るのであるが、極く抽象的に申せばこれによつて本邦の貨幣價値の動搖を出來るだけ防ぐかういふことにあることは疑ひない、之れは今申上げたやうな變態的國際經濟の情勢下において我が國民經濟の利益を全般的に擁護する一つの機構であり立法であると思ふ、議會においてもこの爲替管理法が提案された當時、議員から管理法の目的は爲替の安定にありや又安定にありとすればこの法律によつて爲替の安定ができるかといふやうな學究的質問もあつた、私どもの考へとしてはこの管理法の目的が爲替の安定にあることは疑ひないと思ふ、併しさういつてその結論としてこの法律があれば爲替が安定するかといふ質問に對してはそれは徹底的保證はできないといふ答へる外はない、この法の力によつて爲替の安定ができるものとは思はない、總ての大勢によつて爲替の動くことはこれは致し方がないのである、只大勢に反しても或は吾人の投機思惑によつて極度にそれを攪つて置くならば不必要に過度にその爲替が動搖する危險があるけれどもこの法律によつて取締れば少しは保障できる、つまり或る程度の安定はこれによつて期することができると思ふのである

又議會においてこの爲替管理法の目的は爲替の低落防止にありやと爲替が騰貴した場合は法律で補ふが、この法律を取締りできるかといふやうな質問もあつた、その當時恰度アメリカが問題を起しかけてなつた時であるから、それに關聯してさういふ質問も起きたのである、この管理法の施行命令たる大藏省令を御覽になると如何にもこの爲替の安定といふ點も爲替の非常な低落を防止するといふ方面により以上の努力が拂はれて居るといふことは、これは皆さんもお認めになることゝ思ふ、この管理法の行はれる當時の我國の環境といふものが然らしめたことは勿論である、我國の爲替相場が二十弗を割らずして濟んだらうと考へて居る、けれどもこの爲替が不自然に騰るといふことは好ましくない、それに投機といふものが介在するとなれば勿論これは取締つて然るべきである、併し大體論としてはこの我國の方面から思惑をもつて爲替を引上げるといふやうな危險及び餘地といふものは比較的少いものだらうと思ふ、現に最近…

吉林に洋灰工場
日滿合辦で計畫
哈達灣に敷地設定
淺野の河野氏調査の爲來滿

日滿棉花協會
近く事業を開始
百萬圓の基金醵出決定
總裁は兒玉伯か大藏男

【東京特電十八日發】日滿棉花協會は紡績聯合會と棉花同業會から百萬圓の醵出決定、拓務省の年度豫算に經費を要求し近く事業を開始するが總裁…

金利引下と銀行の得意先
利得額數十萬圓

東拓社債
發行見合せ

阿什河糖廠
讓渡改組して經營

米作反減案
鐵相極力反對
下層民の負擔增大懸念

【東京十八日發電】農林省の付反別減少法案に對し、三土鐵相は豐年のさきのみを考へて立案するは極めて危險であり、且つ一ケ年で成績が擧がらなければ數年間繼續するを要し…

國際運輸の社債
百七十萬圓成立
利率四分五厘期限六年

國際運輸會社では滿蒙の新事態に適應すべき施設の爲め資金を必要とし今春來之が調達方に就て研究の結果、現下の低金利時代に適應し、社債の發行をなすこととし先般來東京に於て…

新糧粟初商內

支障を排し
特産積取統制案作成

市況（十八日）
特産
南支筋一齊買ひ大豆暴落

株式
內地變らず當市保合

錢鈔
標金安で鈔票昂騰

商品
麻袋續落　綿糸昂騰

上海爲替情報

各地特産着荷
大連埠頭着荷高

市場電報
大阪株式　東京株式　大阪期米　東京期米　神戶期米　神戶日米　大阪棉糸　橫濱生糸　大阪綿花　印度麻袋　鐵塊及鋼鉄　棉花

茴塵

滿洲日報
（日刊）朝夕刊共十二頁
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
發行所 滿洲日報社
（昭和八年十二月二十五日第三種郵便物認可）

藏相の海主陸從論 陸軍側强硬なる反對

資材整備費全額承認要求 當惑する財政當局

【東京特電十八日發】九年度軍事費について軍部の强硬なる要求に當惑せる藏相は往年の八八艦隊建設當時の例にならひ軍部兩相協議の上海主陸從主義を以て臨まんとする意向を示したところ陸軍側は强硬に反對を唱へ殊に資材整備について財政當局が軍事工業能力を考へて速成し得るものを繰延べんとする事は材料その他の點より實行不可能なりとして九年度資材整備費二億圓の全額承認を求め海主陸從の如きは以ての外の謬見なりとて陸海並行主義を主張し國防の點においては陸海各々立場に於いて獨自の方針を採らんとする意向が見えるので藏相の立場は益々苦境にあるが藏相としては國防費の先議を認める立場に於いて陸海兩相の協調を求め財政能力の最高限度の額を支出しこれを適宜陸海軍に振り當てる方針を採る外なしとする模樣である

陸相近く藏相に迫る

先議する軍事豫算

【東京十八日發國通】政府は明年度豫算を審議するに當り軍事豫算を審議することになつたゝめ近く高橋藏相と荒木陸相との間に具體的交渉が開始されることになるが明年度豫算案中最も注目されるのは

一、作戰資材整備費二億圓
一、滿洲事件費一億六千萬圓

にして滿洲事件費は大體本年度豫算と同額にして關東軍が依然匪賊討伐のため行動作戰を取つてゐる限り當然必要の豫算であるが、作戰資料整備費に就いては陸軍では繼續費として九年度以降殘存額二億四千九百萬圓の中二億圓を明年度豫算に於て要求してゐるが陸軍としては作戰資材整備費は大正十年以來繰延べされてゐたもので現在まで僅々その約二割の豫算を支出したに過ぎないが現下の國際情勢並に我國の工業能力に鑑み要求全額の承認を求める意向にして特に右の整備費を以てしては未だ國軍の裝備の一部を補充するに過ぎず荒木陸相も曩に議會で資材整備費二億四千九百萬圓を計上し速かに二億圓程度の支出を必要とする旨言明してゐるところであつて當然右は十年度以降に計上する意向を有してゐるので明年度豫算における要求額は全額承認を求める方針だから大藏陸軍當局の折衝は注目されてゐる

滿洲事件費

集計近く大藏省廻附

【東京十八日發國通】過般參謀本部と陸軍省との協議で決定を見た根本方針に基き滿洲事件費の集計を急いでゐたところ十八日集計を終つたが總額一億九千萬圓に達したので更にこれを省内で査定の上二十日過ぎ大藏省に廻附する事になつたが陸軍省としては一億五、六千萬圓に止めたい意向である

貴院見解

【東京十八日發國通】秋に入り政局漸く活氣を呈したが貴族院では時局問題に就き左の意見を有してゐる

一、國防費先議問題　政府では明年豫算編成に當り國防費を詮議する方針のやうだが國際關係の現狀から見て充分審理し承認するが必要だが帝國としては東洋平和の確保の上から挑戰的に出て建艦競爭の火中に投ずるは危險なりとしてゐる

一、豫算問題　國防費の增大に伴ひ二十數億の大豫算となり赤字公債增發さるゝが貴族院としては前議會に非常財政立直しのため歲入制度の確立と增税の必要を要求したのでこれを無視せる高橋藏相の態度に反感を有ちなり來議會にこの不平が如何になるか注目される

一、外交問題　内田外交失敗を痛論した貴族院は外相更迭に好感を有ち廣田新外相の對米對支外交策に期待をかけてゐる

謝總長來連

新居檢分の爲

九月十八日、事變二周年記念に突然、滿洲國外交部總長謝介石氏が單身ブラリと來連した、珍しく背廣姿、金州まで出迎へた記者と事變勃發當日を回顧しながら話込む

一、承認記念日に引つゞき事變記念で大連も賑はつた事だらう、これに反し支那側が國恥記念日だなんて云つて指導部の連中が民衆にさかんに惡宣傳してゐるのは不快だ

一、北鐵會議は今のところ一休みの形だ、さう簡單に話がつくとは思はれないすべて大橋次長任せでこちらとは電報で打合せてゐる

一、丁度今日は事變記念日だが事變の當日は自分は大連に居つたそして二十日に奉天へ行つて蘇家屯で日本の軍隊に引掛つたものだそして洮南へ吉林へしきりに走り廻つた記憶がある

一、今度の來連は星ヶ浦に新たに家を借りたのと次男が身體が弱いので見舞がてら來たもので約二日許りで歸る

熱河は明け行く

承德にて　島田特派員

頭目の歸順續出 匪影殆んど空し

蠢くは湯の殘黨

最近における熱河省内の匪賊は日滿兩軍の徹底的討伐と彈藥の缺乏と更に冬季に向ひて防寒裝具を有してゐないため漸次何れも戰意を失ひ、僅かに平泉方面に鄧七點、李海山の率ゆる何れも約千名の匪賊と灤河支流方面における劉東臣の一味、及び北方長城線附近に於ける湯玉麟の敗殘部隊とが餘燼的活動を續けてゐるのみで、他に集團的匪賊團は殆ど姿を見せなかつたが、西〇聯隊下の滿洲國軍は熱河省の鶴省長麾下の皇軍及び張海徹底的治安を維持すべく、これ等大匪賊團に對して不斷の討伐を行つたところ、何れも

最早敵し難く

集團的匪賊は

河省は殆ど壞滅したといふべき安全地帶となすして承認記念日、事變記念日を前にした九月上旬、續々我が承德特務機關を通じて歸順を申し込むに至つた、卽ち北方國境、上黃旗大古鎭方面に蟠居してゐた湯玉麟の敗殘部隊中、その親兵を除く大部分は自ら東亞同盟軍と稱し、親滿、親日を標語として遂に反將湯玉麟とその手兵を長城線外に追ひやり、滿洲國軍と共同して該地方の治安維持に當らんとし、劉東臣一派は灤河支流の地域にありて武器を捨て、運航船舶の便を計るべく沿岸の勞役に從事し、平泉地方の鄧七點、李海山一味も後方山岳地帶に潛んで姿を見せず、或ひは特務機關へ、或ひは派遣警察隊へ連日の如く使者を送つて歸順の許可を待ちわびる有樣で、目下の熱河省は殆ど

つて來た、右に關し、松室特務機關長は語る

最も治安維持が困難と思はれてゐた熱河省が、今日は無風狀態に近い安全地帶となつて來た、五人、或ひは十人位の小匪賊はまだ時々出沒するが、これは寧ろ襲はれる方が油斷し過ぎてゐるからだ、相當の警備もし、充分な軍隊もゐる處を襲ふと云ふやうな優勢な匪賊は殆んど後を絕つたといつてよからう殊に各種記念日の續く九月上旬に期せずして大匪頭目が歸順を申し込んで來るといふのも、日滿兩國の威力を痛感し、又滿洲國良民の安穩な生活がうらやましくなつたからかも知れぬ、歸順を申し込んでも、おいそれとすぐ許す譯には行かない、我が軍部の意向もあり、又滿洲國中央部の意向もあることだ、場合によつては絕對許さず徹底的に討伐しなければならぬものもある今のところ劉東臣一味は灤河の船舶方面で適當な仕事もしてなり再び匪賊化することもあるまいと思はれるので、特務機關でも特に好意を示してゐる、他のものは未だ何とも

決してゐない

又長城線内、卽ち河北における匪賊の行動は忽ち熱河省の匪賊に影響するが、河北方面も概して平穩で、丁强軍、石友三軍等の匪賊化は全然でたらめで一部為にする者の流言と思はれる、殊に丁强の部下の如きに支那の軍隊の中では模範的なものであらう

承認記念日の承德（上）平泉（下）
山口特派員撮影

蒙古民族に歡呼あがる

熱河省政府建設の日

承德にて　島田特派員

熱河聖戰完了し舊軍閥とは全く異つた王道政治の下に新熱河省政府が建設されるや、熱河全省民は心より歡喜と感激を以てこれを迎へたが、中でも最も新省政府の誕生を喜んだものは熱河北部地區に住む約五十萬人の熱河蒙古民族であつた、彼等蒙族五十萬人は前清時代には理藩院の下に保護を加へられその生活を享樂してゐたのであるが、民國に入りてよりは蒙藏院或ひは蒙藏委員會によつて管轄され軍閥の壓迫日に加はり、殊に湯玉麟が省政府の主席となるや壓迫特に甚だしく

蒙民は何れも

貧窮の極に陷つてゐたのであつた然るに大同元年滿洲國の成立に次で本年二月日滿兩國が熱河に聖戰を行ひ、漸く蒙民五十萬が復活の曙光を認め得たのであつた、聖戰以來彼等は各蒙旗毎に協議を行ひ滿洲國構成の一分子として溌剌たる意氣に燃えて農業に、牧畜に從事して來たのであるが、然し熱河省政府は未だ建設匆々であり、又蒙古居住地區が甚だしく邊境であつたゝめ、未だ熱河蒙民に對する保護機關が省政府内に設置されるに至らなかつた處、各蒙旗では滿洲國西北蒙民に對して興安署の設置により蒙民統治の道が開かれたるに、その人口興安蒙民より遙かに多き熱河蒙民に對して何等統治機關の顯はれる處なきは甚だ遺憾である、我等熱河蒙民も滿洲國構成の一分子として滿洲國に忠誠を致し蒙民として最も歷史的關係深く、且つ崇敬措く能はざる

前清宣統帝の

執政就任に對しては最も感激する處にして、執政を奉戴して忠勤を擢んでんとする精神に於ては全滿洲國内の何れの民族にも劣らぬ覺悟を有するものであるとの決議を行ひ、九月十五日の承認記念日、及び十八日の事變記念日を期して各蒙旗より代表を承德に派し、自ら進んでその忠誠を現すこととなつたので、我が松室承德特務機關長も蒙民の意氣に感激し、熱河蒙族代表會議開催の斡旋に當ることゝなり、去る八日以來各蒙旗より代表が續々承德につめよせ、十三日代表會議開催の部には三十四名の多きに上つたが、連日協議の結果十六日、大要次の如き決議を行つた

一、熱河蒙民は滿洲國々民として永久に滿洲に忠誠を致す
二、宣統帝の執政たることを最も歡迎す
三、前清時代に附與せられたる蒙族に對する恩典も復活せられたし
四、熱河省政府機關に蒙務局を新設し、赤峰、朝陽の兩辦事處に蒙務科を設け

蒙旗行政事務

を管掌せしめられたし
五、蒙民有能者を公共機關の役人に採用されたし
六、蒙旗保安隊制度を確立銃器彈藥を給與されたし
七、各蒙旗に日本人指導官を派遣されたし

民政黨の全國的遊說

若槻總裁陣頭に立つ

【東京十八日發國通】民政黨では現下非常時に處する黨の態度を闡明せんがため秋季に入ると共に全國的大遊說を行ふべく目下松田幹事長等の手許で計畫立案中だが今回は特に若槻總裁は第一線に立ち各地方大會に出動し氣勢を擧げることゝなつて居り來る十一月十一日名古屋における東海大會を皮切りに外交問題國防問題財政の根本的改革思想教育農村問題を中心とした黨の主義主張を高調する方針で若槻總裁が首席全權として締結したロンドン條約に對する黨の立場も表明する答である

想敵は何處？

北滿國境の蘇聯兵備 軍部外務張目す

【東京特電十八日發】最近の情勢によればソウエートは戰時編制の約十箇師團の軍隊を北滿國境から浦鹽にかけて配備し何れも優秀なる裝備をなす外二十餘臺の重爆擊機を要所に配してゐる、この空軍は日本の樞要都市を行動範圍の中に包容するものでその他浦鹽には潛水艦十數隻を配置し裏日本航路威嚇の準備をなしてこれ等は總て他國を侵害せず自國の防衛のみに當るものとは解せられないとして我軍部は蘇國の眞意に對し深き疑問を抱き蘇滿國間に意外の紛爭の起るおそれある事を憂慮してゐるが新外相は蘇國の事情に精通する人だからこの危機を何等かの外交手腕に依つて除去する事を軍部も期待してゐる

蘇滿間には何も起らぬ

小磯參謀長談

【チチハル十八日發國通】當地滯在中の小磯參謀長は午後五時半記者團との會見において左の如く語つた

問・蘇滿間に事が起らぬか
答・今のところ何も起るとは思はぬ・ソウエート側から積極的に戰爭を仕掛けることは絕對にないと思ふ・國境方面も無事だ

問・ソウエートに反革命は起らぬか
答・ロシヤの國民性は單純だから反革命は起らぬと思ふ

問・廣田外相に就いては
答・國際關係の複雜化せる現在の外相として甚だ結構だ

問・北鐵交涉に就いて……
答・ロシヤは賣りたがつてゐるが日滿は安ければ買つてもよいと云ふだけに是非買ふとは思はない、交涉の成立するかどうか當事者で無ければ判らぬ

問・北滿の將來は……
答・將來の北滿に就いては內政を充實し產業の開發を最も注意しなければならぬ

問・滿洲事件二周年の感想は……
答・豫想以上治安が恢復したことを愉快に思ふと共に日滿經濟提携が力强くなりつゝあることだ

ニセものらしくまた本物らしく

振舞ふ北平入の馬占山

【北平十七日發國通】北平入りをした僞英雄馬占山は目下槐里胡同前萬福麟の故宅を宿舍とし相變らず抗日武勇談を得々と語つてゐるが最近北平において馬が僞物であるといふ噂が廣まりセンセイションを捲き起してゐる、右噂の根據は馬に面會せる人々の口より起つたものであるが殊に馬と面識ある某醫師の談に依れば曾ての馬は濃い口髭を持ち目の鋭い極めて印象的な容貌をした男であつたが今見る馬は口髭疎らで眼光にぶく全く僞物としか思へぬと漏らして居り今や北平で馬の眞僞は各方面の話題に上つてゐる

キユバ新政府

【ワシントン十八日發國通】キユバ革命推移に異常な注目を拂つてゐる米國務省首腦部では十七日行はれたキユバ革命派の緊急會議で頗る重視し今後二十四時間以內に現在の逼迫せる國內情勢が何とか決定的轉向を示すものと期待してゐる、一方ハバナ來電に依れば全都三十七の實業團體は現大統領サンマルチンに向つて我等資本家團體は勞働者の暴力に抗議するため來る十九日を期して二十四時間の商店閉鎖を斷行すべしとサンマルチン大統領を脅かし同氏の新政府は早くも窮地に陷つてゐる

アメリカのソ聯承認

降誕祭前實現か

【東京特電十八日發】ワシントン來電によればアメリカのソウエート承認は今年中に決行される情勢となつた民主黨の重要外交ソ聯承認は黨內の保守反對のため、實現が遲れ的經濟的理由より承認を迫られ大統領は一切の…へ民主黨の有力者、上院…リアム・マツカーヅ氏は…訪問の豫定にある、アメ…國が自動車、機械類、…交易の必要に迫られ居る…認の曉は年額一億程度の…可能なりとの算盤勘定に…るので、此のクリスマス…行される模樣である

積缺整理公債

國務院會議上程

【新京十八日發國通】積…債は十八日の閣議に上程…議の審議を經て公布せら…第二次積缺善後整理とし…百萬圓並びに積缺整理公…圓を發行する事になつた…は年利三分本年七月一日…行償還期限は二十年政府…時買上をなすもので今次…積缺整理は滿洲國政府の…を高むるものとして各方…評を以て迎へられてゐる…公債の發行により滿洲國…の國債總額は一億一千五…（金圓は國幣とパーとす…

交通審議會の劈頭議題〃吉敦線〃

廿五日第一回を開會

【東京十八日發國通】交通に關する重要國策審議のため新設された交通審議會第一回會議は二十五日午前十時より首相官邸で開き齋藤首相以下各員出席し「諮問案一號・吉敦線に依る日滿間交通路開通に伴ひ日滿間交通整備の方策如何」を附議し調査報告を進める筈

事變發生以來の死歿者

將校以下三千二百六十六名

【東京十八日發國通】昭和六年九月十八日以來本月十五日に至る滿洲事變名譽の死歿者は十八日次の如く陸軍省から發表された

將校　二百三名、准士官以下二千九百三十名、軍屬（陸軍通譯等）百三十三名、合計三千二百六十六名

人手の足りぬ鐵路總局

宇佐美總局長の談

鐵路總局では目下運輸規定をはじめ各種の路局營業方面の規定の統制を實現し漸次管下路局營業方針の組織化を實現しつゝあるがそれに伴つてこの際各路局の統合を行つて職制を改正し、路局組織のうへにも全般的統制をなさり、それと共に路局の組織を擴大して現場機關としての機能を擴充することゝなり、現在の八路局と新線方面を系統別に分つて四路局とすることに決定

（一）吉海、瀋海、奉山を結ぶもの（二）四洮、洮昂、齊克から北安鎭までを結ぶもの（三）呼海線を中心として北滿北鮮向線を結ぶもの（四）現在の京圖線の四路局に分つこととなつたがこの職制改正は一面總局の路局中心主義を現すものであり從つてこれ等路局幹部となるべき人物は相當の手腕家を必要とし、路局長は總局處長級、路局の下に置かれる四科（總務、運輸、經理、工務）の科長は總局科長級と同格となるべくその結果現在の總局內の人材を以てしては到底これ等の位置を充たすことは不可能となり、路局長は大體總局內で決定を見てゐるが科長級の補充については先づ滿鐵各々道部に援助を求めたところ部港灣課附屬參事以下數名に過ぎず、しかも全般的に擴大されて行く總局の業務範圍は事務員技術員およびそれ以下に極端な不足を招來し、これ等の下級方面に關しては滿鐵の現在力を以てしては全く補充の道なく遂にその補充を內地鐵道省から仰ぐことゝなり交涉のため伊澤總局次長は日大連發旅客機で內地につゞき大里人事科長も數日京することゝなつた

而して伊澤次長は上京して十八日夜星ヶ浦ヤマトで宇佐美總局長と種々打合せるところあり、次いで科長は十八日午後七時急行はとで來連十九日總務部人事課長と採用員數について根本的打合せをすることゝなつた

なほ總局の鐵道省からの今後數回に亘つて行はれ一回は路局科長級數名以十名と見られて居り內地へられる如き多數採用のく、また鐵道省小原貨物業調査、庄野配車、山岡任待遇課長を路局長に迎き說も單なる浮說に過ぎと見られてゐる右につき局長は十八日夜星ヶ浦ヤルで語る

鐵道省から少し人を採とは事實だが數は總務と打合せてからでない一遍に補充することいから今度は一部分だ職制改正は考へてゐる定したものでなく從つて補充は職制改正に關係ものである、路局長なら採用することは今の然考へてゐないまた誰して採用に行くのでも局の科長級の人は鐵道來てもらふがそれだけない、とに角今は人不ころ噂に出た路局の從なんてことは全くの架て淘汰などはしない

廣田外相

【東京十八日發國通】廣田新外相は二時外相官邸に英大使リ氏以下各國大公使を招い拶をなした

長岡大使着京

【東京十八日發國通】長岡大使は前九時東京驛着歸朝の

社説

銀行團の視察と其の意義

滿鐵は内地シンヂケート銀行團に對して、事變後の滿洲の實情を視察せんことを以てし、其の承諾を得たと報ぜられる。蓋し投資家の基幹的主體である銀行團を迎ふることは極めて適切なる企てであり、斯かる計畫は滿鐵にして行ひ得る獨特の擧である。元來銀行家は、他の事業家等が尖端的行動を執るに對して、常に警戒の眼を放ち、出足の頗る遅いのを常とする。故に事業家の行動は、常に銀行家の自重に依りて驅肘される有樣である。然るに今度の滿洲問題に對しては銀行家も亦異常の關心を拂つてゐることは、滿洲國の建國公債三千萬圓に對し、唯々として應じたばかりでなく、滿鐵の增資や社債に對して極めて積極的態度を執つてゐるのを見て明かである。

◇

蓋し日本金融資本の最近の動向は、事業資本を驅肘する高度の統制的支配が、何時の間にやら全支配權を掌握することとなり、幾多の事業家は悉く其の統制下に屈服して終つた。斯くの如き現象は、彼等が滿洲問題に理解を有するの證左と見るべきで、或は資本家來らずの嘆聲を聞くけれども、方法と手段とが適正であるならば、内地資本は陸續として進出し來ることが察せられる。大連汽船や國際運輸や、其他滿鐵關係の傍系會社等に對する投資には、悉く安心して進んで應ずる狀況は、内地資本家としては珍らしく勇敢なる態度であるといつて好い。

◇

或は滿鐵が國家的機關であるから安心して投資し得るといふ見方もあるが、それならば國家的統制を基調とする最近の滿洲の諸企業に當りて、資本家來らずの聲は聞かぬ道理である。金融資本の本來の面目は、資本の有効的確なる活用に依存する。故に未だ海のものとも山のものとも分らぬ企業に對する投資は躊躇することも亦已むを得ない。假令それが國家的經營と雖も斯かる冒險的企業投資よりも、端的に國家的の貸借を好む事例は建國公債に明白に現示されてゐる。而して滿鐵に對する資本團等の認識は、深く其の事業の實體を見究めて、これなら大丈夫といふ點にあるので、傍系會社の投資の如きも亦同樣投資に對する効果的の業績を見込んでのことである。

◇

往年一度銀行團を迎へたことがあるが、當時は戰時好況の後を受けて暗落の延長時ともいふべく、鮮銀、東拓等が放漫なる投資の回收に血眼になつてゐる時で、資本團は少からず失望した。而して其の結論は「滿洲に投資物件無し」といふ甚だ好ましからざる斷定を與へ、銀行團の來たことが却つて藪蛇に終つた苦き經驗がある。併しそれは關東州と滿鐵附屬地とに對して滿鐵の資產と關東廳の官有財產とを除き、加ふるに右の如き鮮銀、東拓等の關係あるものを悉く除外した結論であるから、正に其の通りであられればならぬ。

以後十年を經過した今日、特に事變後の滿洲に於て斯かる不都合な結論を生ずることもなさは言ふ迄もないので、此の意味に於ても資本團が滿洲を見直す必要があることを最も痛切に感ずるのである。

◇

殊に吾人が希望して已まない點は、事變直後資本家入るべからずの制札を立てた如く誤傳されたことで、これは幾度か日滿兩國の當局者より釋明されたけれども、尚誤聽の點なしとせぬ。又上記國家的統制事業の實體に就いても、現實に其の樣像を點檢して、如何に滿洲に資本を要するかを認識し、同時に各種事業の經濟的價値を掩ふ所なく批判せんことを望まればならぬ。固より其の全意識は吾人の夙に提唱せる日滿ブロックの擴大强化に依る東亞全局の經濟的把握で、日滿ブロックを基幹として全面的の考察と認識とを加へんことを要望して止まぬ。

非常時色彩濃厚な 滿鐵明年事業費豫算

費目財源共截然二分

滿鐵の昭和九年度事業費豫算は九月一日提出豫定日のところ鐵道部の一部及び撫順炭礦の一部に未提出の部分あるため未だ總豫算額明かならず、豫算提出のおくれるのは例年のことながら今年の如き遅延ぶりは前例のないところで、經理部も未提出分はそのまゝとして提出ずみのものから査定に着手するに至つた、しかして未提出の分は大體において既に社議において九年度の必須事業として着手することに決定してゐるものでそれだけに多少の金額の削除はあるも費目そのものとしては絶對に削除されることがないもので費目および豫算金額は左の如くである

▲鐵道部（單位萬圓）

費目	金額
車輛新造費	一、八〇〇
輸送能力增大費	四〇〇
超スピード車建造費	三〇〇

▲撫順炭礦

費目	金額
大發電所建設費	六〇〇
龍鳳竪坑開鑿費	[illegible]

……營業部分は二千二、三百萬圓で社内保留金で、非營業部分は三千萬圓見當で社債又は增資々金支辨となるべく、滿鐵の事業費がかくのごとく截然と二分するのは例のないところで滿鐵豫算も日本の國家豫算が國防費を國是部分として先取してゐるのと酷似して著るしく非常時色彩を帶びることになつた

旅客列車 十月一日ダイヤ改正

滿鐵鐵道部が十月一日から行ふ列車ダイヤの旅客列車改正要點は左の如くである

一、前回の改正に當り夜間大連發二ケ列車中の第十三列車を夕刻大連發に變更したがその結果夜間列車乘客は超滿員の狀態となつたため今回の改正において大連發第十七列車（二十一時三十分大連發）に先行する列車、即ち大連新京間一往復の增發を行つた

二、新京奉天間の交通一層頻繁を加へて來たゝめ本區間に一往復……

……（十時三十分大連發）は四十分第十七列車（二十一時三十分大連發）は一時間十分の短縮を行つた

四、チチハル方面と安東および新京方面には約半日、大連方面には約五時間の短縮を圖つた

五、從來第十七および第十八列車（十二時四十分新京發）の車輛の一部を吉林に直通せしめてゐたが今回の改正によりこれを第十九、二十列車に變更した

六、連京線にあつては輕油動車を增發して區間旅客の便益を圖ると共に各線に對し通學生用輕油動車の增發をなし兒童の早出晩……

イ、蘇家屯新京間に新に解結列車一往復を增發し以て當該區間内中間各驛發着貨車の輸送を迅速ならしむることを期したり

ロ、現行に於ては小口扱貨物の輸送に關しては中間車列車の外必要と認めたる區間に對し補助中間車列車を設定し貨物の逸速を圖り來りしが出廻貨物の變更又は季節によりては臨時時刻の適切ならざる場合もありて之が設定の趣旨に副はざる嫌ありたるを以て本改正に於ては補助中間車列車は特に之を設定せず鐵道事務所に於て實狀に即したる解結列車を指定し隨時適所に補助中間車の設定改廢を行はしむることとし以てより一層荷主の利便を圖ることゝせり

ハ、滿洲建國以來新京その他北滿方面向生果、鮮魚、野菜等の急……

錦州建設事務所

所長は古関正雄氏

滿鐵々道建設局では新に錦州建設事務所を追加したがその陣容は十……

貨物列車時刻改正

鐵道部發表

中央より地方へ 銀行連絡統制

日銀の積極的乘出し

承認一周年を迎へて 建設され行く滿洲國

滿洲國の教育刷新（二）

文教部次長 許汝棻

一、文化事業及古蹟保存

一、體育大會及少年團

林總裁拓相訪問

滿鐵諸計畫を打合す

電報料反對 經過報告

全國有價證券の値上り約七億圓

朝陽扎北營子線

大連市人事

杉村公使招待

板原中將赴京

關東廳辭令

ほんこん丸船客

八相 職業紹介所

市況

家庭

邦人間に驚くべき 滿洲國語の研究熱

全國學校で滿洲語科を新設か

長尾大連商業學校長談

滿洲國承認記念日や事變二周年記念日を迎へると共に日に〳〵親密になり行く日滿提携のうれしい横顔を眺める時そこに旭日のやうな輝かしい希望を胸一ぱいに感じます、更に滿洲國をよりよく知るために、又日本をよりよく知られるためには日滿人共に兩國語の交換研究が必要なるは今更さり立てゝ申すまでもありますまい、滿洲事變後日本人の滿洲國語研究熱はいよ〳〵盛んになり內地の各學校、殊に商業學校方面では生徒自身將來の滿洲進出を計畫して、支那語が大いに研究されてゐると聞きます、勿論滿洲に在住する日本人間でも滿洲國語を研究してゐるもの〻數は夥しい數に上り、この傾向は相當教育者間に注目を惹いてゐますが、大連商業學校長長尾宗次氏は次の樣な耳よりなニユースをお話しになりました。

最近の滿洲語熱の高いことは實に驚くべき狀態にあります、この夏、新京商業學校で開かれた全國商業學校長協議會でもこの支那語に關する議案が提議されましたが全國校長間で相當力說されたものは教科目に滿洲語科を加設することや支那語を必須課目とする樣にと云ふのでした

それに、中等教員檢定の科目中支那語が含まれてゐながらも、有名無實の狀態にあつたのを實際に活用して貰ひたいなどの意見が持ち上りその協議會の結果建議案を文部省に提出しました所、早速當局より返事があり、支那語檢定受驗希望者のあらましの數を問ひ合はせて來てゐます、こちらより通知するその數によつて當局としても早速何等かの方法が講ぜられるものと思はれます、滿洲國語が日本全國の學校で正課として科される樣になれば相當の支那語の先生が必要となり早速先生の缺乏となるわけで、相當の實力を有する人の更生の道も開拓されるものと思はれ大へん喜んでゐます。

大連 早苗小學校の勞作展覽會

九月廿日開かれる

大連早苗高等小學校の勞作展覽會は每年市民に非常な期待をかけられてゐるのですが今年も九月二十日同校開校の日を記念するために當日午前九時から三時まで同校に於て開かれることになつてゐます、眞心こめて作られた兒童の製作品は兒童獨特の銳敏な感覺と思考によつて驚くべき大作さへ作り上げ保護者を驚かせる事は珍しくありません

今年も書架、本箱、本立、隅棚、安樂椅子、普通椅子、餅箱、スシ箱、釣化粧臺、卓子などの製作品を木工部から出品し、金工部ではバケツ、印燒、石炭バケツ、手鍬、十能などをできる限り多く出品し保護者及一般の展覽に供し一方實費にて即賣することになつてゐるさうです、その他に木工、金工、窯業、印刷等の實習を行ひ一般の觀覽を歡迎するさうです

勇士の旅情を慰む

大連森洋行の美擧

大連の關東倉庫に宿泊する兵士や羽衣町の兵士ホームに集ふ勇士達の旅情を慰むべく連鎖街の森洋行では今回滿日婦人團を通じポリドール蓄音機二臺にレコード二十枚、針二千本を添へて寄贈方を依賴して來たので同婦人團では直に前記兵士ホーム並に關東倉庫に各一臺宛を備へつけることゝなり十六日午後それ〴〵幹事の手によつて寄贈したが、兩所における勇士達はこの素晴らしい贈物を贈られて非常に歡んでゐた(寫眞は婦人團より贈られた蓄音機を取かこんで子供のやうに欣んでゐる勇士達)

わたしの結婚觀(二)

勿論"戀愛結婚"を

特にお料理に素晴らしい腕前

川村龍雄氏令姪 百合子さん

平和臺二〇、大連汽船常務取締役川村龍雄氏の令姪百合子さんをお約束の時間にお訪れしました。

……◇……

何となしにかう近代人の惱みに適合しさうな感じの方、つぶらな瞳から先づ淸純な印象を受ける、ファーストインプレッション「甲」といひたい處、昭和五年才媛の多い跡見高女の出身で、お歳は二十三歳、爭はれないのは何となしに垢拔けのしていらつしやることゝ。

……◇……

「東京へ歸りたくなりますか」

「去年の三月來たのですけど、矢つ張り東京へ歸りたいと思ひますわ」

「色々不自由を感じるでせうね」

「え〻……それにお友達もないものですから、どうしても家に引きこもり勝になりますわ」

だから百合子さんは自然多趣味なんだ、音樂、洋裁、活花と近代の家庭を守る主婦の役目は一通り心得ていらつしやるとのこと、特にお料理の腕前は實に素破らしい?

「だが、そんなに家庭にひつこんでゐると時勢におくれませんか」

「……」

「實は大いに新しい御意見を伺ひにあがつたんですが」

側について いらつしつた川村夫人が「何分これといつて見るものも御座いませんしね」

……◇……

さて記者はいよ〳〵本論に話題を向ける。

「百合子さんは、どんな男性がお好きですか」

「私……朗かな男性的な感じの方がいゝと思ひますわ」といさゝか恥しさう、どうも近頃のお孃さん方の好みは申し合はせたやうに一致してゐる。男性よ、須らく朗かに感しよくあれ。

「ぢやあ結婚なんか」

「理想からいへば當然戀愛結婚をすべきだと思ひます」

「困つたわね……でも肩の重荷がおりたわ」と川村夫人。

……◇……

「それに日本の家族制度などにも色々缺點があると思ひます」……ハツキリとした百合子さんのお言葉を引きとつて川村夫人は

「近頃のやうに目醒めつゝある女性が、どうかといふことに對しては世の中のお母さん方は皆一樣に惱んでいらつしやるだらうと思ひます、どうしても男の方と交はる機會も多いし、自分を信じるといふ氣持は尊いですが、一寸した認識不足のために一生取り返しのつかないやうなことになれば全く大問題ですもの、たとひ若いものゝ意見が正しいとしても老人には永い體驗の目がありますし、特に男女間の問題はデリケートなものですから矢張り親として注意してやるべきでせう、私達が若い時分は男の方の手紙なんか必らず親達に見せたものです、時代が變つてもさうしたことに對しては小心であるのが一番いゝことではないでせうか、勿論かうした點に就いては平常からそれとなく娘達に話して置くことがいゝでせうね」と……

……◇……

女子大を出られた夫人が沁々と語る娘に對する尊い母の惱みの言葉である、百合子さんがかうした伯母樣と一緒にお暮しになることは大變結構なこと、初々しい百合子さんの花嫁姿に接する日も遠くはあるまい。(寫眞は美しい百合子さん)

秋のスエーター

新傾向・スポーツ型

▲すつかり涼氣立つて秋の支度もいよ〳〵忙しくなりました、今秋のスエーターの傾向を調べて見ました、今秋のスエーターはその型がぐつとブラウスに歩みより、ブラウスとの區別がしにくいやうなものが多くなつて來ました。

▲ケープのついたものや、ネツク飾りの多いもの等上半身が特に華やかになつて、その生地が毛織乃至それに類する編物なるが故に區別がつく位である。中にはスエーターでありながら、裁つて縫合せたものさへあります。

▲一方在來の所謂スエーターの型のものもいろいろ趣向をかへ、變つた感じのものがあります。粗い編みの柄合で面白味を出してゐるものが多く、ウエストラインが上り目でラウンドのハイネツクものが多くなつて參りました。又今秋はスポーツ好みのものが非常に愛好されて參つたのも新しい傾向の一つであります

(寫眞、右は變りヂヤージー生地のスエーター、襟に變化を見せたもの、八圓五十錢、左は初秋用手編スエーター、色は白で五圓五十錢から八圓五十錢まで)

☆　☆　☆

大連 JQAK 九月十九日

▲午前六時　ラヂオ體操第一

▲午前六時三十分　ラヂオ體操第二

▲午前十一時　相場(錢鈔、特產、株式、各地相場)

▲午後零時十分　相場(錢鈔、特產、株式、各地相場、公設市場値段)ニユース

▲午後三時卅分　相場(錢鈔、特產、株式、各地相場)ニユース

▲午後六時　ニユース

▲午後六時三十分　支那語講座「初等科テキスト第三十二課」滿鐵學務課　秩父固太郎

▲映畫物語「開墾地の嵐」映樂館　滿愛幸、撰曲瀧口良二

▲長唄「新浦島」(唄)杵屋正春(三味線)大幸メ勇(同)常盤樓一龍

▲筑前琵琶「日朗坂」法慣山加藤旭明

▲職業紹介事項

▲ニユース

▲氣象通報

東京 JOAK 九月十九日

▲午後六時三十分(東京より)講演　倫敦會議後に於ける海運界　黒川新次郎

▲午後七時(東京より)俚謠　一、栃木機音頭　栃木有志、唄山野井愛次郎、太鼓松沼八東、同高橋樋吉、小鼓宮田隆治、笛中島吉二、鉦鈴木新三、横兼出四二、三味線若林兵衛二、小田原音頭　福田正夫作詞、大村能章作曲　小田原唄園香、唄美津、同千惠子、同三味線、八重治、同久米香、同八千代、三味線おゑん三、小田原大漁節、唄喜久八、三味線八千代、同勝利、同玉枝、同久米香、同八重治、同美津、太鼓一代、同園香、香鉦千惠子

▲午後七時二十五分(東京より)狂言　武惡主主(アト)野村萬藏、武惡(シテ)同萬造、太郎冠者(小アト)野村萬介

▲午後八時(東京より)漫談　大辻司郎、伴奏指揮宇賀神以津男

本社特選 新棋戰(其五)

平手　先六段△山北孫三郎　六段▲寺田梅吉

【圖は六四金迄の局面】

山北氏持駒歩

寺田氏持駒角歩歩

△四五歩　▲八六歩
△同歩　▲同飛
△八七歩　▲八一飛
△七九玉　▲七六歩
△同銀

累計六十五手

【土居八段講評】山北君が危險を避くる意味で一旦七九玉と退却したのは一應道理の安全策なるも、以下敵に金、銀、桂の威力を發揮されては、守勢に偏するから、此處は一旦四六馬を上り、四九飛の時三五歩と突き出し、然る後我れ又攻勢を採らば面白い決戰策となるに相違ない、寺田君が七六歩と突き捨てその筋を狙ふたのは好い時期である。

【萩原七段解說】山北氏の四五歩は、遲蒔き乍らも次に四六馬と出て敵の攻擊を牽制せんとする策である、寺田氏の八六歩は飛車先を切つて次に八一飛と引き、敵が四六馬なら六一飛と受ける意味である、山北氏の七九玉は、玉頭が薄いので安全を圖つたのであるが、これは弱かつた、四六馬と指して四五歩突を縱率し、敵の玉頭を窺ふ方がよかつた、寺田氏の七六歩は輕手で敵に同銀と取らし次に七七歩と打つて攻擊せんとする意味で、この樣に攻擊の順になると持角の強味が現はれて、山北氏の一筋の位取が手遲れになつたから早く四六馬の形にせねばならなかつたことが首肯される譯だ。

第廿八回 滿日特選碁戰

先　初段　松林茂比古
三段　渡邊英夫

—【5】—

○六六タの十六　●六七タの十五
○六八レの十八　●六九ツの十八
○七〇タの十八　●七一レの十四
○七二ルの十八　●七三ワノ十
○七四ワの十四　●七五カノ十五
○七六ルの十四　●七七テの十
○七八チの十五　●七九カの十四
○八〇ワの十三

感想　白曰く　七十二まで相當稼いだ積りですが……、こゝは確かにうまくやられました、然し黑曰く　全く其通りで、七十三の切りも相當ですからまだ戰へるつもりです、七十五は無論七十八をツグ可きで輕率です、白七十八と切られて七十九を餘儀なくされ、八十と連絡されたのは些さか辛かつた

解說　白六十六から七十二まで必然的の應酬で、相當の地を持つて生きられた事と、七十五と七十八に疵を殘して居る事は、黑の折衝の安當でなかつた事を物語つて居る

白七十四は常用の筋で直接(い)と當てゝ逃げるなどは拙劣な戰法である、之に對する黑七十五は七十八の方をツグ可きで、其時白七十七と當てゝも(い)とノビられて後續手段に窮するから(ろ)とケイマして逃げる位のもの、これは諸に比して問題にならない

白七十六とトバレては、黑七十七は絕對で、白七十八と切られた時、黑七十九も省略出來ない此れを怠ると白からこゝを押されるのが急所になる

待望の二大巨篇發表で沸返る大人氣!! 早くも大増刷!!

キング 大評判の十月號

見よ!! 文壇の兩巨匠、轡を竝べて出馬!!

キングならでは見られぬ小說陣の偉觀!!

新掲載（長篇小說） 日像月像　菊池寛

文豪菊池寛先生が滿天下の熱望に應へ大確信を以て發表する稀有の名篇

作者曰く

「僕が今迄書いて來た戀愛小說の型を破つて、男性中心の小說を書かうと思ふ。明朗にして光輝ある太陽型の男性に、新月の如く新鮮にして高貴なる女性を配して――この日像月像が去來する浮世の白雲黒雲の中に閉塞され乍ら――月が常に太陽の光を受け乍ら、然も永劫に相逢ふ事なきが如く、この主人公同志の間にも、さうした悲劇的宿命を孕んで、然も各々その軌道を進んで行く姿を描かうと思ふ……」

噫、戀は斯くも苦しきものか

戀と結婚の岐路に立つ美しき姉妹と青年士官!

哀艶悲痛、百萬讀者の紅涙を絞る情熱篇!!

新掲載（長篇小說） 金環蝕　久米正雄

見よ! 全篇に漲る情熱、溢るゝ興味!

何人も胸ときめき傾熱す戀の最高潮

夏の夜の農村にパツと開いた夕顔の戀の花よ……

青春の純情に、秘戀の美酒に酔ふ可憐な處女と、二人の美青年――事件は、親しい三人の若人の青春の胸から湧き起らうとしてゐる

第一回から既に大波瀾!

何といふ面白さ、素晴しさ……

天下無比、面白い小說欄!!

◎物凄い評判です。誰方も早く御覽!!

▲更に、左の書籍を全愛讀者に贈呈!!

別册附錄　下位春吉氏の熱涙大演說

在伊十八年、自ら軍服に身を包んで歐洲大戰に出陣、或はフイウメの決死隊に加はり、或はムツソリーニのローマ進軍に參加する等縱橫に活躍した下位氏が、祖國の現狀を憂ひ、歸朝第一聲として英傑ムツソリーニの半生、熱血詩人ダヌンチオの活躍、快男子リツツオの冒險譚を始め、國際間の大陰謀あり、赤化の慘害あり、國家興亡の裏面あり、政治、軍事、外交、文學、音樂、美術、宗教等各方面に亘り下位氏が見聞せる物語を悉く公開!

九千萬同胞に呼懸けた熱血熱淚の大獅子吼!!

面白いこと小說の如し!!（キング十月號に添付贈呈）

大増刷出來

「雜誌週間」で壓倒的人氣大賣行!! 好機を逸せずスグ御覽▲別册附錄つき五十錢

（大日本雄辯會講談社）東京・本郷　振替東京三九三〇

滿日案內

（雇人・貸家・貸間・下宿・旅館・賣買・印刷と寫眞・電話と金融・不用品賣買・貸衣裳 等の小廣告欄）

家庭の必備品　酸素吸入器　オキシヘーラー

病人の切望する治療保健を兼ねる合理的必需品なり。人類共存の生活に必要缺くべからざる必要品なり。

特約販賣店　大連市大山通六三　小林又七支店販賣部　電話六一二一七番

醫院　性病・皮膚病　坂本醫院

家政婦　看護婦　家政婦派遣　誠心看護婦會

名藥　呼吸器障害に　眞正　獺の肝　發賣元　佐々木洋行

賣買　卸仕立衣業　コート　さかい本店

地金銀白金專門賣買　合名會社　三清洋行

ミラータイヤー　特價宣傳

ドテラ　長襦袢　仕立卸　小川道男商店

讓店

家畜　犬　セパード、チヤンピオン（米國）シラソン・オブ・カテイ系仔犬其の他優秀犬多數　粒田畜犬商會

新件　黒板　運動用具　協昭洋行

古着　高價　ミシン　渡邊質店

御使は富士へ　電話二二四四四番　メツセンジヤース

質　寫眞機・レンズ・小型活動寫眞機・交流ラヂオ・ミシン機蓄音機・時計類・洋服類　高木質店

乳兒・幼兒專門　幡井醫院　大連市西公園町一一三　電話四八五九番

眼科專門　王仁医院

美身クリーム　クラブ

美しい肌は女性の魅力です

美身クリームを愛しませう

日ヤケ止めに……

アレ止めに……

お化粧下に……

洗顏の後に……

入浴の後に……

●頭痛はノーシン……一服で充分です●

ツヨール

淋病內服新薬

陸軍藥局方收載

製造發賣元　オネ製藥合資會社

一手販賣　合資會社　五星洋行　東京日本橋江戸橋二丁目　電話日本橋(24)三一七番

國民精神作興・文化大運動

雜誌週間

九月七日ヨリ 九月二十日マデ 日本で初めての『雜誌週間』

『雜誌週間』の成功を祈る……文部大臣 鳩山一郎閣下

國家非常の際、全國民に希望と活力とを與へ、奮鬪努力の意氣を鼓吹することは、刻下の急務である。この意味に於て、精神の糧たり、知識の泉たる雜誌を一層世に普及せしめんが爲に『雜誌週間』を催さるゝ事は、誠に時宜に適した擧であると思ふ。

雜誌界が盛んになればなる程、人は活氣づき、世は向上する――雜誌が社會民心を左右する力は、實に思半ばに過ぐるものがある。果してこの『雜誌週間』が効果を收むるならば、非常時打開、國運發展の上に、寄與する所蓋し尠からぬものがあるであらうと信ずる。茲に一言賛意を表して、切にその成功を祈る次第である。

眞に快擧である……陸軍大臣 荒木貞夫閣下

現在の非常時局に直面して、我等日本人として最も喫緊なる事は、遠く建國の大精神を憶ひ、深く民族的使命に目覺めて、此の難局打開の力を自らの信念と決意のうちに見出すにある。國難打開の要諦は國民精神の緊張にある。全國民が一致協力して、努力奮鬪し、而も堅忍持久以て悠久の前途を制する意氣あれば、百難襲ひ來るとも何等怖るゝ所はないのである。今回、雜誌協會主催の下に『雜誌週間』を決行して良雜誌を普及し、以て國民精神に活力を與へ、苦難突破の精神を鼓舞する事は、眞に快擧と云はねばならぬ。大いに成果を收められるやう切望して止まぬ。

世相を映す萬華鏡……拓務大臣 永井柳太郎閣下

雜誌は世相百般を映す萬華鏡たると共に、時代の進展を示す羅針盤である、雜誌の種類が多く、且つその範圍が廣ければ廣い程一國の文化は向上する。

況んや、今日この國家非常の際『雜誌週間』を催して、讀書熱を鼓吹し以て、文智の啓發と、人心の振張を期するは、獨り日本の爲のみならず、新興亞細亞全民族の爲、誠に快擧と言はざるを得ないのである。

日本文化發展の爲に……民政黨總裁 若槻禮次郎閣下

國民教育の上に、雜誌の持つ役割は頗る重大である。余はこの見地から、從來良雜誌の普及を力說して來たが、今回『雜誌週間』の擧あるを聞き、誠に欣快に堪へぬのである。

日本人の雜誌購讀數は、まだ〳〵遠く歐米のそれに及ばぬ。併し乍ら、眞に諸君が努力し、奮鬪されるならば、歐米に比較して決して遜色なきまでに到り得ると思ふ。此際、ゼヒ全國民に雜誌の必要を痛感せしめ大いに普及し、以て日本文化發展の上に貢獻して貰ひたい。衷心よりその成功を祈る次第である。

戰場で『讀書宣傳』……政友會總裁 鈴木喜三郎閣下

世界大戰當時に於ける米國が――驚くべき事には、一年有餘の間に二百數十萬の青年を戰場に送つた。而も更に驚くべき事は、陣中の伴侶として、又戰後の向上の指針として、約五百萬册の圖書雜誌を戰地に送つて、盛んに讀書の宣傳を行つたと云ふことである。余の憂ふる所は、國民が徒らに、非常時、國難の叫びに怯えて、向上修養の道を疎かにしてゐはしないかにある。『雜誌週間』を機會に、ゼヒ大いに雜誌の必要を力說し、以て國民の向上と、國家の興隆に盡して貰ひたいと思ふ。

十月號の雜誌は悉く大奮發

今度、全國五百有餘の雜誌發行者と、一萬有餘の書店總動員で、『雜誌週間』を催し、文化促進大運動を開始致しました。

併し、それは九千萬同胞協力一致の力に依らねば目的は貫徹しない。紳士淑女は勿論、少年少女幼年に至るまで、此の機會より必らず一、二種の雜誌を愛讀されることを切望して止まない。

●研究に ●修養に ●娯樂に ●實用に 必要とせらるゝ雜誌を「今スグ！最寄りの書店に申込まれよ！」

全國書店、皆樣の御用命を待つてゐます

（標語）家族一人に雜誌一册！

滿洲日報
九月十八日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本富代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

想ひ起す二年前 全滿の感慨轉た無量
慰靈祭等で捧ぐる市民の謝恩
十八日事變記念日

一昨年のけふ柳條溝に突發した鐵道爆破こそは滿洲國獨立、日本の國際聯盟脱退など幾多大事件の導火線となり、史家をしてエポック・メイキングせしむる日である、三十五萬大連市民は當時を追憶して轉た感慨深く、滿倶グラウンドでは時局後援會主催のもとに慰靈祭を莊嚴盛大に執行して護國の英靈を慰め、中等學校以上及び青訓所聯合、並に大連自衞警備團ではそれ〴〵朝まだき壯烈なる記念演習を展開して、事變犧牲者に謝恩の意を捧ぐると共に日滿兩國の非常時に邁進すべき意氣を作興し、かくて滿洲事變記念日の意義深き諸行事はいづれも多大の效果をおさめた

大連市民の慰靈祭
しめやかに執行さる

時局後援會主催のもとに護國の神を慰むる慰靈祭を執行する滿倶グラウンドでは音樂堂に祭壇を設へて菱刈全權、安藤要塞司令官、大連民政署長、小川市長、林滿鐵總裁などの眞榊を供へ、あちこちに日滿兩國の大國旗を秋晴れの空高く飜かせて會場は滿目も清くすが〳〵しい、時刻移れば各小學校、公學堂、中等學校、工專、青訓所在鄕軍人、各區、一般市民などの生徒團員らが校旗、團旗を押立て〻粛々と入場し小川會長、安藤要塞司令官、日下内務局長、御影池民政署長、石井大連警察署長、八田滿鐵副總裁、十河、山西、河本、竹中同各理事、高田商議會頭、張大連市商會々長、高柳中將、岩井少將、福本税關長等を首め官民有力者參列し滿場を埋めて無慮二萬、祭式は午前九時齋主河野沙河口神社神職以下の神職により、修祓、降神、獻饌、警蹕一同敬禮、祝詞と進められ滿場寂として聲なく、祭典委員長(小川會長)祭文を奏し、齋主玉串を捧奠拜禮したるのち小川祭典委員長、關東廳長官(日下内務局長代理)關東軍司令官(飯野中佐代理)安藤要塞司令官、御影池民政署長、小川大連市長、滿鐵總裁(八田副總裁代理)岩井在鄕軍人聯合分會長石井警察官代表、福本在大連滿洲國官衙代表、大内市會代表、高田商議會頭、張大連市商會代表、細萱工專、中學校及青訓所代表、鐵道隊代表、柿野小學校公學堂代表、寶性新聞通信社代表、婦人團體代表、松田一般參列者代表區長の順に玉串を捧奠拜禮、齋主昇神を奏し警蹕一同敬禮裡に祭典を終つた、次で安藤要塞司令官、小川市長および河本滿鐵理事擴聲器の前に立つてそれ〴〵記念激勵演説あり、多大の感銘を與へ、更に綠山中腹における在鄕軍人分會の地雷火爆破を會場より大觀して十時散會した

築かれた樂土上に 新京市民の諸催し
午後十時默禱を捧ぐ

【新京電話】承認慶祝大會十五日の喜びの日も未だ過ぎやらざるかと思ふ新京市民に早くも世界史をひつくり返した事變突發の日が訪れ記念日に次ぐ記念日の連續に市民は全く寧日ない忙しさである、この日、十八日の空は隈なくすみ渡り、秋風ソヨ〳〵と頬をなで、さわやかで和やかな氣分が全市に充ち、各戸に飜へる日の丸の旗も一日を壽ぐが如く滿蒙の天地に大異變を起した、あの當日の凄慘なるを想ひ起すべくもない、日に日に確固たる基礎を加へつゝ王道の光に浴せる三千萬民衆の平和なる今日を見る時、昭和六年九月十八日は日滿兩國民にとつて永久に記念さるべき意義深い日であらう

▲午前八時 新京神社ではまづ奉告祭がいと嚴粛に擧行され、一方新京警備司令官、田代少將が觀閲官となり、南嶺歩兵部隊、新京警備隊、獨立守備隊、電信隊、飛行隊、在鄕軍人、青訓生、學生隊參加の下に中央通に於て盛大なる閲兵分列式が行はれた

▲午前十時よりは西公園グラウンドに於て新京時局後援會主催の下に莊嚴なる慰靈祭が擧行され菱刈軍司令官を始め暮條以下日本側要人殆んど出席、滿洲國側よりも鄭國務總理、宇佐美顧問以下各部總長等參會者無慮一千名、まづ荒木後援會長の挨拶に式は開始せられ軍司令官、鄭國務總理等弔辭をのべ十時五十分閉會、直ちに大旗行列にうつり全新京學生、生徒、一般市民參加の下に行列は長蛇の如く新市街をねり歩き驛頭廣場に於て日本帝國萬歳を三唱して解散した

▲新京總領事 時局後援會長主催の記念祝賀會は正午より西廣場小學校講堂に於て開催され、主賓として菱刈軍司令官、小磯參謀長、小林海軍部司令官、田代憲兵隊司令官を始め軍部並に日滿官民五百名出席、盛大に擧行され、午後二時よりは南嶺寛城子間の戰跡訪問マラソンあり、夜になり西廣場小學校に於いて午後七時より映畫會を開催される筈

なほ當日は市民代表は新京衞戍病院に入院中の傷病兵を慰問し、南嶺並に寛城子の戰死者を弔ひ各々花輪を捧げ深甚なる弔意を表し、午後十時約三十秒間電燈を明滅し同時に新京驛にて汽笛を鳴らし過ぎし九月十八日をしのぶ筈

事變發生の奉天で 當時を偲ぶ模擬戰
終つて英靈を慰む

【奉天電話】滿洲事變突發してから早くも二周年の記念日を迎へた九月十八日、この事變に最も縁故のある奉天では當時の殊勳者である奉天獨立守備隊が主體となり事件の重大性を深刻に回想し陣歿の諸勇士の英靈を慰めるため十八日午前十時北大營を中心に野戰重砲隊、野砲隊、飛行隊、戰車隊、機關銃隊、自動車隊等の新兵器の粹を集めた外在鄕軍人團、警犬、奉中、青訓、青少年團等二千名が參加し水原獨立守備隊長の指揮で總攻擊の模擬戰が盛大に擧行されたこの日ドンヨリ曇つた空も晴れて王道樂土に相應しい演習日和で午前八時といふに一般觀衆は所定の場所に詰めかけ參加部隊は八時半指定の位置につき

午前十時、假想敵軍斥候六名が北大營西南方煉瓦燒場附近鐵道線路爆破と共に戰端は開始され忽ち起る銃聲忽ち轟く砲聲、九月十八日の當日を追憶させる、戰機熟すると共に爆音勇ましく友軍飛行機は壯烈なる爆擊を始める地上の戰車隊と呼應して敵陣地に突入、機を見ては來襲する敵飛機に對し高射砲はこゝぞとばかり射擊を始める、煙幕は中空に張られ、戰機愈々熟す觀衆は果してどう勝負が決まるかと手に汗を握り息を呑んで夢中となつて見入る、午前十一時となるや、頑强に抵抗せる敵軍に對して最後の猛烈なる空擊、砲兵の猛射、戰車の活躍、第一線部隊の勇猛果敢な肉彈戰に敵軍も支へきれず遂に東方に向ひ敗走、假想敵は十一時二十分六一九團兵營東南地區及び小二臺子無電所方面に移り最後の攻擊を開始したが友軍の息もつかざる進擊に一たまりもなく潰走す

十一時半演習中止の嚠喨たる喇叭が高粱實る滿洲の秋空にひゞき亘ると共に新興滿洲國の王道樂土となる、その間救護班、撮影班の活躍も亦目ざましいものがあり放送班はこの實況を手に取るが如くラヂオ放送をなした、かくて意義ある模擬戰も盛大に終りを告げ觀衆に多大な感銘を與へた、演習終了後參加部隊は司令部に參集し井上守備隊司令官から訓示を受け供養塔前で滿洲建國に際し護國の人柱となつた幾多の英靈を慰め參觀者は夫々北大營攻擊最初の護國の鬼となつた新國、增子兩勇士の墓に詣でた

二千の社員參列 殉職社員を追悼
滿鐵の第七回追悼會

第七回滿鐵殉職者追悼會は事變記念日の九月十八日午前十時より協和會館北側庭内において行はれた靈位を祭つた祭壇には滿鐵總裁以下各方面の生花、造花の花輪美しく並べられ、これに面して黑白の幔幕を張りめぐらした祭場の芝生には滿鐵社員二千餘名着席、さらに左右の幄舍には遺族五百餘名居流れて幔幕にはためく初秋の風も物悲しきなかに定刻大連神社祭官の笙の音鳴り澄んで式が開かれた大連市内日滿各宗僧侶三十餘名入場し、導師讀經の後、林總裁(八田副總裁代讀)追悼辭を讀み「幽明一如、社運の興隆に當らん」と述べて遺族の涙を新にさせ、更に伊藤社員會幹事長の追悼辭あり、日滿僧侶讀經の裡に施主(副總裁)遺族、各理事在連社員代表、沿線社員代表、社員會代表、傍系會社代表、一般社員の順序にて燒香し十一時式を閉ぢたが、いたいけな遺兒の手をひいた未亡人や半白の老人など次ぎ〳〵に燒香する遺族の姿は參列者の涙を誘つたなほ當日祭られた過去一箇年間の殉職者の數は

	日本人	滿洲人
鐵道部	二七	一九
地方部	一	—
鐵道建設局	二	—
撫順炭礦	八	一二三
經濟調査會	一	—
鞍山製鐵所	一	五
計	四〇	一四七

で總計百八十七名に達し昨年度より三十一名の增加であつた

廣田外相の外交方針 十九日閣議で第一聲

【東京特電十八日發】廣田新外相は十九日の閣議においてそのモットーとする綱領、日本の潮に乘つた所謂建設的躍進外交を如何に展開せしむるかその抱懷する具體的經綸は如何なるものかにつきその第一聲を披瀝し各閣僚の諒承を求める筈である、廣田外相は今後の外交政策につき相當自説を有するためこれが遂行には出來る限り國策として完全を期し全閣僚の確定的承認を求め内閣一致の方針たらしめる意向で取敢ず第二次華府會議に對し如何なる外交準備方策を提案するか注目されてゐる

對支積極方針
豫想されるその輪廓

【東京十八日發國通】廣田新外相の就任に依り今後の帝國外交が如何なる動向を辿るべきかに就いては内外各方面から多大なる關心を以て迎へられて居るが新外相は現在全面的に行詰れる帝國の國際關係建直しに向つて努力することは勿論だが特に日支關係の打開發展のため主力を注ぐべき意向なることが就任以來の公式非公式に洩らされたる意見に依りて略判明するに至つた、即ち廣田新外相としては一九三五年の來るべき第二次ワシントン會議を控へ、日米關係の調整並びに印度市場を挾んで日英對立關係の好轉のため何等かの政治的方策を試むべく東亜歐米局長を督勵して對策立案を命ずることあつたが對支外交は日支の特殊關係に鑑みこれが改善打開は瞬刻も猶豫し得ざるところなりとし新外相は大臣就任前に於てすら支那國民黨要人の勸説に依り單獨渡支せんとした程だが愈々外相に就任したので先づ取りあへず對支外交更生をアジア局へ命じたがその基調は大體次の如き線に添うてなされるものと見られて居る

一、對支外交は滿洲事變以來今日まで靜觀主義を取り來り今日も尚既定方針を堅持して居るものゝ昨今に至り國際聯盟の對支技術委員派遣や英米の對支活動が熾烈化せんとするに至つた爲我國としてもこれが自衞策として積極的態度をとるべし(有吉公使を召還の上前外務次官有田八郎氏を起用する説も有力である)

一、而して帝國政府は從來の對支政策の如く自ら妥協策を講ずるとか又は英米列國の如く何等かの代償を提供して所謂取引的外交を行はんとするものでなく支那が自身の利益と幸福のため必然的に現在の對日態度を變更せざるを得ざるを餘儀なくせしめんとするものだから斯る意味に於て新外相の對支外交は我國歷代外相のそれとは異る更生外交なりと目され居る

滿洲事變二周年慰靈祭 滿鐵グラウンドにて(上)滿鐵殉職社員追悼會(下)

滿蒙素描 (21)
安西冬衞 文並に畫

「何處行くか?」
車夫は轅を上げた。
「ホテルへ」
「歸るか、ちよつ」
彼は舌鼓打つた。知つた奴のところへ私を曳きこみ、いくらか口錢にありつくつもりが外れた口惜さの舌鼓であつた。それでも此奴は心得たもので、歸り途に大連の何とかホールの前に車をとめた。ダンスホールだつた。

私はこのときふと思ひ出したのは、私の知つた女が、大連へ行つてダンサーになるといつて、今年の三月、私が南洋へ旅行中、東京を飛び出したことを、友人から聞いたことである。

「待つてろ」

私はホールへ飛び込んだ。北滿では、兵士が暑熱と匪賊と戰うてゐるのに、こゝでは白粉と若い女の肌の香の中で、内地人が踊り狂ふてゐる。私はダンサーを物色した。しかし、その中に女を見出すことができなかつた。

「もう、歸るか」

二十分ばかりして、私が出て行くと、車夫は云つた。そして
「こゝの女と、内地の男、よく、支那のホテルへ行くあるぞ」
と云つた。

ダンサーと客とがつれ立つて、支那宿で逢曳きするといふのだつた。これは内地人の人目に立たず、また、安上りで逢曳きできる便法らしかつた。私はその逢曳連の賢さに感心した。この車夫めも度々、さうした連中の御供して、車賃を値切り倒されたにちがひなからう。支那宿にシケ込む連中のことだから。

ダンサーと支那宿──考へて見ると、何か知ら、はかないもの、ある氣がしてならなかつた。

ホテルへ歸つたのは、それでも十一時──滿洲時間にすると二十三時何十分かになつてゐた。

このうへ、大連に滯在する氣はどうしてもなかつた。

「明日は新京へ行つて見やう」

私は二三日の滯在豫定を一夜にして變更してしまつた。

翌る朝の八時に、もう、私は新京行きの急行列車上の人となつてゐた。

奉天驛に電報を打つてあつたので、奉天××新聞Kの君が驛へ姿を見せて、私が大部分、滿洲へ失望を持つたといつたら

「そりや、本當ですな。しかし新京だけはゆつくり見物して、歸りにまた奉天へいらつしやい──」

といつてくれた。

この日、食堂列車の寒暖計の水銀は百十三度に飛び上つてゐた。乘客はウン〳〵と呻いて汗を拭いてゐる──この炎熱の曠野を進む皇軍のことを思ふと贅澤はいへない氣がする。

蛇角

◇ 再び廻り來ぬ九・一八記念日、想ひ起す去秋の今月今夜。

◇ 柳條溝にあがりし一發の凶煙、桑海の變、回天の事業。

◇ 驚異的日滿兩國の努力、東洋平和の礎石既に成る。

◇ それにつけても肉彈、碧血、尊き犧牲の如何に多かりし事よ。

◇ 吾等この日を迎へて感慨無量、深き默禱を捧ぐ。

◇ 朝日に映ゆる五色旗のいよ〳〵鮮かな秋だ。

人事

▲高橋顯太郎氏(關東陸軍倉庫三等獸醫正)十八日午前七時着列車にて來連
▲足立達雄氏(線區司令部歩兵中佐)同八時着列車にて來連
▲市田一貫氏(同大尉)同上
▲テレル夫人 同上
▲橘利雄氏(日本タイプライター支配人)同遼東ホテル投宿
▲樋口勝次氏(大分日報記者)同上
▲中村錄一郎氏(中村鐵工所長)同上
▲土屋大連水上警察署長 同午前九時發はとにて新京へ
▲鈴木清秀氏(鐵道省旅客課長)同ハルビンへ
▲井上芳雄氏(旅館事務所營業主任)同上
▲はるびん丸にて來連の淺野セメント視察團一行 同上
▲國分青崖氏(漢詩人)十八日入港はるびん丸にて來連
▲長尾槇太郎氏(同)同上
▲仁賀保成人氏(大倉組重役)同上
▲土屋久泰氏(藝文社理事)同上
▲本多兵一氏(日清製油重役)同上
▲河野喜作氏(淺野セメント北海道工場支配人)同上
▲キリンビール大阪支店長江連廣吉氏以下同社招待員一行十名 同上
▲故味岡義一少佐家族 十八日出帆うらる丸にて離連
▲奧村喜和男氏(遞信事務官兼關東軍嘱託)同上

東天紅 (203)
田中純 林一三 畫
女の金策 (五)

しかし、晶子が、かうして氣輕さうに金の融通を引き受けて見せたのは、文子が想像したやうに、何も深い友情に驅られてやつたわけではなかつた。無論、そこには多少の友情が動かないわけではなかつた。だが、その主要な動機は彼女の現在の優越な地位を、文子に誇示したいためであつた。十萬圓やそこらの金は、彼女の一言によつて、わけなく融通出來るのだと言ふことを、文子に見せつけてやりたいと言ふ、一片のヴアニテイのために過ぎなかつた。

しかし、今、文子が、こんなにも有難がり、こんなにも喜んで、自分の提案を容れたのを見ると、晶子の心は、がらりと變つた。彼女は、文子が、こんなに悄げ返り、こんなにも打ちのめされて居る姿を、生れて始めて見たのだ。と、同時に、これ迄の十年間、絶えず文子のために打ち負かされて來た自分の姿を、思ひ出したのだ。何時かこの女に復讐してやらう──さう思つて、心ひそかに爪を磨いで來た十年間を、思ひ出したのだ

(よしツ! こゝで、この女を、徹底的にやつつけてやらう。十年間の仇を、この一擧に返してやらう)

一瞬のうちに、さう思ひついた文子は

「だけど、この話し、神田さんはどうお思ひになるか知ら? 不愉快にお思ひになりはしないか知ら」

と、何氣なささうに切り出した。

「どうしてさうお思ひになるの?」

と、文子は訊き返した。

「だつて、神田さんは、わたしを嫌つてゐらつしやるんだもの」

「あら。そんなことはなくつてよ」

言つたが、文子の額は、一瞬のうちに暗くなつた。事實、廉造が晶子を嫌つて居ることには間違ひがなかつた。だから、この話を、正面から廉造に切り出せば、彼は

よ。神田は、あなたのことを、むしろ始終褒めてるくらゐだわ」

金を欲しい一心の文子は、心にもない嘘を言つてることを悲しみながら、さう言ひ張らないで居られなかつた。

「ふツ、ふツ、ふツ。文子さんもなか〳〵お世辭がよくなつたわね」

と、晶子は笑つて

「でも、本當にそんなことはどうでも好いのだけど、たゞ神田さんが、そんな金を借りるのは厭だとおつしやつては、折角の私たちの好意が何にもならなくなりさうだから、私はむしろ、このことは、神田さんには内密にしてた方が好いと思ふの」

「ぢやア、神田に話すなとおつしやるの?」

「ええ、さうなの。だつて、折角わたしが骨をさげて、あのお爺さんからお金を借りて來たつて、神田さんに斷つたりされては、私の立場がなくなつてしまうぢやありませんか」

屹度、一應は、謝絶するに違ひなかつた。人事に就いて、人一倍潔癖な彼は、晶子のやうな女から、恩惠をほどこされることを、厭がるに違ひなかつた。しかし、その潔癖も、時と場合に依る。少くとも今の場合は、そんな潔癖を振り廻してはゐられないのだ。彼等は今、藁でも摑みたい場合なのだ。どんな不淨な金でも、金さへあれば一文でも餘計に欲しい場合なのだ。だから、この際、文子が積極的に動いて、その金さへ作つて來れば、廉造だつて、決して、厭だとは言はないことは解つてゐた。

「いゝえ、さうよ。それは私、ちやんと知つてるの。だけど、そんなことは、私にはどうでも好いのだつて、わたし神田さんを助けるよりも、むしろあなたが氣の毒だと思ふから、出來るだけのことをしたいと思つてるんだから」

「だけど、神田があなたを厭がつてるなんて、それはあなたの誤解

農安、洮南、通遼とも眞性ペストと判明す
肺、腺兩ペストが發生猖獗
既に約五百名死亡

既報された洮南、通遼、農安三地方のペスト樣患者のうち洮南方面の患者に就いては調查班の齎せる病理標本を十七日夜滿鐵千種衞生課長が大連衞生研究所に携帶徹夜檢查の結果十八日午前六時ペスト敗血症（血液ペスト）と決定、つひに眞性ペストと確定した、血液ペストは腺ペストとなる前兆である、なほ農安調查班より十八日午前十一時滿鐵衞生課に達した無電によれば農安西方部落に於ける二百名の死亡者中の死體を檢鏡の結果肺ペストと判明、通遼方面調查班よりも眞性ペストらしいと打電あり愈よ三地方に於いて肺、腺ペストの發生確實と判明した、發生判明の十三日以來同日まで死亡者の判明せる者三地方にて約五百名である

農安地方は廿三ケ村
多くは腺ペスト患者

【新京特電】農安方面を中心としたペスト樣患者の續發に滿洲國民政部ではこれが防疫に關して對策を考究すると共に調查班を現地に派してその眞相を調查中であつたが十八日午前八時右調查班より電話を以て大要次の如き報告があつた

農安北方花園子を中心としてペスト樣患者の續發せる部落は現在まで既に二十三ケ村に及びこれが死亡者は合計二百名に達してゐるがこれらに付ては調查班の手に依つて檢鏡並びに動物試驗の結果眞性と決定したが今後なほ蔓延の兆あるので防疫に關して鋭意努力中である

【滿鐵衞生課入電】民政部衞生司あて農安關東軍調查班より電話報告によれば鄭屯、二站屯において初發以來約二百名死亡、檢鏡及び動物試驗の結果、一名肺ペストと決定す目下のところ多數の患者は腺ペストにて尚蔓延の兆あり

洮南地方の發生狀態

十八日午前十時滿鐵衞生課では洮南地方に於ける眞性ペスト發生に就いて左の如く發表した

四洮本線鴻興驛の北十五支里線路を去る東五支里學堂窩堡なる部落において九月十三日午後死亡埋葬せる五十四歲女曲氏の死體を十五日午後一時發掘解剖に附し塗抹標本檢查、病理標本採取及び培養を行ひ同材料を四平街に送り動物試驗を行ひ、病理標本は大連衞生研究所に送りて檢查したる結果十八日ペストと決定す、臨床症狀は發熱、頭痛、嗜眠、呼吸困難ありたるもの如く發表後三日にて死亡、腺腫脹を認めず、病理標本に於いては定型的急性出血性肺炎の像を認めず、よつて病氣はペスト敗血症（血液ペスト）と認む、同部落には二十日前初發患者あり九月十四日までに三家十三名の死亡者を出せりと云ふ

洮南開通間列車の旅客昇降禁止
四ケ所で望診を開始

ペスト發生の爲め防疫方法として鐵路總局では取敢ず洮南、開通間旅客昇降禁止、洮興、通遼間乘車券發賣禁止及び洮南、鄭家屯、開通、四平街において望診開始することに決定した、貨物輸送に就いては目下のところ未だ何等制限を設けてゐないがたゞ四洮鐵道線において生毛皮の積込を禁止することゝした

死力を盡し蔓延を防止
日滿露で防疫班組織

眞性ペスト發生決定により、既に十六日新京に於いて關東軍、大使館、滿洲國、關東廳、滿鐵側の各代表者集まつて開催せる防疫會議にて協議せる防疫案により愈々防疫に大活動を開始することゝなつたが防疫班は前記代表機關のほか北滿鐵路のロシア側も參加し日滿露の共同防疫班を組織、滿洲國民政部總長を委員長に日滿ペスト豫防委員會を設け新京に最高本部を設置、洮南、通遼方面の現地防疫指揮は鐵路地方科に本部を置いて四平街鐵道衞生檢查所及び鄭家屯に中心防疫班を置き活動を開始した滿鐵衞生課よりは十八日防疫衣五十着を四平街に送つたが小川現業衞生主任、村川保健防疫主任が四平街及び新京、奉天に赴いて防疫に指揮を行つてゐる、而して從來と異り交通頻繁なる今日新京、奉天及び人口稠密なる南滿地方に蔓延することを最も怖れ全防疫網を活躍せしめ死力を盡して之が蔓延を喰止める方針である

猛威を振ふ
ペスト流行史

ペストは滿洲における最も恐るべき傳染病で過去においても屢々猛威を逞しうしたがその流行史は左のごとくである

◆明治四十三、四年——明治四十三年十月下旬滿洲里に發生以來南北滿洲、直隷、山東に蔓延、患者數萬に達した、附屬地および關東州內においては二百二十八名發生、一名を除くほかは全部肺ペストで殆んど全部死亡した

◆大正六、七年——六年十二月蒙古で發生した肺ペストは山西、直隷、山東に入り七年五月に及び患者數百名を出した

◆大正九、十年——九年八月滿洲里に發生南北滿洲に七千七百名の患者を出した

◆大正十三年——五月中旬通遼附近に發生、流行しなかつた

◆大正十四年——同じく通遼に發生したが流行せず

◆大正十五年——腰伯什吐に三十二名發生

◆昭和二年——通遼に發生、十一月まで同地方に流行した

◆昭和三年——七月中旬通遼附近に發生、錢家店、鄭家屯に蔓延し約千二百名の患者を出した

肺ペストは罹病したら死ぬ
腺ペストは約九〇%

洮南方面に發生した腺ペストは症狀としては淋巴腺に腫脹を生じ發熱、嗜眠、頭痛を起すもので蚤に依つて菌を媒介するので蚤及び之を運ぶ鼠を撲滅して蔓延を防ぐ、腺ペストの死亡率は約九十パーセントである、また農安方面に發生せる肺ペストは俗に云ふ空氣傳染をなすもので患者の咯痰の飛沫が空氣中に飛んで傳染する、而も死亡率百パーセントと云つてよい程怖ろしい病氣で是が首都新京の近くに發生したのだから匪賊よりも强敵だ

遺骨六體故山へ
死の凱旋

關東軍司令部附故味岡義一少佐以下六體の遺骨は十八日午前八時常安寺において慰靈祭を受け同十時出帆のうらる丸にて騎兵軍曹今泉康藏氏等に護られ悲しき凱旋をなした、事變二周年記念日のけふ、思ひも新たに遺骨は上甲板に安置され多數見送りの中に香煙に包まれたが、味岡少佐の未亡人は喪服に身を包み令息、令嬢と共に見送人に挨拶をなして一しほ哀愁に閉された、なほ味岡少佐未亡人は夫の遺骨を護つて郷里大阪に歸着

新舊列車の移替
九月三十日と十月一日の
滿鐵線各列車に御注意

十月一日より滿鐵の列車時刻の大改正が行はれることは既報の如くであるが九月三十日より十月一日にかけての新舊列車の移替は左の如く決定した

一、九月卅日大連發第十七列車は大連發より新時刻に依り運轉す

一、十月一日石河新京間新第十九列車は九月三十日大連發より新第十九列車として運轉す

一、九月三十日大連發第十五及び第十三列車は同日奉天發より新時刻に依り運轉す

一、九月三十日新京發第十八列車は十月一日大連着迄舊時刻に依り運轉す

一、九月三十日新京發第十四列車は同日奉天發より新時刻に依り運轉す

一、九月卅日新京發第十六列車は新京發より新時刻に依り運轉す

一、十月一日蔡家大連間新第十八列車は九月三十日新京發より新第十八列車として運轉す

一、十月一日太平山大連間新第二十列車、同日他山大連間新第二十四列車及同日四平街奉天間新第二十六列車は運轉を休止す

一、九月三十日チチハル發第二十列車は十月一日奉天着迄舊第二十列車として舊時刻に依り運轉（奉天大連間は運轉休止）す依つて十月一日四平街發第三百三十八列車は同列車の開通待合せ發さす

一、九月三十日安東發第三列車は安東發より及同日奉天發第四列車は奉天發より新時刻に依り運轉す

一、九月三十日奉天發第百七十五列車は十月一日撫順着迄又九月三十日撫順發第百七十六列車は十月一日奉天着迄舊時刻に依る運轉さす

一、九月三十日營口發第三百八十六列車は同日營口發より新第三百八十二列車として運轉す

漢詩家一行
けさ來連
藝文社主催

漢詩家國分靑厓、長尾槇太郎の兩氏は藝文社主催の下に同好の士たる同社理事土屋久泰、大倉粗重役仁賀保成人の兩氏等と共に滿洲文化協會並びに滿鐵の後援を受け十八日入港のはるびん丸にて來連したが船中國分氏は見事な白髯をしごきつゝ

滿洲には日清戰爭時代だから、もう四十年前になるか、一度來たことがあるきりである、今度は內地の漢詩家を代表して來たものでなく全く遊びに來たのです、豫定は一月で新京まで行くが、ハルビンに行くかどうかはまだ決つてゐない、新京では溥儀執政や菱刈軍司令官に會ひたいと思ふが、それより國務總理の鄭孝胥氏に先づ會ふ鄭氏とは年來の知人で鄭氏先東京に來た時も我々と一緒に日光に遊びに行つた、今度は鄭氏と會ふのが何より樂しみだ、旅順の戰蹟に行くが、大連にも可なり漢詩をやる人も居るし滿洲人にも二人程ゐるからひよつとすると何か會があるかも知れない

と元氣に語り上陸後遼東ホテルに投宿したが、滿洲を視察の上再び來連、天津、北平を見て歸京する筈（寫眞は一行）

◎敦賀・新潟行

河北丸

大連發 九月廿一日午後四時
敦賀着 廿五日早朝一泊
新潟着 廿七日早朝

	敦賀	新潟
特等	三五圓	四〇圓
並等	一五圓	一八圓

大連汽船株式會社 電話七一三一番

×埠頭二〇番バース前に切符發賣所あり

けさ大孤山で邦人を射殺
現場監督砂川氏遭難

【鞍山電話】十八日午前八時鞍山製鋼所大孤山採鑛所南方鞍山採鑛所に四、五名の匪賊來襲し作業中の現場苦力監督砂川惣一（三五）を射殺した、急報により同所警備員、派出所員が追跡した、本署から瀧井司法主任、田中警部補の率ゐる○○名が午前九時運鑛線電車に便乘して現場に急行した

持久戰的に捜査する
遭難水上機

航空母艦能登呂搭載機捜査は十七日も引續き行なはれたが何分にも潮流の劇しい所で午後二時より三時までの潮時を利用して此處と思ふ所に潛水夫をして調べた所、其處は岩石であつたり油の浮いてゐる箇所なも掃海或ひは二名の潛水夫を督勵し水産會より應援のトロール船六隻が献身的に作業に從事したが飛行機の翼の破片が柏嵐子海岸に漂着したのみで十七日も空しく午後七時引揚げ十八日よりは第二次の捜査方法を講究し持久戰的に捜査方針を立てることになつた、十七日午後八時現場を引揚げ黃金臺沖に假泊した能登呂の副長城島中佐は代つて語る

今日迄の捜索は飛行機の破片が柏嵐子海岸に上つただけで機體も行方不明兩君もまた發見されない、兩君は色々の方面から推察して死んだものと想像される

船客投身自殺

十八日大連入港のはるびん丸が十六日門司を出帆して木浦沖航行中夜から十七日朝にかけて三等船客神戶市植田區五丁目二十五番地三浦重藏が投身自殺を行つたのを發見海中を捜査したが遂に死體を發見するに至らなかつた、船長と大連市三河町三浦さだ子宛の遺書があつたが、船長には申譯ないと詫び、前記の姪宛には拙い筆で中風にかゝつて後一、二月の命で何時ポックリ死ぬか判らないから今死ぬ といふ遺書があつた、全く覺悟の自殺で身投に當り着てゐるもの全部を綺麗に揃へ裸になつて飛込んでゐる、はるびん丸大連着と共に三浦さだ子が水上署に出頭し遺留品を受取つた

大連豫選決勝

來る二十三、四兩日大連に於いて擧行する滿洲體育協會主催の昭和八年度硬球庭球選手權大會大連豫選の決勝戰は十七日中央公園滿鐵テニスコートに於いて擧行の結果シングルスは伊藤、ダブルスは落合伊藤組が優勝した

シングルス
伊藤（滿鐵） 6—4 7—5 小林（ブラナーモンド）

ダブルス
落合・小寺（滿鐵） 6—3 5—7 6—0 伊藤・吉田（滿鐵）

天氣予報 十九日

南東の風（晴）後曇り

滿潮（午前一〇時〇五分 午後一〇時二〇分）
干潮（午前三時四五分 午後四時一〇分）

各地溫度（十八日午前十一時）

大連	二六	奉天	二八
旅順	二六	新京	二八
營口	二七	新義州	二七

三千二百名參加し壯烈な記念演習
決死の拂曉戰を展開

九・一八事件並に滿洲國建國の重要性を深刻に認識して士氣を振ひ事變戰歿者に謝恩の意を高潮する

在大連中學校以上及び靑訓所聯合の記念演習は參加者三千二百名、安藤要塞司令官が統監し十八日未明、綠山、大綱山の線において壯烈に行はれた

演習方略に從へば今や大連市は某國便衣隊の擾亂するところとなり優勢なる兵匪は市中の官公署並に建物を襲ひ伏見臺、小崗子一帶は炎々たる火焔に包まれてゐる、茲において義勇隊司令官より命令一下した大連生徒隊は切齒扼腕して午前五時綠山—大綱山の線を攻略すべく決死の拂曉をさつたのである

戰端は遂に開かれた、我軍は夜陰を衝いて後方警備に任じつゝ大連市を奪回すべく粛々前進する、その間小癪にも敵機飛來して通信筒を落して行く、然し我が飛行機の活躍物凄くあつと思ふ間に山腹谷間をかすめ爆彈を落下して生徒隊の前進を援け、現役鐵道隊の操縱による裝甲自動車隊も勇躍すべき偉力を發揮する、かくて決死の陣を進むる生徒隊の意氣天に沖し作戰もまたよろしきを得て、敵は漸次浮足立ち、煙幕を叩いて巧に逃ぐるものもあれど追擊は益々急にして銃劍閃くに及んで休戰の命令下る、時に午前七時である、次いで八時實業グラウンドに集結して閱兵式行はれ、安藤統監は飯野參謀、日下內務局長らを隨へて受禮し、分列式行はれたるのち

本日の演習は地形と延長においても諸子の體力を超ゆるものあつたが良好の成績をおさめたのを欣懷とする

旨の講評あり、終つて直に忠靈塔に參列した【寫眞は記念演習】

自衞警備團
治安維持
市中嚴重警戒

大連の夜の護りをなす大連自衞警備團演習は十八日午前三時に早くも兵器授與をなし各分團とも五時迄に市中各方面における受持の配備につき六時に至る治安嚴重警戒して別項聯合演習の一般方略による敵匪や便衣隊を狩立て、跳梁散亂する餘地なからしめ、かくて市中の治安全く恢復して六時半警備を撤した、次いで七時半忠靈塔境內に集結し壯烈なる分列式を行ひたるのち忠靈祭に參列し、終了後兵器を返納して解散したが學生隊の聯合演習と併行して記念日に適はしき意義ある行事を遂行し多大の効果をおさめた

キリン觀察團

キリンビール大阪支店招待の滿鮮觀察團は十八日入港のはるびん丸で來連ヤマトホテルに投宿したが一行は安店長江連廣吉氏外二名の社員及大阪市內特約店八で計十一名である

善鬼惡鬼（202）

平山蘆江作　刈谷深隍繪

美人夜叉（二）

五郎兵衛が側にゐれば五郎兵衛を、鐵五郎がゐれば鐵五郎を、さいふ風に、誰でもよい。手近の男を、相手きらはずに自分のものにして、男から男にうつつてゆくお瀧である。

がういふ女のくせとして、儘にならぬ相手ほご戀しくなるらしい。而も、一旦、我儘が通れば、すぐに次の男にうつつてゆく。

計略の爲めに小梅へ連れ込んだ鐵五郎は、座敷牢へおし込んであるし、樂齋は、久しぶりに戻つた事によつて、すつかり丸めてゐるし、まづ、この二人は、今のさころ完全に自分のものとしてゐる。

さうなるさ、急に傳右衛門への可愛さが增して來たさいふわけだ。

「傳さん、お前、私のいふ事を只の嬉しがらせさ聞いておいでかえ。こんなに心底からお前を思つてゐるものを、嬉しがらせだなんて、そんなひごい事をいふさ、承知しないよ」

「はい〱、ごうもありがたうございます」

「これ、又あんな憎らしい」

ごこに憎る人もない。おはまはいふ儘になつてゐる傳右衛門を、つねつたりこづき廻したり、傳右衛門は只呆然さなつてゐた。

「御新造さま」

「何だえ」

「もう今夜からは、いつまでもこゝのうちにゐて下さいますか」

「それが出來るくらゐなら、私に苦勞はないのだけれど」

「そんな事はいはなくても判つて居ります」

「私が始終、こゝにゐれば好いさおいひのだらうれ」

「はい」

「鐵五郎が歸つて來たら、お前にしても、私にしても我儘は云つてゐるものゝ、本當の事をいへば、こゝの家の居候だが、お前それでもよいさおいひかえ」

「ですが、御新造様のやうに我儘なすつていらつしやれば――」

「お前、鐵五郎がその儘でゐられる身の上ださ思つておいでかえ」

「はい」

「お前だつて知つてゐる通り、鐵は女房殺しさいふ罪状を持つてゐます。今のさころ世間を誤魔化してゐるから好いやうなものゝ、一朝、あれがお上に知れたら、鐵の身柄はごうなりますえ」

「はい」

「五郎兵衛さんや、樂齋さんのやうに、妙なうしろ盾のある男ぢやないんだから、いや應なしに、踏んづかまつて、三尺高い木の空に上る身の上だよ」

「さうかも知れません」

「おい〱、さうかも知れませんなんて、濟ましてゐられるさ思つておいでだから困るのさ。あしたの日にでも鐵五郎が處刑になつたら、此の女鹿屋の身上はそつくりお上へ沒收になるんだが、お前、そこに氣がつかないのかえ」

「なるほご」

「お前さいふものは、その時、ごこへごう納まれば好いさ思ふのさ。おい、しつかりおしよ」

傳右衛門は青くなつた。

面くらつたのは傳右衛門、いつもは、小僧っ子か、使奴のやうに自分を扱つてゐたお瀧が、手のうらかへすやうに變つたので、一も二もなく、女の強い力に引きよせられながら、まご〱してゐる。

「では、あしたになつたら、又小梅においでなさるのですか」

「ごうすればお前の氣に入りますえ」

「御新造は、口前がうまいから、御新造さんの仰しやる事を、おいら、つい本氣に聞いては、後悔するんです」

傳右衛門は、そんな風に言つて而もおはまのいふまゝになつてゐた。

「何の口前なものか、いつそ私こそ、お前の本心が知れないので、今まではよい加減の事ばつかり云つてゐたのだが、お前に眞實が見えさへすれば、私には深い考へがあるんだけれご」

「あなたの深い考へさは」

「譯れもかれも捨てゝ了つて、お前さ二人きりで、氣樂な世帯を持ちたいさいふ事さ」

「はゝは、尤もらしい顔をして、あんな嬉しがらせを仰しやるんだもの」

好評湧く常盤座

『翼破れて』と『暴風の處女』

本紙讀者優待割引

本社後援の常盤座に於ける讀者優待映畫觀賞會第二日は折柄の日曜日でファン殺到し階上階下とも滿員で初日に劣らぬ大盛況を呈し「翼破れて」は大衆映畫として益々好評を博し「暴風の處女」は各場面に溢る映畫感覺がファンを魅了し愈々絶讚を博してゐる（寫眞は「暴風の處女」のホプキンスのテムプル）

常盤座の映畫觀賞會
讀者優待割引券
この券持參者は階上六十錢階下四十錢
後援　滿洲日報社

常盤座の映畫觀賞會
讀者優待割引券
この券持參者は階上六十錢階下四十錢
後援　滿洲日報社

ひろじ會淨瑠璃會

ひろじ會では來る十九日午後六時から連鎖街事務所ホールで淨瑠璃大會を左の番組で開催する「寺子屋之段」新玉、「太功記十段目」鶴松、「朝顔日記宿屋之段」一郎月、「忠臣藏六段目」富門「合邦内之段」喜鶴、「壺坂寺之段」勇、「太功記十段目」燕、「義經千本櫻すしや之段」都松、三味線竹本廣治、鶴彌

一樹會演能會

一樹會の秋季演能會は九月二十三日（秋季皇靈祭）午前九時より大連伏見臺羽衣高等女學校講堂に於て左の番組により開催、入場隨意

▲能　八島、野宮、蟬丸、鵺
▲囃子　枕慈童、七騎落、柏崎、女郎花、鐵輪、鞍馬天狗
▲狂言　入間川、箕被、腰祈

滿洲日報
朝夕刊共十二頁
定價 一部金五錢 一ケ月金一圓二十錢 (郵稅金十五錢)
廣告料 普通一行金一圓三十錢 特別一行金二圓六十錢 (場所指定二割以上加算)
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社 振替口座大連六〇番

藏相の海主陸從に 陸軍の强硬なる反對

資材整備費全額承認要求 當惑する財政當局

【東京特電十八日發】九年度軍事費について軍部の强硬なる要求に當惑せる藏相は往年の八八艦隊建設當時の例にならひ軍部兩相協議の上海主陸從主義を以て臨まんとする意向を示したところ陸軍側は强硬に反對を唱へ殊に資材整備について財政當局が軍事工業能力を考へて速成し得るものを繰延べんとする事は材料その他の點より實行不可能なりとして九年度資材整備費二億圓の全額承認を求め海主陸從の如きは以ての外の謬見なりとして陸海並行主義を主張し國防の點に於いては陸海各々立場に於いて獨自の方針を採らんとする意向が見えるので藏相の立場は益々苦境にあるが藏相としては國防費の先議を認める立場に於いて陸海兩相の協調を求め財政能力の最高限度の額を支出しこれを適宜陸海軍に振り當てる方針を採る外なしとする模樣である

陸相近く藏相に迫る

先議する軍事豫算

【東京十八日發國通】政府は明年度豫算を審議するに當り軍事豫算を審議することになつたゝめ近く高橋藏相と荒木陸相との間に具體的交渉が開始されることになるが明年度豫算案中最も注目されるのは

一、作戰資材整備費二億圓
一、滿洲事件費一億六千萬圓

にして滿洲事件費は大體本年度豫算と同額にして關東軍が依然匪賊討伐のため行動作戰を取つてゐる限り當然必要の豫算であるが、作戰資料整備費に就いては陸軍では繼續費として九年度以降殘存額二億四千九百萬圓の中二億圓を明年度豫算に於て要求してゐるが陸軍としては作戰資材整備費は大正十年以來繰延べされてゐたもので現在まで僅々その約二割の豫算を支出したに過ぎないが現下の國際情勢並に我國の工業能力に鑑み要求全額の承認を求める意向にして特に右の整備費を以てしては未だ國軍の裝備の一部を補充するに過ぎず荒木陸相も曩に議會で資材整備費二億四千九百萬圓を計上し速かに二億圓程度の支出を必要とする旨言明してゐるところであつて當然右は十年度以降に計上する意向を有してゐるので明年度豫算における要求額は全額承認を求める方針だから大藏陸軍當局の折衝は注目されてゐる

更に三相會議

【東京十八日發國通】高橋、荒木大角三相の會見は近く實現の筈だが國防計畫樹立に當つては陸海軍が完全なる一體となつて合議を要するので既に兩者の間に交渉が進められてゐる仍つて右三省會議においては陸海軍の合議に基く國防計畫に關し軍部兩大臣より高橋藏相に對し、詳細なる說明を爲し、藏相は之を財政的見地より檢討し三省の間に隔意なき意見の開陳が行はれ徐々に國防國策の輪廓が明瞭となつて來るものと信ぜられる右に當つては各方面の諸形勢を充分に考慮せねばならぬが一九三六年軍縮條約滿期後の國際情勢に備ふるのが眼目である以上財政上よりも之に重點を置いて考慮が拂はれるのは當然の歸結だが財政との調和を無視するわけに行かず、又個々の問題については陸海軍に對し如何なる場合において經費を振り當てるかを考慮せねばならぬ、之等の點は高橋藏相獨自の見解によつて裁斷を下す外は無いが、若し此の間にあつて藏相と軍部兩大臣との間に圓滿なる諒解が成立せざるときは明年度豫算編成に一大支障を惹起しないとも限らぬので藏相は此の間にあつて重大なる決意を以て臨まんとしてゐる

滿洲事件費

集計近く大藏省廻附

【東京十八日發國通】過般參謀本部と陸軍省との協議で決定を見た根本方針に基き滿洲事件費の集計を急いでゐたところ十八日集計を終つたが總額一億九千萬圓に達したので更にこれを省内で查定の上二十日過ぎ大藏省に廻附する事になつたが陸軍省としては一億五、六千萬圓に止めたい意向である

事變發生以來の死歿者

將校以下三千二百六十六名

【東京十八日發國通】昭和六年九月十八日以來本月十五日に至る滿洲事變名譽の死歿者は十八日次の如く陸軍省から發表された

將校 二百三名、准士官以下二千九百三十名、軍屬(陸軍通譯等)百三十三名、合計三千二百六十六名

想敵は何處?

北滿國境の蘇聯兵備 軍部外務張目す

【東京特電十八日發】最近の情勢によればソウエートは戰時編制の約十箇師團の軍隊を北滿國境から浦鹽にかけて配備し何れも優秀なる裝備をなす外二十餘臺の重爆擊機を要所に配してゐる、この空軍は日本の樞要都市を行動範圍の中に包容するものでその他浦鹽には潛水艦十數隻を配置し裏日本航路威嚇の準備をなしこれ等は總て他國を侵害せず自國の防衛のみに當るものとは解せられないとして我軍部は蘇國の眞意に對し深き疑問を抱き兩國間に意外の紛爭の起るおそれある事を憂慮してゐるが新外相は蘇國の事情に精通する人だから、この危機を何等かの外交手腕に依つて除去する事を軍部も期待してゐる

別報【東京十八日發國通】ソウエート政府では最近北鐵交渉行惱みとなると共に極東軍備充實してゐると其筋へ傳へられる卽ちソウエートでは戰時編成の約十個師團を北滿國境からウラジオにかけ配置し二千數臺の超重爆擊機を要所々々に配置してゐることこの空軍は東京大阪の重要都市や新京奉天の滿洲重要都市を行動範圍内に含むもので更にウラジオには潛水艦十二隻の建造を終つたと傳へられるがこれは維津から裏日本への航路を完全に封鎖するものでソウエートの極東軍備は自國防衛のためのみと解せられぬ實狀にあり軍部では重視しなるが廣田外相はソウエート事情に精通し、ある種の方策考慮してなるものであるから先づ日ソの危機緩和に何等かの措置を講ずると期待す卽ち北鐵交渉圓滿解決の斡旋と共にソウエート側が自國の描いた幻影に惧れるだけで日本は何等野心なき事を充分說明しソウエートの反省を求むと期待してゐる

日ソ間

隊附將校交換 協定更新交渉

【東京特電十八日發】一年毎に更改を要する日ソ兩國間の隊附將校交換協定については去る七月末を以て期限が滿了したので之が更改に際し我陸軍當局では日ソ兩國が地理的に接壤してゐる關係上日本側としては日ソ親善の既定方針に基き、相互提携を計る意圖の下に今年度も之が繼續方をソ聯邦軍部當局に提議するやう、かねて在モスクワ帝國大使館附陸軍武官河邊中佐に訓令、爾來同中佐が專らソ側に交渉の結果、ソ側に於ても同協定を繼續することについては原則的同意を與へたが、協定期限所屬隊人員等の細目に關しては目下引續き折衝中で交渉完了までには更に相當の日時を要する模樣である

なほ前年度協定によりソ側より派遣され習志野騎兵第十六聯隊所屬のヴイシネフスキ氏はさきに駐日大使館附陸軍武官補佐官になり、各務ケ原飛行第九聯隊配屬のシヤラトフ氏は來る九月十五日歸京、日本側からモスクワの赤軍騎兵旅團に配屬の土肥騎兵少佐、イワナオ・オズネシエンスク配屬の島貫大尉等も既に所屬隊を引揚げた。

ニセものらしく また本物らしく

振舞ふ北平入の馬占山

【北平十七日發國通】北平入りをした僞英雄馬占山は目下槐里胡同前萬福麟の故宅を宿舍とし相變らず抗日武勇談を得々と語つてゐるが最近北平に於て馬が僞物であるといふ噂が廣まりセンセイシヨンを捲き起してゐる、右噂の根據は馬に面會せる人々の口より起つたものであるが殊に馬と面識ある某醫師の談に依れば曾ての馬は濃い口髭を持ち目の鋭い極めて印象的な容貌をした男であつたが今見る馬は口髭疎らで眼光にぶく全く僞物としか思へぬと漏らして居り今や北平で馬の眞僞は各方面の話題に上つてゐる

墺國の政界不安

ド内閣崩潰の危機へ

【ウキーン十七日發國通】議會的自由主義の終焉を名としてフアツシヨ轉向を聲明したドルフス墺國首相の最近のラヂオ放送演說は獨墺政局に果然異常な衝動を與へ端なくもオーストリア内閣に於けるドルフス派と反ドルフス派との對立を激化し反對派の總帥たる祖國黨首領ウイクラー副首相の如きは公然ドルフス首相がフアツシヨへの道を斷念せざる限り辭職の他なしと放言しド内閣は今や崩壞の危機に直面するに至つた

蘇滿間には何も起らぬ

小磯參謀長談

【チチハル十八日發國通】當地滯在中の小磯參謀長は午後五時半記者團との會見において左の如く語つた

問・蘇滿間に事が起らぬか
答・今のところ何も起るとは思はぬ・・ソウエート側から積極的に戰爭を仕掛けることは絕對にないと思ふ國境方面も無事だ
問・ソウエートに反革命は起らぬか
答・ロシヤの國民性は單純だから反革命は起らぬと思ふ
問・廣田外相に就いては
答・國際關係の複雜化せる現在の外相として甚だ結構だ
問・北鐵交渉に就いて……
答・ロシヤは賣りたがつてゐるが日滿は安ければ買つてもよいと云ふだけに是非買ふとは思はない、交渉の成立するかどうかは當事者で無ければ判らぬ
問・北滿の將來は……
答・將來の北滿に就いては内政を充實し產業の開發を最も注意しなければならぬ
問・滿洲事件二周年の感想は……
答・豫想以上治安が恢復したことを愉快に思ふと共に日滿經濟提携が力强くなりつゝあることだ

滿洲事變二周年「記念日に際して」

獨立守備隊司令官 井上中將所感

滿洲事變二周年記念日に對する獨立守備隊司令官井上中將所懷左の如し

柳條溝の一發が導火索となりまして勃發したる滿洲事變も御稜威と皇軍將士の一死君に報ずるの忠誠と國民の涙ぐましき銃後の後援とによりまして熱河聖戰を最後として多年惡逆無道の東北政權を徹底的に打倒し内は日本精神を作興し外は國威を中外に宣揚し今や三千萬民衆と共に東洋否世界平和のため王道樂土建設に邁進するを得たるは誠に欣快とする所であります、然し乍ら眼を轉じて世界の大勢を見る時は各國共毒牙を東洋に向け其情勢眞に一日の偸安を許さゞる狀態であります、この環境内におきまして新生滿洲國の健全なる發達を支援し大亞細亞精神を實現するは至難事といはねばなりません、いひかへれば非常時はこれからであります、私はこの意義深き記念日に際しまして皆樣と共に忘れられんとする事變關係の貴重なる犧牲者を眞に意義あらしめんがため先づ戰歿せられたる英靈に手向け且つ傷き惱める戰友の心を慰むると共に非常時打開のため正義貫徹の持久戰を續けなければならないと思ふのであります

天津駐屯軍で慰靈祭

【天津十八日發國通】今日滿洲事變二周年記念日を迎へ天津駐屯軍においては午後一時から日本運動場に於て同軍事變關係者、戰歿者の慰靈祭が盛大に擧行されこの意義深き日を記念することになつた尚は今晚は公會堂に於て在鄕軍人分會主催の記念講演會が開かれ栗原總領事菊池參謀長の講演がある

廢兵應用の軍需品會社

【北平十七日發國通】東北軍將領中九・一八事變と最も密接な關係を有する當時の張學良參謀長王以哲は明日の二周年記念日を期し北平王府井大街に廢兵のみを從業員とした軍需品製造會社を設立する旨發表した同會社は既に政府より二十萬元の補助金を得近く開業の運びとなるが製造品種は武器彈藥類を除いた軍需品全部である

支那側の記念

【天津十八日發國通】本十八日滿洲事變二周年記念日に當り支那側では特に東北淪亡の國恥記念として本日午前十一時を期し各都市に於て記念日を擧行することになつたが當天津華街に於ては戶々半旗を揭げ娯樂を一切停止し學校工場は休業することになり全市民は午前十一時を期し五分間仕事を罷めると同時に交通機關も一時一齊停止、默禱の意を表しこの記念日を悲痛な氣持を以て記念することになつた

熱河は明け行く

承德にて 島田特派員

巨魁の歸順續出 匪影殆んど空し

蠢くは湯の殘黨

最近における熱河省内の匪賊は日滿兩軍の徹底的討伐と彈藥の缺乏とに更に冬季に向ひて防寒裝具を有してゐないため漸次何れも戰意を失ひ、僅かに平泉方面に鄧七點、李海山の率ゆる何れも約千名の匪賊と灤河支流方面における劉東臣の一味、及び北方長城線附近に於ける湯玉麟の敗殘部隊とが餘燼的活動を續けてゐたのみで、他に集團的匪賊は殆ど姿を見せなかつたが、西○團隷下の皇軍及び張海鵬省長麾下の滿洲國軍は熱河省の徹底的治安を維持すべく、これ等大匪賊團に對して不斷の討伐を行つたところ、何れも

最早敵し難く 集團的匪賊は

遁れ難しと覺悟を定めたか、期せずして承認記念日、事變記念日を前にした九月上旬、續々我が承德特務機關を通じて歸順を申し込むに至つた、卽ち北方國境、上黃旗大吉鑛方面に蟠居してゐた湯玉麟の敗殘部隊中、その親兵を除く大部分は自ら東亞同盟軍と稱し、親滿、親日を標語として遂に反將湯玉麟とその手兵を長城線外に追ひやり、滿洲國軍と共同して該地方の治安維持に當らんとし、劉東臣一派は灤河支流の地域にありて武器を捨て、運航船舶の便を計るべく沿岸の勞役に從事し、平泉地方の鄧七點、李海山一味も後方山岳地帶に潛んで、姿を見せず、或ひは特務機關へ、或ひは派遣警察隊へ連日の如く使者を送つて歸順の許可を待ちわびる有樣で、目下の熱河省は殆ど根絕したといふべき安全地帶となつて來た、右に關し、松室特務機關長は語る

最も治安維持が困難と思はれてゐた熱河省が、今日は無風狀態に近い安全地帶となつて來た五人、或ひは十人位の小匪賊はまだ時々出沒するが、これは寧ろ襲はれる方が油斷し過ぎてゐるからだ、相當の警備もし、充分な軍隊もゐる處を襲ふと云ふやうな優勢な匪賊は殆んど後を絕つたといつてよからう殊に各種記念日の續く九月上旬に期せずして大匪頭目が歸順を申し込んで來るといふのも、日滿兩國の威力を痛感し、又滿洲國良民の安穩な生活がうらやましくなつたからかも知れぬ、歸順を申し込んでも、おいそれとすぐ許す譯には行かない、我が軍部の意向もあり、又滿洲國中央部の意向もあることだ、場合によつては絕對許さず徹底的に討伐しなければならぬものもある今のところ劉東臣一味は灤河の船舶方面で適當な仕事もしてかり再び匪賊化することもあるまいと思はれるので、特務機關でも特に好意を示してゐる、他のものは未だ何とも

決してゐない

又長城線内、卽ち河北における匪賊の行動は忽ち熱河省の匪賊に影響するが、河北方面も概して平穩で、丁强軍、石友三軍等の匪賊化は全然でたらめで一部爲にする者の流言と思はれる、殊に丁强の部下の如きは支那の軍隊の中では模範的なものであらう

承認記念日の承德(上)平泉(下) ●山口特派員撮影●

蒙古民族に歡呼あがる

熱河省政府建設の日 承德にて 島田特派員

熱河聖戰完了し舊軍閥とは全く異つた王道政治の下に新熱河省政府が建設されるや、熱河全省民は心より歡喜と感激を以てこれを迎へたが、中でも最も新省政府の誕生を喜んだものは熱河北部地區に住む約五十萬人の熱河蒙古民族であつた、彼等蒙族五十萬人は前淸時代には理藩院の下に保護を加へられその生活を享樂してゐたのであるが、民國に入りてよりは蒙藏院或ひは蒙藏委員會によつて管轄され軍閥の壓迫日に加はり、殊に湯玉麟が省政府の主席となるや暴政特に甚だしく

蒙民は何れも

貧窮の極に陷つてゐたのであつた然るに大同元年滿洲國の成立に次で本年二月日滿兩國が熱河に征戰を行ひ、漸く蒙民五十萬が復活の曙光を認め得たのであつた、聖戰以來彼等は各蒙族毎に協議を行ひ滿洲國構成の一分子として溌剌たる意氣に燃えて農業に、牧畜に從事して來たのであるが、然し熱河省政府は未だ建設匆々であり、又蒙古居住地區が甚だしく遠隔であつたゝめ、未だ熱河蒙民に對する保護機關が省政府内に設置されるに至らなかつた處、各蒙族では滿洲國西北蒙民に對して興安總署の設置により蒙民蒙治の道を開かれたるに、その人口興安蒙民より遙かに多き熱河蒙民に對して何等統治機關の顯はれる處なきは甚だ遺憾である、我等熱河蒙民も滿洲國構成の一分子として滿洲國に忠誠を致し蒙民と最も歷史的關係深く、且つ崇敬措く能はざる

前淸宣統帝の

執政就任に對しては最も感激する處にして、執政を奉戴して忠勤を擢んでんとする精神に於ては全滿洲國内の何れの民族にも劣らぬ覺悟を有するものである、との決議を行ひ、九月十五日の承認記念日、及び十八日の事變記念日を期して各蒙族より代表を承德に派し、自ら進んでその忠誠を現すこととなつたので、我が松室承德特務機關長も蒙民の意氣に感激し、熱河蒙旗代表會議開催の斡旋に當ることゝなり、去る八日以來各蒙族より代表が續々承德につめよせ、十三日代表會議開催の節には三十四名の多きに上つたが、連日協議の結果十六日、大要次の如き決議を行つた

一、熱河蒙民は滿洲國々民として永久に滿洲に忠誠を致す
二、宣統帝の執政たることを最も歡迎す
三、前淸時代に附與せられたる蒙族に對する恩典も復活せられたし
四、熱河省政府機關に蒙務局を新設し、赤峰、朝陽の兩縣等處に蒙務科を設け

蒙旗行政事務

を管掌せしめられたし
五、蒙民有能者を公共機關の役人に採用されたし
六、蒙旗保安隊制度を確立銃器彈藥を給與されたし
七、各蒙族に日本人指導官を派遣されたし

民政黨の全國的遊說

若槻總裁陣頭に立つ

【東京十八日發國通】民政黨では現下非常時に處する黨の態度を闡明せんがため秋季に入ると共に全國的大遊說を行ふべく目下松田幹事長等の手許で計畫立案中だが今回は特に若槻總裁は第一線に立ち各地方大會に出動し氣勢を擧げることゝなつて居り來る十一月十一日名古屋における東海大會を皮切りに外交問題國防問題財政の根本的改革思想教育農村問題を中心とした黨の主義主張を高調する方針で若槻總裁が首席全權として締結したロンドン條約に對する黨の立場も表明する筈である

二周年記念日

東京の催し

【東京十八日發國通】一昨年の今日九月十八日滿洲の一角に突如起つた爆音は忽ち世界の耳目を震撼し國際聯盟を驚愕せしめ遂に滿洲國の出現となり東洋平和の礎石を築くに至つた拓け行く亞細亞にとつて祝福すべき二周年の記念日である、この日日比谷公會堂では事變關係犧牲者の遺族を迎へて午後一時より盛大なる慰安會が催され第一衞戍病院でも收容中の戰傷病兵のため午前九時から慰安の催しがあつた、帝國在鄕軍人會主催の記念大會は午後六時より日比谷公會堂で開會の豫定で更に靖國神社では戰死者の慰靈祭が嚴かに執行され築地本願寺では午後一時から軍馬軍用犬軍用鳩の慰靈祭が行はれた

家庭

邦人間に驚くべき滿洲國語の研究熱
全國學校で滿洲語科を新設か
長尾大連商業學校長談

滿洲國承認記念日や事變二周年記念日を迎へると共に日に〳〵親密になり行く日滿提携のうれしい樣顔を眺める時そこに旭日のやうな輝かしい希望を胸一ぱいに感じます、更に滿洲國をよりよく知るために、又日本をよりよく知られるためには日滿人共に兩國語の交換研究が必要なるは今更さり立てゝ申すまでもありますまい、滿洲事變後日本人の滿洲國語研究熱はいよ〳〵盛んになり內地の各學校、殊に商業學校方面では生徒自身將來の滿洲進出を計畫して、支那語が大いに研究されてゐると聞きます、勿論滿洲に在住する日本人間でも滿洲國語を研究してゐるものゝ數は夥しい數に上り、この傾向は相當教育者間に注目を惹いてゐますが、大連商業學校長長尾宗次氏は次の樣な耳よりなニュースをお話しになりました。

最近の滿洲語熱の高いことは實に驚くべき狀態にあります、この夏、新京商業學校で開かれた全國商業學校長協議會でもこの支那語に關する議案が提議されましたが全國校長間で相當力說されたものは教科目に滿洲語科を加設することや支那語を必須課目とする樣にと云ふのでしたそれに、中等教員檢定の科目中支那語が含まれてゐながらも、有名無實の狀態にあつたのを實際に活用して貰ひたいなどの意見が持ち上りその協議會の結果建議案を文部省に提出しました所、早速當局より返事があり、支那語檢定受驗希望者のあらまし數を問ひ合はせて來てゐます、こちらより通知するその數によつて當局としても早速何等かの方法が講ぜられるものと思はれます、滿洲國語が日本全國の學校で正課として科される樣になれば相當の支那語の先生が必要となり早速先生の缺乏となるわけで、相當の實力を有する人の更生の道も開拓されるものと思はれ大へん喜んでゐます。

秋のスエーター
新傾向・スポーツ型

▲すつかり凉氣立つて秋の支度もいよ〳〵忙しくなりました、今秋のスエーターの傾向を調べて見ました、今秋のスエーターはその型がぐつとブラウスに歩みより、ブラウスとの區別がしにくいやうなものが多くなつて來ました。

▲ケープのついたものや、ネック飾りの多いもの等上半身が特に華やかになつて、その生地が毛織乃至それに類する編物なるが故に區別がつく位である、中にはスエーターでありながら、裁つて縫合せたものさへあります。

▲一方在來の所謂スエーターの型のものもいろいろ趣向をかへ、變つた感じのものがあります。粗い編みの柄合で面白味を出してゐるものが多く、ウエストラインが上り目でラウンドのハイネックものが多くなつて參りました。又今秋はスポーツ好みのものが非常に愛好されて參つたのも新しい傾向の一つであります（寫眞、右は變りチヤージ生地のスエーター、襟に變化を見せたもの、八圓五十錢、左は初秋用手編スエーター、色は白で五圓五十錢から八圓五十錢まで）

☆　☆　☆

大連早苗小學校の勞作展覽會
九月廿日開かれる

大連早苗高等小學校の勞作展覽會は每年市民に非常な期待をかけられてゐるのですが今年も九月二十日同校開校の日を記念するために當日午前九時から三時まで同校に於て開かれることになつてゐます、眞心こめて作られた兒童の製作品は兒童獨特の銳敏な感覺と思考によつて驚くべき大作さへ作り上げ保護者を驚かせる事は珍しくありません今年も書架、本箱、衣立、隅棚、安樂椅子、普通椅子、餅箱、ネシ箱、釣化粧臺、卓子などの製作品を木工部から出品し、金工部ではバケツ、印燒、石炭バケツ、手鍬、十能などできる限り多く出品し保護者及一般の展覽に供し一方實費にて卽賣することになつてゐるさうです、その他に木工、金工、窯業、印刷等の實習を行ひ一般の觀覽を歡迎するさうです

勇士の旅情を慰む
大連森洋行の美擧

大連の關東倉庫に宿泊する兵士や羽衣町の兵士ホームに集ふ勇士達の旅情を慰むべく連鎖街の森洋行では今回滿日婦人團を通じポリドール蓄音機二臺にレコード二十枚、針二千本を添へて寄贈方を依賴して來たので同婦人團では直に前記兵士ホーム並に關東倉庫に各一臺宛を備へつけることゝなり十六日午後それ〴〵幹事の手によつて寄贈したが、兩所における勇士達はこの素晴らしい贈物を贈られて非常に歡んでゐた（寫眞は婦人團より贈られた蓄音機を取かこんで子供のやうに欣んでゐる勇士達）

わたしの結婚觀（二）
勿論"戀愛結婚"を
特にお料理に素晴らしい腕前
川村龍雄氏令嬢　百合子さん

平和臺二〇、大連汽船常務取締役川村龍雄氏の令嬢百合子さんをお約束の時間にお訪ねしました。

……◇……

何となしにかう近代人の惱みに適合しさうな感じの方、つぶらな瞳から先づ凛純な印象を受ける、ファーストインプレツシヨン「平」といひたい處、昭和五年才媛の多い跡見高女の出身で、お歲は二十三歲、爭はれないのは何となしに垢拔けのしていらつしやること。

……◇……

「東京へ歸りたくなりますか」

「去年の三月來たのですけど、矢つ張り東京へ歸りたいと思ひますわ」

「色々不自由な感じるでせうね」

「えゝ……それにお友達もないものですから、どうしても家に引きこもり勝になりますわ」

だから百合子さんは自然多趣味なんだ、音樂、洋裁、活花と近代の家庭を守る主婦の役目は一通り心得ていらつしやるとのこと、特にお料理の腕前は實に素破らしい？

……。

「だが、そんなに家庭にひつこんでゐると時勢におくれませんか」

「……」

「實は大いに新しい御意見を伺ひにあがつたんですが」

側についていらつした川村夫人が「何分これといつて見るものも御座いませんしね」

……◇……

さて記者はいよ〳〵本論に話題を向ける。

「百合子さんは、どんな男性がお好きですか」

「私……朗かな男性的な感じの方がいゝと思ひますわ」といさゝか恥しさう、どうも近頃のお孃さん方の好みは申し合はせたやうに一致してゐる。男性よ、須らく朗かに感じよくあれ。

「ぢやあ結婚なんか」

「理想からいへば當然戀愛結婚をすべきだと思ひます」

「困つたわね……でも肩の重荷がおりたわ」と川村夫人。

……◇……

「それに日本の家族制度などにも色々缺點があると思ひます」……ハツキリとした百合子さんのお言葉を引きとつて川村夫人は「近頃のやうに目醒めつゝある女性が、どうすれば誘惑に勝つだらうかといふことに對しては世の中のお母さん方は皆一樣に惱んでいらつしやるだらうと思ひます、どうしても男の方と交はる機會も多いし、自分を信じるといふ氣持は尊いですが、一寸した認識不足のために一生取り返しのつかないやうなことになれば全く大問題ですもの、たとひ若いものの意見が正しいとしても老人には永い體驗の目がありますし、特に男女間の問題はデリケートなものですから矢張り親として注意してやるべきでせう、私達が若い時分は男の方の手紙なんか必らず親達に見せたものです、時代が變つてもさうしたことに對しては小心であるのが一番いゝことではないでせうか、勿論かうした點に就いては平常からそれとなく娘達に話して置くことがいゝでせうね」と……。

……◇……

女子大を出られた夫人が汎々と語る娘に對する尊い母の惱みの言葉である、百合子さんがかうした伯母樣と一緒にお暮しになることは大變結構なこと、初々しい百合子さんの花嫁姿に接する日も遠くはあるまい。（寫眞は美しい百合子さん）

ラヂオ

大連　JQAK　九月十九日

▲午前六時　ラヂオ體操第一
▲午前六時三十分　ラヂオ體操第二
▲午前十一時　相場（錢鈔、特產、株式、各地相場）
▲午後零時十分　相場（錢鈔、特產、株式、各地相場、公設市場値段）ニュース
▲午後三時卅分　相場（錢鈔、特產、株式、各地相場）ニュース
▲午後六時　ニュース
▲午後六時三十分　支那語講座「初等科テキスト第三十二課」滿鐵學務課秩父固太郎
▲映畫物語「開墾地の嵐」映樂館 瀬愛幸、擢曲瀧口良二
▲長唄「新浦島」（唄）杵屋正春（三味線）大幸〆勇（同）常盤櫻一龍
▲筑前琵琶「日朗坂」法償山加藤旭明
▲職業紹介事項
▲ニュース
▲氣象通報

東京　JOAK　九月十九日

▲午後六時三十分（東京より）講演　倫敦會議後に於ける海運界　黑川新次郎
▲午後七時（東京より）俚謠　一、栃木樵音頭　栃木有志、唄山野井愛次郎、太鼓松沼八東、同高橋樋吉、小鼓宮田隆治、笛中島吉二、鉦鈴木新三、横釜田四二三味線若林兵衛二、小田原音頭福田正夫作詞、大村能章作曲小田原唄園香、唄美津、同千惠子三味線、八重治、同久米香、同八千代、三味線おゑん三、小田原大漁節、唄喜久八、三味線八千代、同勝利、同玉枝、同久米香、同八重治、同美津、太鼓一代、同園香、香鉦千惠子
▲午後七時二十五分（東京より）狂言　武惡主主（アト）野村萬歳、武惡（シテ）同萬造、太郎冠者（オアト）野村萬介
▲午後八時（東京より）漫談　大辻司郎、伴奏指揮宇賀神味津男

滿日特選碁戰
第廿八回　先　三段 渡邊英夫　初段 松林茂比古

○六六タの十六　●六七タの十五
○六八レの十八　●六九ソの十八
○七〇タの十八　●七一レの十四
○七二ルの十八　●七三ワノ十
○七四ワの十四　●七五カノ十五
○七六ルの十四　●七七テの十
○七八テの十五　●七九カの十四
○八〇ワの十三

感想　白曰く　七十二まで相當稼いだ積りですが……。黑曰く　全く其通りで、こゝは確かにうまくやられました、然しまだ戰へるつもりです、七十五は無論七十三の切りも相當ですからます、白七十八をツグ可きで輕率で餘儀なくされ、八十と邀絡されたのは些さか辛かつた

解說　白六十六から七十二まで必然的の應酬で、相當の地を持つて生きられた事と、七十五と七十八に疵を殘して居る事は黑の折衝の妥當でなかつた事を物語つて居る
白七十四は常用の筋で直接（い）を當てゝ逃げるなどは拙劣な戰法である、之に對する黑七十五は七十八の方をツグ可きで、其時白七十七と當てゝも（い）とノビられて後續手段に窮するから（ろ）とケイマして逃げる位のもの、これは譜に比して問題にならない
白七十六とトバレては、黑七十七は絕對で、白七十八と切られた時、黑七十九も省略出來ない此れを忘ると白からこゝを押さるゝのが急所になる

―【5】―

本社特選　新棋戰（其五）
平手　先六段△山北孫三郎　六段▲寺田梅吉

【圖は六四金迄の局面】山北氏持駒歩　寺田氏持駒角歩歩

累計六十五手
▲八六歩　△四五歩
▲同飛　△同歩
▲八一飛　△八七歩
▲七六歩　△七九玉
　　　　　△同銀

【土居八段講評】　山北君が危險を避くる意味で一旦七九玉と退却したのは一應道理の安全策なるも、以下敵に金、銀、桂の威力を發揮されては、守勢に偏するから、此處は一旦四六馬と上り、四九飛の時三五歩と突き出し、然る後我れ又攻勢を採らば面白い決戰策となるに相違ない、寺田君が七六歩と突き捨てその筋を狙ふたのは好い時期である。

【萩原七段解說】　山北氏の四五歩は、運蔭き乍らも次に四六馬と出て敵の攻擊を牽制せんとする策である、寺田氏の八六歩は飛車先を切つて次に八一飛と引き、敵が四六馬なら六一飛と受ける意味である、山北氏の七九玉は、玉頭が薄いので安全を圖つたのであるが、これは弱かつた、四六馬と指して四五歩突を纏承し、敵の玉頭を窺ふ方がよかつた、寺田氏の七六歩は輕手で敵に同銀と取らし次に七七歩と打つて攻擊せんとする意味で、この樣に攻擊の順になると持角の强味が現はれて、山北氏の一筋の位取が手遅れになつたから早く四六馬の形にせねばならなかつたことが首肯される譯だ。

滿日各地版

秋の千代田公園に日滿少年團の集ひ
三島通陽子等の指導の下に
滿洲少年團實地講習

【奉天】滿鐵、關東廳、日本少年聯盟主催の滿洲少年團の實地講習は千代田公園において實施中であるが本年は特に最近實地講習を終へたばかりの滿洲國少年團中より優秀なるものを選拔して留學研究の意味で入所せしめて居るが實習生六十餘名は何れも眞面目に講習を受けて居る、三島所長、田門副所長酒井隊長、鷹居主事の指導の下に少年團としての精神訓育を受けて居るが右に關し所長三島通陽子爵は語る

此所に入所したものは大人も十三の子供の氣持になつて協力一致相互扶助の精神を以て朝は五時半に起床、八時に朝食し點檢の後、國旗掲揚、神宮遙拜、皇居遙拜をなしそれより各自の自由行動で午前十一時半より私が學科及び作業に關する講習をなし更に午後二時半より講習があり四時半に食事をなし夜は八時に就寢する事となつて居ます、一週間一歩も外出させないので社會と沒交涉の下に全くのんびりと子供の氣持で現代の教育で缺けて居るものを償ふ積りでやつて貰ひ度いと思つてゐます、奉天における實習は第十三回目ですが非常に成績もよいのであります

島本大佐講演

【鐵嶺】鐵嶺時局後援會主催の島本大佐講演會は十六日午後二時より當地小學校講堂に於て開催されたが滿洲事變に最も緣故深く且つ雄辯を以て名有る島本氏の講演とて市民の待望は久しきものあり定刻前より續々と押よせ忽ちの間に會場を溢れ廊下に佇立する者多數あり大佐は事變前の滿洲各地に於ける支那側の暴戻なる排日から說き起し日支間異常なる空氣の釀成を物語つて聽衆の胸を高鳴らせつゝ遂に九月十八日の柳條溝爆破事件に入り北大營の勇敢壯烈なる我軍の總攻擊を說き來り說き去り聽衆をして全く渦中にある人物かのやうな感を抱かしめ最後に北滿情勢問題を說き今後實に一層の日本民族團結を促し雷の如き拍手を浴びて講演を終つた

熱經濟統制
工場經濟の總て
昭和製鋼伍堂社長談

【鞍山】昭和製鋼所では十六日午前十時より重役會議を開催熱管理及び其他の問題に就いて協議したが十五日本溪湖煤鐵公司を視察し十六日午前九時十二分着列車にて歸鞍した伍堂社長は重役會議に先ち次の如く語つた

昭和製鋼所建設計畫の最初から私が主張して來た熱經濟を愈々實現統制することになつた、現代の科學的研究が熱經濟を以て一般工業の基をなすものだと云ふことは今更論ずる必要もないここで此の經濟統制如何は工場經濟の殆んど凡てであると云つても過言ではない、我昭和製鋼所では特に熱經濟研究を重要視し研究部まで設け鋭意熱經濟を進めて居る、我が日本においては最近八幡製鐵所が之が研究を遂げ施設を施しつゝあるだけで他に數萬の大小工場があるが未だ何等の施設も行つて居ない、當社昭和製鋼所では熱管理課長をドイツに出張せしめ優秀な技師を招聘する必要あり、故に熱管理課長福井蔵氏を十八日出發ドイツへ出張せしめる、熱管理問題には研究すべき問題が幾多あるので充分研究を行ふべく冶金學のオーソリテー九州帝大教授井上克巳氏を囑託來鞍滯在之が研究の指導を受けて居る處で福井課長歸鞍の上は直に之が施設を行ひ素晴しい成績を擧げたいと考へてゐる

敎化領事館分館設立か

【吉林】一時土地商租迄完了して連日實現の運び迄漕ぎ着けた吉林領事館敎化分館の新設は其の後豫算の關係と治外法權撤廢論等の擡頭に刺激され一時立消えの形となつて居たが、最近急激に新設實現の氣運濃厚となり過般賜暇歸國せる元草野副領事が此の程來吉頻と打合せを續けつゝあり、右は分館の新設細密打合せと草野氏が分館の主任として赴任するもの如く敎化分館新設に一抹の光明が射して來た

奉天附近水田

【奉天】本年度奉天附近に於ける水田耕作は順調にて三割方增收の見込みである、協濟公司關係の水田植付け反別五千九百十三天地收穫豫想一天地最高二十五石、最低六石五斗にて九萬四千六百八石餘、業公司經營農場四千百七十五天地收穫豫想最高十七石最低十一石にて四萬四千七百七十石合計十三萬九千三百七十八石である

新京の馬車人力車組合
斷乎解散を命ず
新たに營業組合設立

【新京】新京の乘用馬車並に人力車を統制することは治安維持上又衞生交通上必要とされた當局に於ても本年三月新京乘用馬車人力車組合設置を許可し同會は四月一日以來その事務を開始し今日に及んでゐるが組合は規約に基き乘用馬車人力車所有者及馭者を以て組織すべきものなるにその後の實狀は規約に反し殊に幹部の大部分の如きは營業者以外の者を以て任命する等悉く當局許可主旨に違反する點多く之が改革の必要を認めた首都警察廳側では十五日付を以て斷乎解散を命じ新に主旨を體した營業組合の設立を十六日付を以て許可した

日滿人協力して警備電話網を完成
勞力奉仕の尊き成果
架設費僅か百三十圓

【大石橋】嘗て大平山驛渡邊驛長以下二十名の社員は大平山派出警察官と熱誠協力し一丸となつて附近滿洲國村落民の指導誘掖に全力を傾注して來た事は本紙の既に報道した處であるが、今回高粱繁茂期に際し警備電話の架設を急ぎつゝあり十四日附屬地に於て周圍三邦里以內各村長及副村長其他關係有力者七十名と共に落成祝賀會を開催した

抑々此の電話は他より技術者を雇傭せず村民は柳樹を切つて電柱を作り、驛員及警察官は非番日を利用して交互部落に出張し電線を張り七月十日以來二箇月餘り部落民と共に貴い奉仕を繼續したもので工費僅かに百三十圓、延長電話線三邦里、接續村十三箇村を致さず電結したものである、電話機は滿鐵本社に事情を陳べて諒解を求め好意的に七箇の貸與されたもので、專心公衆治安の目標に向ひ健闘を續けた驛員警察官の涙ぐましい犧牲的獻身奉仕は擧げて賞讃すべき美談である

中間驛の警備が斯くの如く日滿協和の結晶によつて完備されたのは全滿中全く嚆矢とする所であり、十四日の落成祝賀會には大石橋署より反田高等主任以下八名の蒞席を得、日滿官市民和氣靄々裡に將來の方針計畫等につき協議し歡を盡して午後四時散會した、同電話に對しては軍警方面警備機關において多大の期待を以てその使命達成を見守られてゐる

慘禍の跡

【奉天】十六日午前八時半ごろ奉天驛着第百十一列車が奉山線白旗堡、饒陽河間進行中突如四十餘名の賊團の襲擊を受け守備兵、乘客等多數死傷者を出し剩つさへ十二萬元を掠奪され多數人質を拉致された事件は未曾有の事で各方面から多大のセンセイションを捲き起してゐるが、その列車で昨十七日午後六時着の奉山線列車で皇姑屯まで送られて來た一、二等車の車輛は十枚破壞され、二等車は最も彈を受け彈痕處々にあるのみか硝子は破れ通路の板戸は蜂の巢の如く彈で破壞され座席には血痕が殘つてゐるなど如何に當時車內で射擊が行はれなまぐさい血を流したかを如實に物語り見てさへ心臟を寒からしめる、寫眞頸胸部十一ケ所に銃彈を浴び座席で無殘なる卽死をとげた山形縣生れ阿部由太郎(二四)の血痕＝同人は本年駐滿第〇團を除隊滿洲國軍に採用され赴任の途次この不慮の死に遭つたものである＝(その他車內の他は彈痕)

電燈の都市へ
家屋や道路がドシ〳〵伸びる
(二) 北鮮羅津港の建設

幸に普通學校は擴張され、小學校も出來ることゝなつたから、雄基、清津、羅南等に子供連れの家族と別れ〴〵になつてる大部分の人々の後顧の患ひも無くなることも遠くはあるまい、この都市の原動力であり所謂國策上の工事界はどうであるかと云ふと、まづ最も難工事とされて居る雄基、羅津間の隧道工事であるが、雄基側の西松組隧道は割合に岩石が軟質な爲めに豫定上の工程が進んで既に二百キロの地點に達して居る、羅津側の隧道工業隧道は稀有の硬質に惱まされ思ふ通りの進捗を見ることが容易のことではないとのことであるが、現場を見るにどう〳〵何れも現代の粹を集めた機械力によつて晝夜兼行と云ふよりも一秒の休止することも無く大自然征服に餘念はない、記者は許しを受けて西松組の隧道內を見學したが二百キロ餘の所で僅かに數人がホノ暗い電燈をたよりに鑿岩機の先端を操縱する神技に思はず崇高の念湧き今更ながらこれが人間業かと驚嘆せざるを得なかつた、滿鐵事務所の山田氏、組の竹中氏の語る所によればこゝでは鑿岩した土石の運搬夫が不足して大困難を感じて居る爲めその運搬も機械力によることゝなり世界一の運搬機械を組立てた許りだとのことだつた隧道工業側では事務所で北村氏、中島氏に苦心談を承はつてる所に「大したことはないが隧道內で運搬夫の足に岩石が落ちた」との傳令、何れも總立ち「それッ」と許りに自動車を驅つて市中の病院に急行、命を的にの工事ではあるが斯かる處置に對する親切丁寧、迅速の事實に直面した記者は上下一致、資本主卽勞働者の世界を如實に味はされた氣がしてこゝでも泣かされたのだつた、何でもこの隧道工事は昭和十年の十月迄に完成する豫定になつて居るが、兩者の力闘によつて來年末には必ず貫通する迄にやつつけるとの意氣込みださうである

▽……▽

その他大林組は櫻井氏陣頭に立つて滿鐵側社員の住宅(卽ち宿舍)建設に當り大倉組は松田氏の采配で工事に要する莫大な煉瓦製造に精進して居る、長門組は吉田氏主任として港灣建設に必要な捨石の採取だが附近の小灣から團平船による爲め小汽船が四、五艘の團平船を曳船して一團として往復する數團が港灣を賑はすの偉觀を呈して居る、松本組は數田氏オン大將で給水工事を承けて十月には給水出來る樣に工程を進め更に築港に必要な海岸埋立工事を急いで居る、阿川組は櫻原氏主任として木造建築に從事する等今や築港工事の準備工事とも云ふべき諸工事は萬遺算なく着々として進められ港岸一帶は自動車の如き有樣は何人にも容易に看取し得る現實である、近く第三區卽ち停車場の工事も入札に附されるので直に着工であるとのことである、數千人の人夫を必要とする土工、諸工事を助勢すべき小諸工事が枚擧に遑なき程で何れも身を粉にしての奮闘努力を續けて餘念がない、若しそれ生活樣式に至つては飮食物に醫療に幾多の不便あることは想像以上のものがあり、同情すべき幾多の困難と闘つて居るのであるが、記者はこの事實を一般が諒解され、所謂先驅の勇士に敬意を表さるゝと同時に大羅津港完成に協力援助を吝まざるべきを信じ擱筆することゝする(京城支局一記者)＝終り＝

滿鐵運動會
十七日奉天の盛況

【奉天】第十九回滿鐵秋季運動會は十七日午前八時から國際運動場において盛大に開催された、この日は秋晴れの絕好の運動日和に惠まれ且つ日曜のとて觀衆會場に滿ち例年通り赤、黃、綠、青、白の五團體に分れ優勝旗の爭奪戰を行ひ各團體每に應援陣を占め赤、青、黃等の應援團旗は碧空高く翻り應援團歌と呼應して會場に沸き返り各選手は必勝を期して跳躍物凄く又一般競技としては大球コロガシ、鐵兜競走、重荷繼走、八百米繼走等興味をそゝるばかりで觀衆を喜ばせてゐた尙當日の團體組では五〇・五點で赤組(奉天驛)が優勝し榮ある優勝旗が授與されたがその成績左の如し

▲一等赤組(五〇、五)二等白組(五〇)三等黃組(三五)四等綠組(三三)五等青組(二一・五)

▲大會新記錄 走巾跳粉田(六米四二)走高跳粉田(一米七一)砲丸投伊藤(一二米六六)圓盤投丸茂(三五米〇八)千米メドレーリレー赤組(二分十一秒八)

【寫眞は當日の運動會】

樺太から新京へ……十歲の少年一人旅
「この子は……」の白布を纏ふて
いたいけな旅姿

【奉天】いたいけな十歲の少年が只獨り樺太から新京に居る父を訪ねての淋しい旅を續けて今日十四時十分安奉線で奉天にやつて來た其の少年は吉田幸雄(一〇)と云ひ樺太を發つまで厄介になつて居たといふ大泊山下町の白石某の心づくしか左腕に次の樣に書きつけた白布を纏ひ付けて居た

大滿洲國の執政府前吉田吉太郎氏はこの者の父親なり親を賴りて訪れ行く者なれば皆さんよろしくお願ひ致します

樺太大泊山下町白石方　吉田幸雄

方角も解らぬ十歲の少年がどうして獨りで樺太から新京への旅をせねばならなくなつたか持物やその子の語る所によれば

この子が母と呼ぶ高橋ユキさんは四年前別れ祖父樺太楠溪町吉田豐次郎方に父吉太郎と暮して居た所今年二月一日吉太郎は家出し轉々として新京へ來り其の後祖父も東京へ行つてしまひ吉太郎の過去の大親分渡邊某に一時引取られて居たが今日に至つてこの程父から新京までの旅費に添へて新京へ來いとの便りに勇んで通ひつけの小學校も止してはる〴〵來たものである

なほこの兒は兄弟とてなく非常に不幸なこみ入つた家庭に育つたらしく午後三時十五分の新京行を婦人待合室に的場巡査にいたわられながら何時泣いたのか泣きはらした眼を見張る、折りしも大谷祥子嬢の通過を歡迎に來て居た西本願寺の佛教婦人會や其の他の人々から五十錢一圓と「お菓子でも買ひなさい」とたちまち四圓七十一錢を掌に只快活にとりとめない事を語りつゝ新京へ向つた

安東釀造酒

【安東】關稅と假約關係で輸入日本酒は値上りしたがそれだけ滿洲國釀造酒の躍進目覺しいものがあり本年州外における奉天、安東、鷄冠山、本溪湖、瓦房店、鞍山、撫順、公主嶺、蘇家屯各地の釀造高は合計一萬二千石と豫想されてゐるが、その中安東の豫想釀造高は大下、田原、宇都宮、日滿、石川、大塚六酒造場で合計四千三百八十石である

八木氏上京

【安東】鴨綠江採木公司理事長八木元八氏は明年度豫算を外務省に提示諒解を得るため二十日頃東上するが往復約一ケ月の豫定である

採木公司の流筏
八月來頁好
卅五萬尺締に達せん

【安東】採木公司の流筏は上流林地の治安恢復と江水の好條件により八月下旬以來引續き成績良好で每日殆んど約五千尺締內外の着筏を見つゝあり流筏開始以來既に二十萬尺締を突破した、十月に入れば急激に減水するので本月中に極力流筏を急ぐ方針であるがあと十五萬尺締の流筏は可能と觀られ本年度流筏豫想三十五萬尺締に達する見込みである

戀人に書置して青年の毒藥自殺
アパートに轉げ込む

【奉天】理想が叶はず戀人に遺書を殘して毒藥自殺を圖つた邦人青年……十六日午後十一時頃市內信濃町五番地常盤アパート方に無斷で入り來り七號の居間でそのまゝ轉込んだ邦人青年があつたので同アパートでも吃驚しその譯を聞かんとしたが判らず屆出により係官が現場に赴き取調べをなすとカルモチン五十錠を嚥下し自殺を企てゝゐるので直ちに醫師の來診を求め應急手當の結果一命は取止めることが出來た、賴るべき親戚知人もないので奉天署で保護を加へてゐるが彼は鹿兒島縣揖宿郡生れ無職濱田好範(二)と稱し

世の中のあらゆる苦闘を續け今日まで打かつて來たがさても自分の理想通りには行かない現在は自分の世の中ではないとあきらめる私は死んで行きますしげ子さまにも色々御厄介をかけましたどうぞこれまでの緣として以後御健康で暮されるやう草葉のかげからお祈りして居ります

の意味を認めた戀人宛の遺書と其他親、姉にあてた遺書二通あつた

青訓演習參加

【鞍山】來る二十六七日の兩日遼陽鞍山附近に於て實施される學生と青年訓練所生徒對抗秋季演習には鞍山青訓からも三、四年次生徒二十名が參加する筈で生徒達は何れも若人の血を躍らせてゐるが佐藤、宮內指導員引率の下に二十六日朝五時發列車にて出發すると

復州鹽積出 一萬五千噸

【營口】當市本安街泰記號那梁五氏取扱滿洲國鹽運局宛復州鹽原鹽は、支那戎克にて日々營口店西海岸に陸揚をなし松崎組トロリーにて驛まで運搬貨車積としハルビン、吉林、新京を始め洮昂線、齊克線等へ夫々發送をなしつゝあるが本年結氷期迄の發荷豫定數は五百車一萬五千噸の由である

旅費を強要

【奉天】高知市農人町生れ住所不定無職田中政雄(二四)は十六日午後八時頃市內藤濱町三十四番地山崎方に來り「私はあなたと同縣人のもので二ケ月程前に新京で失職し來奉し職を探してゐたがこれといふ適當な仕事はなくそれかといつて賴るべき身寄のものもなく內地へ歸鄕したいが旅費がないから」と旅費の惠與方を強談中屆出により密行警戒中の小野寺、西見兩巡査等が現場に赴き本人を取押へ本署に引致目下嚴重取調中である

店員の惡事

【奉天】高松市西新通町生れ當時奉天春日町七番地洋品雜貨店池田時吉方店員大山芳包(二)が同店で傭はれてゐた去る八月十六日店の商品仕入のため金百五十圓を受取り三日間の豫定で大連に出張し所定の商品を仕入れず該金を以て同地逢坂町愛媛樓に登樓し三日間流連し百五十圓を消費、又九月四日午前八時頃池田の正隆銀行預金通帳並に印鑑を無斷で取出し正隆銀行奉天支店から百圓を引出しそのまゝ行方を晦ましてゐたが店主の告訴提起により奉天署で搜査中去る十一日大連において逮捕され奉天に押送して來たので一應取調の上一件書類と共に身柄は十七日領事館警察に送つた

鞍山に鐵管製造工場

【鞍山】鞍山に進出希望を有し製鋼所側幹部とも面接諒解を求めつゝあつた鋼管製造工場建設問題は其後關係者たる栗本、久保田、黑田川の各鐵工所に於て種々計畫が進められつゝあつた模樣であるが今回滿鐵が大甘井子貨物驛構築するに當り大水道敷設の鋼管を栗本、久保田兩鐵工所が請負ふことに決定したので當鋼管を以前から計畫しつゝあつた鞍山にて製造すべく鋼管製造鞍山工場を至急建設の必要を生じたもの、如く栗本鐵工技師、高架憲治、久保田鐵工技師、川端駿吾、黑田川同常務、小田原大造の三幹部が十六日午後一時五十分着はとにて來鞍製鋼所を訪問、伍堂社長、富永常務その他に面會、同工場創立に關し調査並びに具體的下相談を行ひ至急建設の準備に着手すると

益森〇隊再度出征

【安東】兩月餘に亘る惡戰苦闘で三角地帶の大集團匪を完全に粉碎して十日凱旋した安東守備隊の將兵は、休息僅かに五日にして征衣を更へて十五日午前七時益森大尉以下〇〇〇名は殘匪の徹底的剿滅を期し再び出動した

奉天の邦人口

【奉天】大都市としての奉天は每日膨脹の一途を辿つて居るが八月末に於ける附屬地の人口は邦人戶數七千八十八戶三萬四千五百十三人、朝鮮人二百十一戶一千二百七人、滿人二千七百七十四人、外國人三百三十六戶七百七十一人にて邦人は事變前に比し一萬五千人の增加で附屬地外城內商埠地居住邦人は一千三百十一戶五千四百六十二人、朝鮮人一千八百四十五戶八千八百九十五人である

短靴を盜む

【奉天】十六日午後五時頃市內紅梅町八番地三枝勇方表玄關で家人の隙を見て赤革製短靴を窃取逃走せんとした食風の一鮮人を通りかゝりの紅梅町二十一番地石田方同居人小谷氏が發見し追跡の上逮捕し奉天署につき出した、こ奴は朝鮮江原道生れ無職林勳相(二)と稱し目下餘罪取調中である

刑事の名刺

【奉天】十六日午後三時頃途中驛行乘合自動車より下車せる怪しい邦人が若松町警官に取押へられたが彼は鹿兒島市生れ住所不定無職假元正兵衛(四)と稱し元奉天總領事館警察署刑事大野平馬氏の名刺を所持し居り密偵を裝ひ惡事を働かんとしたもので本署に送り目下取調中である

德川公使

【奉天】德川公使は滿洲視察のため來る廿五日午前六時四十五分安奉線列車にて來奉すると

遼陽片々

輸入組合理事西村龜千代氏は理事會議に赴連中のところ十五日朝歸遼▲赤十字社城內救療所は嘗て入院患者收容のため內部改修中のところ漸く竣工したので二十日正午王縣長以下滿洲國側の主なる面と附屬地新聞關係者其の他を招き披露方々午餐會を催すと▲縣警察隊は第一第二大隊とあつたが改編されて大隊長の定員一名となり前第一大隊長車輪書氏が任命され前第二大隊長于瑞五氏は第八分區長に任命されたと▲縣城附近の農作物は例年に比し豐穰で大豆二割七分高粱一割二分の增收見込みで平均二割の增收は間違なしと▲棉花も遼中方面は濕地の關係から餘り香しくないが遼陽は豐作見込みであるけれ共價格が昨年より二割五分安と云はれて居る農家は經營持續する以上價格も或程度は維持される樣保護策を講ずるにあらざれば農家がたち行くまいと云はれて居る▲滿鐵の空社宅は軍部方面で調査されたがその後の利用方法が更に判明せぬが近く滿鐵で練習容さるゝ事になりはせぬかと一月でも二月でも空家で置くより建物のためにも亦町の市況からいつても結構な譯である▲衞戍病院の傷病兵九名十六日夜內地へ轉送

維新革命の原動力 軍隊がその根幹

鋭く論告に反駁を加へ續く 視聴集む海軍側公判

【横須賀十八日發國通】五・一五事件海軍側二十六回軍法會議は十八日午前九時開廷、この日古賀中尉以下各被告が山本検察官の論告に對し反駁を加へるとの報に秋山海兵團長その他各將星木内検事等特別傍聴席に控へ廊下には青年士官が詰めかけ立錐の餘地無き盛況である先づ林辯護人は

辯論に先立ち検察官の論告中主要なる點即ち検察官の引用された書類及び被告の陳述を聞く必要があるから許可されたい

と申し出で高須裁判長辯論に必要な事實の陳述に限り許可する旨宣し先づ村山中尉起つ

維新革命は先づ破壊作業の役割を努めたもので破壊即ち建設なりと信じて居た、而してこれがためには非合法手段の外なしと信じ實行した

五月十五日の行動は戒嚴令施行に導くを目的にしたものである それは後に續く大なる破壊即ち維新革命の最も効果ある方法なりと信じたのである、而してこれをなすものは軍部新興勢力を中心とする獨裁政治以外になしと確信したものである、併し我々の行動は軍人として單獨行爲で如何に誠忠に出でやうとも軍規を犯したことにならう、併し我々の行動が軍部に悪影響を與へたとは思つてゐない、日本の武士道は行動をもととする大義名分であり破邪顯正である

と叫ぶや傍聴席にあつた某中佐は感極まり卒倒し滿場ざわめく

自分は軍人精神は維新革命の原動力で軍隊がその根幹なりと信じ行動した

と述べ次いで檄文の點に關し

これは島田豫審官の頼みにより所感を提出したところ島田豫審官はこれでは國家のためにならぬ、日召はテロを放棄し古賀やその他も諒解してゐる、何か批判的所感を書いてくれといはれたので勝手にしやがれといふ氣持で檄文を書きこれを取消す積りで高法務官に申出たところ豫審調書の内容は取消し得ぬから公判廷で明かにしたらよからうと申されたのでそのまゝにして置いた

と檄文のからくりを暴露し十時二十五分休憩

注目さるゝ 陸軍側判決

【東京十八日發國通】五・一五事件陸軍側被告に對する十九日の判決如何は外部の豫想を許さぬが法律上より見て被告十一名の東京憲兵隊への自首を西村裁判長が正規の自首と認むるや否やが刑の査定の岐れ目となつてゐるが、西村裁判長も結局これを正規の自首と認むることゝ豫想され、更に被告が罪を犯した當時の周圍の環境等をも考慮に入れ十一名を一律に五年若しくは六年の判決を言渡さるゝものと見られてゐる

スワ匪襲 機關車の汽笛が惱ます

【撫順電話】九月十八日事變記念日の前夜たる十七日午後七時五十分頃より撫順驛方面にあたつて突如けたゝましい警笛が鳴り出し五分、十分と經つも鳴り止まうともせず益々鳴り響くのでスワこそ又も匪賊の襲來かと全市街に喧騒を極め警笛の現場へ走り出す者、戸締りを嚴にして匪賊にそなへる者等あたかも昨年の事變に鑑み撫順警察署に於ても全署をあげて警戒中の折柄ではあり一時は大騷ぎであつた、警察本署の五個の電話も市民からの問合せ引きもきらず事の眞相を調べる由もなかつたが約二十分後古城子運輸係機關車第一〇三六號が大官屯より構内に進行の途中警笛を鳴らした所機械の故障にて止らず手の施しやうなく吹鳴らしてゐるむねの通知あり始めて事の眞相判明したがかゝる事はまれで四年前一度あつたがさんだ人騒がせをするもので物々しい氣笛は其後一時間半も鳴り響いた

翳す日本刀 滿人四十名を相手に見得もよき大立廻り

【新京電話】大和男子が日本刀を振りかざして四十名に餘る滿人を相手として大立廻りをした勇ましい話=十七日午前十一時頃新京郊外黄瓜溝に建築中の滿鐵代用社宅附近で今泉組の梅目重利(二)が成川組の滿人一名をふさしたことから毆つたところ件の滿人は大いに憤慨し間もなく同僚四十餘名を引連れ各自手に鐵棒を引提げて押寄せて來たので驚いた梅目は何糞とばかり矢庭に自分の小屋に入り刃渡り一尺五寸位の日本刀を持ち兄基市(三)と共に飛出し天晴れ武者振りも凄く件の滿人四十餘名を向ふに廻し約三十分に亘り大亂鬪をな

滿洲國轉職問題 早くも暗礁へ

豫算の關係で少し遅れるか 待機の姿勢崩れる

關東廳では滿洲國轉職の警官約一千名の人選を終り今や命令待機の姿勢にあるがこの間際に至つて突如滿洲國政府首腦部から强硬反對が出て本問題は暗礁に乗り上げ、滿洲國入り希望の警察官も續々希望取下げを申出てゐると傳へられてゐる、右につき石井大連警察署長は語る

當署からは約二十名の希望申出であり本廳からは十五日までに電報で知らせよといふことであつたので手續を執つたばかりで未だ本問題が暗礁に乗り上げたといふことは聞かぬ、しかし滿洲國當局の豫算の關係上、轉職の時期が豫定より遅れるといふことは事實らしいが、中止になるといふことは絶對にないと思つてゐる、從つて當署から希望取下げを申立てたものは一名もない

自動車燒失事件

【新京電話】北鐵南部線双城堡築家溝中間地點にあるハルビン飛行隊所屬の自動車燒失事件について十八日午後新京總司令部副官前田少佐は附屬地憲兵分隊長と共に北鐵寛城子驛長を訪ひ賠償金七千圓を要求したところ寛城子驛長は五百七十餘圓の支拂を固持して讓らず結局何等の纏まりを見るに至らなかつた、總司令部ではこの際直接ハルビン北鐵管理局に嚴重抗議し前記金額の支拂を請求することになつた模樣である

全く非道い殘暑

頭をひねる觀測所

全滿一帶に記録破りのきびしい殘暑が猛威を振つてゐる、例年にない暑さを示した今年の夏も八月下旬は平均二十四度と下つて秋の近づいたのを思はせ、高粱畑に秋が鳴き出したが九月に入ると何と思つたか水銀柱が氣狂ひのやうに昇り出した

九月上旬の平均氣溫は二十七度を示し平年の二十一度より六度も高かつたが、中旬に入つても依然として二十七度臺を續け平年の十九度に比すれば

實に 八度も高い、お蔭でそこの事務所でもシャツ一枚で汗をふき〳〵執務をしてをり、また白服が歓迎するので洗濯屋が繁昌し、一旦やめた滿速町筋の氷屋が再び開店して客を呼んでゐる有様、殊に十八日の記念祭はこの殘暑の炎天下で行はれたので女學生中には貧血を起すものも出るに至つた、この殘暑はひとり

大連 だけでなく全滿に亘つて居り十日の正午の氣溫は

大連二十七度、營口二十七度、奉天二十八度、新京二十八度、哈爾濱二十五度

で中部滿洲地方が大陸氣候の影響で最も甚だしいことを示してゐる

なぜ今年の殘暑はかうまで續くのか?若草山觀測所での話しでは

全くひどい殘暑ですが、例年なれば九月に入ると北に大きな高氣壓が出來、北風が吹くので晴れてゐても涼しくなるのですが今年は南に高氣壓が出てゐて滿洲全體が高氣壓圏内に入らぬので強い日射のために

何時 までもむし暑いわけです、もうやがて北風に廻ると思ひますがこんなに殘暑の長く續いたことは前例がありません

ガンドレット恒子女史 二十日來連

日本基督教婦人矯風會副會長でかつて平和部長のガンドレット恒子女史は大連に開催の矯風會滿洲部會出席、同時に新興滿洲國の婦人事業並に各婦人團體の活動狀況視察のため二十日入港のほんこん丸にて來連するが、大連では左記の日程で講演會を開催する由

▲二十日 午後一時半常盤橋メソヂスト教會、演題「婦人のため」主催基督教聯合婦人會

▲二十二日 午後一時半協和會館にて演題「婦人の見たる世界」主催滿鐵地方課(一般公開)

▲二十三日 午後七時青年會館にて演題「光を目ざして」主催矯風會大連支部

秋口の衛生にご注意のこと 赤痢が怒つてゐます

今夏大連市における傳染病はコレラの脅威から免れたが赤痢、猩紅熱、ヂフテリア等の流行は二、三年來にない猛烈を極め、殊に秋口に至つてから赤痢が猛威を振ひ、防疫陣を脅かしてゐる、大連警察衛生調査による本年一月から九月十七日までの各傳染病別に患者發生數を示すと

赤痢三百二人、腸チフス四十七人、パラチフス八人、疱瘡三十五人、猩紅熱二百二十八人、再歸熱一人、ヂフテリア九十五人、流腦十三人、合計六百三十五人

でこのうち全治者三百九十二人死亡五十七人、現在患者數八十六人であるがこれを昨年同期に比べると猩紅熱百一人增加を筆頭に赤痢五十六人、ヂフテリア五十五人、腸チフス六人、疱瘡廿七人、パラチフス三人と各增加を告げ合計では實に二百八人の激增である

なほ昨年同期より減少を示してゐるのはコレラの五十二人、再歸熱の三人で秋口の衛生に關し近く當局ではビラを撒布して市民の注意を喚起する計畫を樹てゝゐる

生毛皮受附けは絶對に禁止す

鐵路總局の防疫對策

【奉天電話】通遼方面のペストに關し鐵路總局では協議の結果十八日附近一帶に次の如き對策を講ずることゝなつた

一、四洮線(イ)開通洮南―開通間の生熟皮受附を禁止す(ロ)同上間の旅客乗降を禁止す(ハ)開通洮南間の旅客に對し檢診を開始す(ニ)洮南全家店四平街を中心として醫師助手を乗込まし檢診を行ふ(ホ)洮南四平街間貨物倉庫の鼠を驅除す

二、鄭通線(イ)旅客の取扱驛は金家屯通遼の二ケ所その他は取扱はず(ロ)鄭通線全體に亘り生毛皮の受附を禁止す

三、打通線(イ)通遼伊胡借間は通遼を除き乗降客の取扱を禁止す(ロ)同上間の生毛皮受附を禁止す(ハ)彰武において乗客の檢診を行ふ(ニ)打虎山において檢診を行ふ

以上であるが同打合事項は即日實施された

臨時增員 滿鐵衛生課

北滿内蒙古方面のペスト發生に滿鐵衛生課では十八日は記念日休日にも拘らず夜遅くまで千種衛生課長以下幾部同課員居殘り各地よりの情報によつて防疫方針を立てゝゐるが村川保健防疫主任以下衛生課衛研を通じて六名は現地出張、今後の防疫に手不足を感じるので取敢ずペスト防疫の臨時增員を行ふことに決定滿鐵關係だけで醫師六名ほか臨時傭員數約六十名を增員することゝなつた

防疫會議 四平街で開く

【四平街電話】開通地方に發生する病毒は當地細菌檢査所において檢査の結果十八日朝六時三十分眞性ペストと確定したるを以て午後一時より村川博士立會の下に防疫會議を開催し同博士より防疫方針の指示を受ける筈である

通遼方面も眞性ペスト

通遼方面のペスト調査班よりは檢鏡結果の報告は遅れてゐたが十八日午後六時滿鐵衛生課宛て鄭家屯事務所を通じて通遼調査班より馬力營子に於ける死體に就いて顯微鏡検査の結果ペスト類似菌を發見すとの急電到着、これを以て通遼方面に發生せる患者も眞性ペストと確定した、十六日滿鐵衛生課に達した電報によれば通遼方面における死亡者三日間にして百十三名を數へてゐる

衛生課長來奉

【奉天電話】通遼附近のペストは暴威を振ひ猖獗をしつゝある現狀に鑑み奉天省衛生係は萬一を慮り十九日滿鐵から衛生課長來奉在奉衛生機關代表者を招集しこれが防疫對策の打合せを爲すことになつた

奉天の强盜騷ぎ

一夜に二ケ所も現る 奉天署大搜査を開始

【奉天電話】十七日午後十時頃鐵西滿蒙毛織會社前を同會社員古家弘一(三)が通行中突然暗より三人組の强盗現れ拳銃を突きつけて金十二圓腕時計その他什器上着を奪取つて逃走した、急報により奉天署より松尾警部補の一隊が現場に急行した、すると間もなく十一時半頃驛前奉天紡紗會社宿舍に八人組强盗現れ拳銃棍棒その他各兇器を携へて居合はせた邦人數名を一室に閉ぢ込め同所に在り合せの金品一切をかつ攫つて洋車一台に積み逃走した、この連續の强盗騷ぎに奉天署では直に全署員の非常召集を行ひ三浦司法主任指揮の下に鐵西一帶に掛け徹宵大搜査を行つたが遂に發見するに至らなかつた

エチオピア 借地權許可 長崎縣の約二倍の面積

【長崎十八日發國通】長崎商工會議所内に本部を有する日本社が新興國エチオピアで奮鬪しつゝあるが兼て出願中の同片鐵塔並に販賣權と六十五萬町歩の借地權が同國皇帝陛下に依り許可相成る旨の御沙汰あつた由十八日入電があつた六十五萬町歩と云へば長崎縣全面積の二倍に當り棉花、珈琲栽培のため借地權を先取してゐるベルギー、フランスの借地權面積二十萬町歩の三倍に當り待望の借地權が斯く大々的に許容されたので同社では近く第二段の大飛躍に入るものと見られてゐる

齒科・矯正 口腔外科

岡本齒科醫院

大連西通十一(大廣場西廣場間電車通)

早大優勝し新記録續出 全學水上競技

【東京十八日發國通】第十二回全國學生水上競技大會第三日は十七日午前十時半から神宮プールにて新人競技より開始した新記録左の如し

四百米自由型決勝 牧野(早大)四分四十九秒(日本新記錄)

五十米自由型決勝 武村(早大)二十六秒二(日本新記錄)

以上新人競技

右終つて本競技に入る氣溫二十七度水溫二十五度

八百米リレー決勝 早大チーム九分十二秒(大會新記錄)

百米平泳決勝 岡田(日大)一分十九秒(大會新記錄)

四百米自由型決勝 石原田(明大)四分五十一秒六 横山(早大)四分五十五秒六 大横田(明大)四分五十七秒三(以上大會新記錄)

百米自由型決勝 遊佐(日大)五十八秒(日本タイ)

二百米平泳決勝 岡田(日大)二分五十五秒四 異鄕(明大)二分五十五秒六 前田(早大)二分五十九秒二(以上大會新記錄)

五十米自由型決勝 高橋(早大)二十六秒四(日本新記錄)

二百米自由型決勝 遊佐(日大)二分十三秒二(日本新記錄)

八百米自由型決勝 石原田(明大)十分十八秒二 横山(早大)十分二十九秒 根上(立教)十分三十秒二(以上大會新記錄)

二百米リレー決勝 早大チーム一分四十六秒六(日本新記錄)

斯くて早大は優勝した

東京の事變諸行事

【東京十八日發國通】柳條溝の鐵路爆破を導火線とする九月十八日の滿洲事變二周年記念日を迎へた今日午前十時より靖國神社で加茂宮司祭主となり嚴かな戰歿者慰靈祭が執行され事變關係戰歿者二百七十七柱の英靈に永へに安かれと心からなる祈りが捧げられ齋藤、荒木、大角ほか各相及地方より上京した遺族參列十一時半式を終つたが引續き一般市民の參拜で賑ひ…

安東の事變記念行事

【安東電話】安東中學、在郷軍人、青訓生は十八日午前三時行動を開始し鎭江山の曉暗を突いて壯烈な發火演習を行ひ事變記念行事のトップを切つた折柄第十六聯隊の凱旋を迎へ九時半鎭江山表忠碑に於て事變陣歿者慰靈祭が行はれ終つて十時半五千餘の男女生徒市民の旗行列が安東神社を出發して日滿市街を行進し盛觀を極め安東佛教團も十一時法華寺に於て事變死者の追悼會を催した、更に十二時半から公會堂で記念祝賀會が開かれた

遼陽の行事

【遼陽電話】遼陽においては午前九時軍部を初め官民有志、警察官在郷軍人、各學校生徒多數神社前に集合九・一八事變第二周年記念祭を執行し、十時から白塔公園で神佛兩式により慰靈祭、十一時より忠靈塔前でも同樣慰靈祭を執行、午後一時半より樂隊を先頭に旗行列をなし、午後六時半より小學校で兒玉大尉の講演、七時より軍隊及び衛戍病院の傷病兵を中心に映畫會を催した外時局委員會は婦人團體と共に衛戍病院に傷病兵を慰問し直に電信隊、軍用犬育成所その他を慰問し慰問品を贈呈した

眼玉飛び出す

【新京電話】十七日午前九時頃新京城外楊家子長春煉瓦會社第三工場苦力小屋から突然物凄い音がしたので近所の者が飛び込んで見ると小屋の中で休んで居た楊玉忠(三)が左手首を振ばし眼球まで飛出しその他全身に火傷を負うて朱に染つて倒れてゐるので大騒ぎとなり直に城内三緣路英國キリスト教の病院に擔ぎ込み應急手當を加へたが生命危篤であるなほその筋の取調べに同居人は…就寢中誤つて火藥を詰めた大田覓散の空罐に手を觸れたため爆發したと云つてゐるが果して何の用があつて爆藥を詰め込んだに付ても知らぬ存ぜぬと頑張つて實を吐かず當局では内々に八方調査の手を延ばしてゐる

州内學生聯合射撃大會 廿三日旅順で

關東廳學務課並びに關東廳體育研究所では來る二十三日の秋季皇靈祭を卜して午前十時より旅順聯隊射撃場で旅順工大並びに豫科、滿洲醫大及び豫科、南滿工專、旅順中學、大連一中、大連二中、大連商業の九校參加の下に全關東州内生徒聯合射撃大會を開催することになつた、尚競技規定左の如し

▲部別 第一部旅順工大、旅順工大豫科、滿洲醫大、滿洲醫大豫科、南滿工專 第二部 旅順中學、大連一中、大連二中、大連商業

▲競技方法 個人競技各部とも二十名宛個人競技

▲射撃方法 (1)發射彈五發(2)射距離二百米(3)姿勢膝撃(4)發射法連續五發(5)標的闘的(6)使用銃三八式歩兵銃

西部大連の交通取締り

沙河口警察署保安係では最近交通事故の頻發に鑑み協議中の所十九日より向ふ四日間を交通取締デーとなしスピード違反、無燈火等々一齊に嚴重取締ることになつた

赤痢患者發生

北のペスト發生に防疫陣を引締めて海務局では海より入る流行病の防遏に大童であるが目下入港中の外國汽船ソルバード號乘組水夫ルードウィルヒ・ボニー(二四)は十七日入港と共に發病、直ちに市内三河町近江病院に入院せしめたが十八日午後一時頃赤痢と診定、當地海務局では直ちに同號に對し正規の消毒を行ふところあつた

安樂椅子

滿洲國實業部鑛務科の松島鑛司長は滿洲國第一期産業計畫に毎日のない多忙さである、ところが各地からと毎日五、六十名の訪問客があつて事務などされぬ程の忙しさには全く閉口してしまつた。

その訪問客の持つて來る問題といふのが何んと勝手な、自分だけ儲ける話ばかり、これを扱ふ實業方面のことだけに松島さん一日を無爲に過ごすことが少くない、窮すれば通ずで松島さんさん〴〵訪問客快々的撃退法を研究した結果が次の通り。

◇

今まで訪問客に對して一番良いお茶を出すから客が仲々腰を揚げないのだ、一つうんと悪いお茶を出すことに決め、實行したところこれが仲々効目百パーセントで訪問客の腰が輕くなつた。

◇

或る日松島さんがこの話を自慢さうにしてゐると、傍で聞いてゐた鐵路總局總託が「松島さん一體お茶にする水が新京にありますか」と新京の水不足は松島さんが訪問客にお茶を出すからだといはんばかりに詰めよつた、—と松島さんグッと生ツバを呑み込み「お茶の水位は」……と、そう〳〵お茶をにごしてしまつた。

原田氏の根療法 近々支部設置

當地有志の懇望で根療法の創始者原田博士師は當地に出張して以來多數の根治者を出して高評を博し慢性病者より救命主の如く慕はれ日毎に患家が增すので本月末まで日延べしてゐたが、この慢性病に偉効のある根療法を認めた市內有志達は難病救濟と國民の保健上是非當市にも支部設置をと懇望しより〳〵協議中の處場所を選定して近日支部治療所を開始することになつた、原田氏も指導の關係上當分滯在し支部開始まで從前の通り電氣遊園門前磐町ビル階上(惠比須町電停前)出張治療所で午前中は新患の受付をなす由

最近耳よりな話

市內聖德街三木村氏夫人(假名)は昨年冬肺尖加答兒に罹り種々手當をしたが快癒に至らず最近胃腸と神經衰弱を併發し食慾はなく常に床に就いてゐたのが氏の治療一週間で餘程元氣を増し一個月間熱心に通つた甲斐あつて發熱や咳も止みドンナ仕事しても再發しないので數日前に赤十字病院で再診して貰つた處完全に治つて居るから服藥の必要もないと證明せられ、この療法の確實な事を裏書きし

尚ほ滿鐵社員某氏も激痛のため歩行不能の坐骨神經痛が僅か三回の治療で步行自由となりその卓効に感謝してゐる、この意味に於て現代治療界に驚異と相俟つて確に有益なる治療法であると想はれる。(寫眞は治療中の原田氏)

リン病コシケ 別府淋藥の大好評

別府鶴水園岩里天然溫泉藥は血ウミイタミコシケにキ、メ速く副作用無有効の高貴溫泉名藥にて益々高評を博せり急性慢性治らぬ人は七日飲めよ申込次第新品選 藥價三圓、五圓、十圓

國民精神作興・文化大運動

雑誌週間

九月七日ヨリ 九月二十日マデ 日本で初めての『雑誌週間』

『雑誌週間』の成功を祈る……文部大臣 鳩山一郎閣下

國家非常の際、全國民に希望と活力とを與へ、奮闘努力の意氣を鼓吹することは、刻下の急務である。この意味に於て、精神の糧たり、知識の泉たる雑誌を一層世に普及せしめんが爲に『雑誌週間』を催さるゝ事は、誠に時宜に適した擧であると思ふ。**雑誌界が盛んになればなる程、人は活氣づき、世は向上する**――雑誌が社會民心を左右する力は、實に思半ばに過ぐるものがある。果してこの『雑誌週間』が効果を收むるならば、非常時打開、國運發展の上に、寄與する所蓋し尠からぬものがあるであらうと信ずる。茲に一言賛意を表して、切にその成功を祈る次第である。

眞に快擧である……陸軍大臣 荒木貞夫閣下

現在の非常時局に直面して、我等日本人として最も喫緊なる事は、遠く建國の大精神を憶ひ、深く民族的使命に目覺めて、此の難局打開の力を自らの信念と決意のうちに見出すにある。國難打開の要諦は國民精神の緊張にある。全國民が一致協力して、努力奮闘し、而も堅忍持久以て悠久の前途を制する意氣あれば、百難襲ひ來るとも何等怖るゝ所はないのである。今回、雑誌協會主催の下に『雑誌週間』を決行して良雑誌を普及し、以て國民精神に活力を與へ、苦難突破の精神を鼓舞する事は、眞に快擧と云はねばならぬ。大いに成果を收められるやう切望して止まぬ。

世相を映す萬華鏡……拓務大臣 永井柳太郎閣下

雑誌は世相百般を映す萬華鏡たると共に、時代の進展を示す羅針盤である、雑誌の種類が多く、且つその範圍が廣ければ廣い程一國の文化は向上する。況んや、今日この國家非常の際『雑誌週間』を催して、讀書熱を鼓吹し以て、文智の啓發と、人心の振張を期するは、獨り日本の爲のみならず、新興亞細亞全民族の爲、誠に快擧と言はざるを得ないのである。

日本文化發展の爲に……民政黨總裁 若槻禮次郎閣下

國民教育の上に、雑誌の持つ役割は頗る重大である。余はこの見地から、從來良雑誌の普及を力説して來たが、今回『雑誌週間』の擧あるを聞き、誠に欣快に堪へぬのである。日本人の雑誌購讀數は、まだ／＼遠く歐米のそれに及ばぬ。併し乍ら、眞に諸君が努力し、奮闘されるならば、歐米に比較して決して遜色なきまでに到り得ると思ふ。此際、ゼヒ全國民に雑誌の必要を痛感せしめ大いに普及し、以て日本文化發展の上に貢獻して貰ひたい。衷心よりその成功を祈る次第である。

戰場で『讀書宣傳』……政友會總裁 鈴木喜三郎閣下

世界大戰當時に於ける米國が――驚くべき事には、一年有餘の間に二百數十萬の青年を戰場に送つた。而も更に驚くべき事は、陣中の伴侶として、又戰後の向上の指針として、約五百萬冊の圖書雑誌を戰地に送つて、盛んに讀書の宣傳を行つたと云ふことである。余の憂ふる所は、國民が徒らに、非常時、國難の叫びに怯えて、向上修養の道を疎かにしてゐはしないかにある。『雑誌週間』を機會に、ゼヒ大いに雑誌の必要を力説し、以て國民の向上と、國家の興隆に盡して貰ひたいと思ふ。

十月號の雑誌は悉く大奮發

今度、全國五百有餘の雑誌發行者と、一萬有餘の書店總動員で、『雑誌週間』を催し、文化促進大運動を開始致しました。

併し、それは九千萬同胞協力一致の力に依らねば目的は貫徹しない。紳士淑女は勿論、少年少女幼年に至るまで、此の機會より必らず一、二種の雑誌を愛讀されることを切望して止まない。

研究に・修養に・娯樂に・實用に 必要とせらる、雑誌を「今スグ！ 最寄りの書店に申込まれよ！

全國書店、皆樣の御用命を待つてゐます

(標語)家族一人に雑誌一冊！